

業績目録

診療センター

救命救急センター

(論文)

1. Kaori Amari, Risa Hirata, Masaki Tago. Recurrent Transient Hypoxemia in a Schizophrenic Patient Caused by Upper Airway Foreign Body Obstruction by Watermelon. Cureus. 15(11) e48809. 2023.11.14

(学会発表)

1. 小山敬. ドライアイス貯蔵倉庫におけるCO2中毒の1例. 第27回日本救急医学会九州地方会. 2023.5.14. 福岡
2. 馬田裕子, 宇野純加. 症例検討から学ぶ診断推論戦略 by JUGLER (特別編5) 意識障害で来院した55歳女性. 日本プライマリ・ケア連合学会九州ブロック佐賀県支部 第2回JPCA佐賀セミナー. 2023.8.3. オンライン開催
3. 龍知歩. 症例検討から学ぶ診断推論戦略 by JUGLER (特別編5) 意識障害の初期診療について(指導医レクチャー). 日本プライマリ・ケア連合学会九州ブロック佐賀県支部 第2回JPCA佐賀セミナー. 2023.8.3. オンライン開催
4. 岩村高志, 今村裕輔, 山口竜矢, 原口良介, 岩本裕矢, 佐々木彰, 龍知歩, 朝日美穂, 吉富有哉, 甘利香織, 松本康, 小山敬. 「シンポジウム: 救急医療における働き方改革推進に向けて」病院救急救命士は、医師・看護師の働き方改革に有効である. 第45回佐賀救急医学会. 2023.9.9. 佐賀
5. 甘利香織, 藤田尚宏. 児童相談所への通告後の先にあるもの. 第51回日本救急医学会総会・学術集会. 2023.11.28-30. 東京
6. 岩村高志, 今村裕輔, 山口竜矢, 原口良介, 岩本裕矢, 佐々木彰, 龍知歩, 朝日美穂, 吉富有哉, 甘利香織, 松本康, 小山敬. 当館における病院救急救命士業務とその影響評価. 第51回日本救急医学会総会・学術集会. 2023.11.28-30. 東京
7. 小山敬. 消防から出向した病院内救急救命士の災害への取り組み. 第29回日本災害医学会学術集会. 2024.2.22. 京都

(研究会・講演会)

1. 岩村高志. 佐賀県医療センター好生館救急科からのご相談. 精神科救急に関する意見交換会. 2024/2/5. 佐賀

脳卒中センター

脳神経外科、脳神経内科 各科に再掲

リハビリテーションセンター

(学会発表・研究会・講演会)

1. 押切洋子. 脳卒中の理学療法. 佐賀県理学療法士会主催生涯学習プログラム研修会. 2023.7.30. 武雄
2. 片淵宏輔. 佐賀災害リハビリテーション推進協議会(佐賀JRAT)について ~令和元年佐賀豪雨における支援活動を通じて~. 武雄杵島地区医師会 医療・介護連携研修会. 2023.9.5. 武雄
3. 納富里美, 佐々木健吉. Let's ロコモ&フレイル予防. ゆめさが大学 ロコモ予防講義. 2023.10.24. 佐賀
4. 納富里美, 佐々木健吉. Let's ロコモ&フレイル予防. ゆめさが大学 ロコモ予防講義. 2023.12.12. 佐賀
5. 納富里美, 佐々木健吉. Let's ロコモ&フレイル予防. ゆめさが大学 ロコモ予防講義. 2024.1.16. 唐津

中央診療部門

集中治療部 (ICU)

(学会発表)

1. 中村和樹. V-A ECMO稼働中にHITを発症した1例. 第7回日本集中治療医学会九州支部会. 2023.7.15. 北九州
2. 三溝慎次. 働き方改革－好生館での取り組み－集中治療専門医1人での現状. 第7回日本集中治療医学会九州支部会. 2023.7.15. 北九州
3. 吉富有哉. 鎮痛薬依存症患者の重症カフェイン中毒の1例. 第51回日本集中治療医学会学術集会. 2024.3.14. 札幌

検査部

(論文)

1. 田口舜, 山口健太, 泉朱里, 矢野智彦, 香月万葉, 佐野由佳理, 平野敬之, 安波道郎, 福岡麻美. *Rothia dentocariosa*による人工弁感染性心内膜炎・多発性脳膿瘍の一症例. 日本臨床微生物学会雑誌. Vol.34(1):42-48. 2024.1
2. 田口舜, 山口健太, 矢野智彦, 香月万葉, 佐野由佳理, 平野敬之, 安波道郎, 福岡麻美. *Vibrio mimicus* 菌血症の一症例. 医学検査. Vol.73(1):168-173. 2024.1

(学会・研究会発表・講演)

1. 田口舜. 二級試験を受けてみよう!寄生虫(原虫)編. 佐賀県臨床検査技師会微生物部門研修会. 2023.5.25. 佐賀(オンライン開催)
2. 佐野由佳理. 当館における薬剤耐性菌の検出状況～AMRアクションプラン成果指標の達成状況～. 第1回院内感染対策研修会. 2023.6.1. 佐賀
3. 田口舜. 認定臨床微生物検査技師試験を受験して. 第9回九州ICMTを育てる会. 2023.6.3. 福岡
4. 松本慎吾. エコーで見る急性腹症について. 令和4年度初期臨床研修医勉強会. 2023.6.8. 佐賀
5. 新開幸夫. 2022年度に報告したインシデント・アクシデント報告から見えてきた問題点と今後の課題. 第26回佐賀県医学検査学会. 2023.6.18. 佐賀
6. 原成美, 中村朱, 坂井真一, 田中祐也, 柴木政美, 平野敬之, 安波道郎, 増田正憲, 森大輔. 小児の耳下腺に発生した腺房細胞癌の一例. 第26回

- 佐賀県医学検査学会. 2023.6.18. 佐賀
7. 永畑美夕季, 瀧本桂子, 松本綾, 梅木美由紀, 松本慎吾, 多久島新, 平野敬之, 安波道郎. 新人技師, 奮闘の記録～ISO認定施設での業務認定への過程と振り返り～. 第26回佐賀県医学検査学会. 2023.6.18. 佐賀
8. 田口舜. 二級試験を受けてみよう!寄生虫(蠕虫)編. 佐賀県臨床検査技師会微生物部門研修会. 2023.6.29. 佐賀(オンライン開催)
9. 山道圭一郎. 経胸壁心エコーの基礎と操作法. 令和4年度初期臨床研修医勉強会. 2023.6.29. 佐賀
10. 山道圭一郎. 頸動脈エコーの基礎と撮り方. 第7回糖尿病による血管合併症予防の会. 2023.9.1. 佐賀
11. 坂井真一, 中村朱, 田中祐也, 原成美, 平野敬之. ISO15189第2回再審査を終えて-病理部門における是正処置への取り組みと今後の課題-. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会(第57回). 2023.10.21. 佐賀
12. 矢野智彦, 泉朱里, 田口舜, 香月万葉, 佐野由佳理, 平野敬之. 当館における新型コロナウイルススクリーニング検査の遍歴とその解析. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会(第57回). 2023.10.21. 佐賀
13. 泉朱里, 佐野由佳理, 矢野智彦, 田口舜, 香月万葉, 平野敬之. 臨床医とのコミュニケーションが菌の検出に繋がった破傷風の1症例. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会(第57回). 2023.10.21. 佐賀
14. 西野達彦, 萩尾修平, 牛島浩子, 小川紗季, 坂井美帆, 新開幸夫, 平野敬之. 全自動遺伝子解析装置cobas5800への更新による運用効果. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会(第57回). 2023.10.21. 佐賀
15. 吉田剛士, 西田千恵, 山口健太, 北島茜, 平野敬之. 当館輸血部門におけるインシデント削減への取り組み. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会(第57回). 2023.10.21. 佐賀
16. 山口健太, 吉田剛士, 北島茜, 平野敬之. 当館における血液製剤の廃棄状況とその原因についての解析. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会(第57回). 2023.10.21. 佐賀
17. 百田裕香, 築地秀典, 桜田菜奈, 松原みなみ, 宮崎勢子, 平野敬之. 当院の骨髄増殖性腫瘍(MPN)の遺伝子変異検査の運用および実績. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会(第57回).

- 2023.10.21. 佐賀
18. 桜田菜奈、築地秀典、百田裕香、松原みなみ、宮崎勢子、平野敬之. del(5q)およびJAK2V167F遺伝子変異を認めたMDS/MPN-Uの1例. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会(第57回). 2023.10.21. 佐賀
19. 松隈有悟、堀優花、山道圭一郎、梅木美由紀、松本綾、田中宏枝、平野敬之. 心エコーを契機に発見された下大静脈～右房内進展腫瘍の1例. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会(第57回). 2023.10.22. 佐賀
20. 松隈有悟. 病院で働く検査技師から～実際の検査施行例を踏まえて～. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会(第57回). 2023.10.22. 佐賀
21. 宮崎勢子、築地秀典、桜田菜奈、百田裕香、松原みなみ、平野敬之. 急性未分化白血病と診断された1例. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会(第57回). 2023.10.22. 佐賀
22. 松原みなみ、築地秀典、桜田菜奈、百田裕香、宮崎勢子、平野敬之. 遺伝子検査が有用であったt(8;21)(q22;q22.1)を伴う急性骨髄性白血病の1例. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会(第57回). 2023.10.22. 佐賀
23. 山道圭一郎. 心エコーシンポジウム 心エコー悩みませんか見た目のEF～あなたのEF合わせます～. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会(第57回). 2023.10.22. 佐賀
24. 田中祐也、中村朱、坂井真一、築地秀典、瀧本桂子、平野敬之、増田正憲、森大輔. 腹膜腫瘍にてburned-out tumorが疑われたセミノーマの1例. 第62回日本臨床細胞学会秋期大会. 2023.11.5. 福岡
25. 田口舜、佐野由佳理、平野敬之、安波道郎、福岡麻美. 血液培養よりShigella spp. 様の性状を呈したCitrobacter freundii株の全ゲノム解析. 第18回九州遺伝子診断研究会. 2023.11.11. 佐賀
26. 築地秀典. 症例カンファレンス. 第7回日本検査血液学会九州支部学術集会. 2023.11.18. 福岡
27. 松本慎吾. 腹部エコーでみる急性腹症・ハンズオンセミナー. 佐賀県臨床検査技師会生理部門研修会. 2023.12.21. 佐賀
28. 田口舜. 認定臨床微生物検査技師試験(2021)復命報告. 佐賀県臨床検査技師会情報システム部門研修会. 2024.1.17. 佐賀(オンライン開催)
29. 佐野由佳理、泉朱里、矢野智彦、田口舜、香月万葉、山口健太、平野敬之、安波道郎、福岡麻美. 全自動血液培養装置Bact/ALERT VIRTUOの陰性判定ボトルに対する陰性確認の検討. 第35回日本臨床微生物学会総会・学術集会. 2024.2.10. 横浜
30. 田口舜、山口健太、泉朱里、矢野智彦、香月万葉、佐野由佳理、平野敬之、安波道郎、福岡麻美. 髄液からの16S rRNA遺伝子解析が有用であったSphingomonas echinoides髄膜炎の1症例. 第35回日本臨床微生物学会総会・学術集会. 2024.2.10. 横浜
31. 築地秀典. 当院におけるAMLの骨髄検査. Abbvie BoneMarrow evaluation web seminar. 2024.2.22. 福岡
32. 山道圭一郎. 頸動脈エコー・ハンズオンセミナー. 頸動脈エコーの基礎と撮り方～ガイドラインと実症例を踏まえて～. 佐賀県臨床検査技師会生理部門研修会. 2024.3.2. 佐賀
33. 中村朱、田中祐也、坂井真一、築地秀典、瀧本桂子、平野敬之、増田正憲、森大輔. 細胞診検体で組織型推定が可能であった腓胝形成癌の1例. 第40回佐賀県臨床細胞学会地方会. 2024.3.2. 佐賀

(その他)

1. 吉田剛士. 好生館における輸血医療での取り組みと課題～輸血関連インシデントから考えるダブルチェックの重要性～. 第199回病院マネジメント推進会医療安全研修会. 2024.1.4. 佐賀
2. 中村朱. 腔壁浸潤をきたした尿道原発明細胞癌の1例. 好生館症例検討会. 2024.2.14. 佐賀
3. 萩尾修平. 検体検査におけるパニック値報告体制の再構築と検証. 第32回好生館医学会総会. 2024.3.16. 佐賀

病理部

(論文)

1. 森大輔、古賀風太、百田裕香、坂井真一、中村朱、大座紀子、増田正憲. 膵癌のEndoscopic Ultrasound-Fine Needle Aspiration(EUS-FNA): 超音波内視鏡下穿刺吸引法検体にK-ras変異の検索を加えることにより癌の診断率は上昇するか?. 医学雑誌「好生」. vol.57:9-10. 2023.6

(発表)

1. 原成美、中村朱、坂井真一、田中祐也、柴木政美、平野敬之、安波道郎、増田正憲、森大輔. 小児の耳下腺に発生した腺房細胞癌の一例. 第26回佐賀県医学検査学会. 2023.6.18. 佐賀
2. 坂井真一、中村朱、田中祐也、原成美.

- ISO15189第2回再審査を終えて－病理部門における是正処置への取り組みと今後の課題－. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会（第57回）. 2023.10.21. 佐賀
3. 田中祐也、中村朱、坂井真一、築地秀典、瀧本桂子、平野敬之、増田正憲、森大輔. 腹膜腫瘍にてburned-out tumorが疑われたセミノーマの一例. 第62回日本臨床細胞学会秋期大会. 2023.11.5. 福岡
 4. 増田正憲、森大輔. 免疫染色での原発巣、組織型検索のための新たな抗体の模索. 好生館医学会. 2023.11.16. 佐賀
 5. 森大輔. 病理診断の新展開～乳癌HER2低発現の見つけ方～. Breast Cancer Web Seminar. 2023.11.27. 佐賀
 6. 中村朱. 腔壁浸潤をきたした尿道原発明細胞癌の一例. 好生館細胞診症例検討会. 2024.2.14. 佐賀
 7. 中村朱、田中祐也、坂井真一、築地秀典、瀧本桂子、平野敬之、増田正憲、森大輔. 細胞診検体で組織型推定が可能であった腺退形成癌の1例. 第40回佐賀県臨床細胞学会地方会. 2024.3.2. 佐賀
 8. 森大輔. 異所性腺の一例（消化器内科 富永部長との共同発表）. 早期胃癌研究会. 2024.3.13. オンライン開催
 9. 増田正憲. Invasive urothelial carcinoma, sarcomatoid variant (osteosarcoma component) の一例. 第398回九州・沖縄スライドコンファレンス. 2024.3.16. オンライン開催
 4. 内山貴博、江口寛晃、三井宏太. 治療計画用CT装置のQA精度検証. 令和5年佐賀県放射線技師学会大会. 2023.6.18. 佐賀
 5. 富永絢盟、三井宏太、坂井智和、久野敬矢、内山貴博、織田信一郎. 頭部CTにおける脳実質のコントラスト向上の試み. 令和5年佐賀県放射線技師学会大会. 2023.6.18. 佐賀
 6. 栗山大和、三井宏太、坂井智和、内山貴博、久野敬矢、織田信一郎. 頭部領域におけるtime enhancement curve形成の基礎検討. 令和5年佐賀県放射線技師学会大会. 2023.6.18. 佐賀
 7. 三井宏太. 胸部画像の読み方. 第7回呼吸療法セミナー. 2023.7.3. オンライン開催
 8. 三井宏太、津田規吏、内山貴博、久野敬矢、織田信一郎. 頭部CT-angiographyにおける数学的シミュレーションに基づいた造影剤投与量の最適化. 第26回CTサミット. 2023.7.29. 大阪
 9. 津田規吏、三井宏太. 頭部CT画像におけるチルト角度が頭蓋底アーチファクトに及ぼす影響. 第26回CTサミット. 2023.7.29. 大阪
 10. 三井宏太. 頭部CT検査の考え方：すぐに試せるスキルアップテクニク. SASEBO CT Meeting 2023. 2023.8.18. 長崎
 11. 三井宏太. 造影CT検査の未来予想図-持続可能なヨード量規定法の確立を目指して-. 第41回熊本CT研究会. 2023.8.31. オンライン開催
 12. 三井宏太、津田規吏、内山貴博、久野敬矢、織田信一郎. dual energy CTを用いた頭部仮想単純画像における基準物質の最適化. 第60回全国自治体病院学会in北海道. 2023.8.31-9.1. 北海道
 13. 富永絢盟、三井宏太、久野敬矢、坂井智和、内山貴博、織田信一郎. single energy CTを用いた新鮮圧迫骨折における画像投影法の検討. 第60回全国自治体病院学会in北海道. 2023.8.31-9.1. 北海道
 14. 内山貴博、江口寛晃、三井宏太. 治療計画用CT装置のCT値品質管理におけるファントムの影響. 第60回全国自治体病院学会in北海道. 2023.8.31-9.1. 北海道
 15. 中野竣、三井宏太、栗山大和、内山貴博、織田信一郎. 頭部CT-angiographyにおけるtime enhancement curveの形成を考慮したモニタリング開始時間の検討. 第60回全国自治体病院学会in北海道. 2023.8.31-9.1. 北海道
 16. 内山貴博. Gd-EOB-DTPAを用いた肝臓MRI検査の運用と課題. 第4回佐賀MRI研究会. 2023.9.8. 佐賀

放射線部（技師部門）

（執筆）

1. 三井宏太. 第2章プロトコル 2.1 頭部 2.2 頭頸部. X線CT撮像ガイドライン～GALACTIC～（改訂3版）. 14-29. 2024.1

（学会・研究会発表）

1. 濱田洋. 感染対策. 佐賀県放射線技師会フレッシュセミナー. 2023.4.22. 佐賀
2. 久野敬矢. 頭部領域における異次元の手術合併症対策. 第27回福岡CTコア研究会. 2023.6.17. 福岡
3. 三井宏太、坂井智和、内山貴博、久野敬矢、織田信一郎. 頭部CT-angiographyにおける変動フラクショナルドーズ推定法の検討. 令和5年佐賀県放射線技師学会大会. 2023.6.18. 佐賀

17. 津田規吏、三井宏太. 80列CT装置におけるチルト機構を用いた頭部CT画像の頭蓋底部アーチファクト低減に向けた検討. 第73回日本病院学会. 2023.9.22. 仙台
18. 久野敬矢 (座長). 血管撮影 1 【画像評価、撮影技術】. 第39回日本診療放射線技師学術大会. 2023.9.29-10.1. 熊本
19. 坂井智和. 線量管理システムこれ使ってます「クラウド型 (MINCADI)」。第13回佐賀CT技術研究会. 2023.10.17. 佐賀
20. 津田規吏、三井宏太. 逐次近似再構成法の投影データのX線管位置が冠動脈CT画像の解像特性に及ぼす影響. CCT2023. 2023.10.20. 神戸
21. 三井宏太、津田規吏、久野敬矢、織田信一郎. 時間濃染曲線を用いたtype 2 エンドリークの瘤拡大の予測. 第51回日本放射線技術学会秋季学術大会. 2023.10.27-29. 愛知
22. 三井宏太. 国際学会 (RSNA) の舞台裏～参加のきっかけから現在まで～. 第36回札幌テクノロジーフォーラム. 2023.11.2. 北海道
23. 津田規吏、三井宏太. チルトスキャンを用いた頭部CT画像の頭蓋底部アーチファクトの評価. 第18回九州放射線医療技術学術大会. 2023.11.3. 大分
24. 内山貴博、江口寛晃、三井宏太. 異なるファントム間での治療計画用CT装置におけるCT値品質管理の検討. 第18回九州放射線医療技術学術大会. 2023.11.3. 大分
25. 富永絢盟、三井宏太、久野敬矢、坂井智和、内山貴博、織田信一郎. 頭部単純CTにおける脳内コントラストの上昇を目的とした画像再構成法および投影法についての検討. 第18回九州放射線医療技術学術大会. 2023.11.3. 大分
26. 三井宏太. 【頭頸部領域】あなたは見抜けますか? 情報の裏に隠された真実に. 第28回福岡CTコア研究会. 2023.11.22. 福岡
27. 三井宏太. 馬蹄腎を伴った腹部大動脈瘤. 画論 2023. 2023.12.17. オンライン開催
28. 久野敬矢. FFRangioの発展 - もっと速く、もっと正確に -. 第36回日本心血管インターベンション治療学会 九州・沖縄地方会. 2024.1.12. 福岡
29. 江口寛晃. 極性効果補正係数について ～放射線治療品質管理機構レポート評価のフィードバックを受けて～. 第10回佐賀放射線治療技術勉強会. 2024.2.17. 佐賀
30. 原健一郎. 心臓カテーテル検査パネルディスカッション. 第16回佐賀県臨床工学会. 2024.3.17. 佐賀

栄養管理部

(学会・研修会発表等)

1. 牛島圭太. NST介入患者における血清亜鉛値、銅値の検討. 第38回日本臨床栄養代謝学会年次学術集会. 2023.5.9. 神戸
2. 木下遥香. 納豆菌による菌血症を合併し長期の静脈栄養管理を必要とした顕微鏡学的多発性血管炎の一例. 第14回日本臨床栄養代謝学会九州支部学術集会. 2023.9.23. 福岡
3. 中島美保子. 栄養管理部業務改善への取り組み. 好生館医学会. 2023.11.16. 佐賀
4. 小根森智子. がんと栄養. なごみの会. 2023.12.26. 佐賀
5. 牛島圭太. さがランチの取り組み. 第39回日本臨床栄養代謝学会年次学術集会. 2024.2.15. 横浜
6. 牛島圭太. 口腔内潰瘍に対し亜鉛補充療法を行い経口栄養へ移行できた顕微鏡学的多発性血管炎の一例. 第39回日本臨床栄養代謝学会年次学術集会. 2024.2.15. 横浜
7. 牛島圭太. 口腔内潰瘍に対し亜鉛補充療法を行い経口栄養へ移行できた顕微鏡学的多発性血管炎の一例. 第48回九州代謝・栄養研究会. 2024.3.2. 久留米
8. 小根森智子. 健康に過ごすための食生活. 佐賀お茶がゆ会. 2024.3.17. 佐賀

ME センター

(学会・研修会発表等)

1. 渡邊広明. 体外循環継承～視覚編について～. 第29回日本体外循環技術医学会九州地方会秋季セミナー. 2023.11.25. 嬉野
2. 塩川悠太. 当館におけるIVLを経験して. 九州トランスラディアル研究会. 2024.1.27. 佐賀
3. 二木亜希. 腎代替療法選択外来を開設し1年経って. 第16回佐賀県臨床工学会. 2024.3.17. 佐賀
4. 岩本渚. 当館におけるアブレーション業務教育の取り組み. 第16回佐賀県臨床工学会. 2024.3.17. 佐賀
5. 菊川拓海. 好生館MEセンターにおけるタスクシフトの取り組み. 第16回佐賀県臨床工学会. 2024.3.17. 佐賀

診療科

総合内科

(論文)

1. 原直樹、原野由美. くも膜下出血後の不明熱として発症したACTH分泌低下症の1例. 第344回日本内科学会九州地方会. 2024.1.27. 福岡

呼吸器内科

(論文)

1. Hara M, Furue T, Fukuoka M, Iwanaga K, Matsuishi E, Miike T, Sakamoto Y, Mukai N, Kinugasa Y, Shigyo M, Sonoda N, Tanaka M, Arase Y, Tanaka Y, Nakashima H, Irie S, Hirota Y. Comparison of self-reported symptoms in COVID-19 patients who had or had not previously received COVID-19 mRNA vaccination. Hum Vaccin Immunother. 1;19(2)2226575. 2023.8
2. 村田大樹、大野修平、貞松宏典、梅口仁美、久保田未央、岩永健太郎. 中枢気道病変に対するクライオ生検の有効性と安全性に関する検討. 気管支学. 45(6):374-378. 2023
3. Tajima A, Sassa Y, Ishio D, Yamashita S, Sadashima E, Arai R, Iwanaga K, Yoshida S, Sonoda KH, Enaida H. Clinical features of 26 cases of COVID-19-associated conjunctivitis. Jpn J Ophthalmol. 68(1)57-63. 2024.1

(学会発表)

1. 岩永健太郎、貞松宏典、梅口仁美、久保田未央. 当科における免疫チェックポイント阻害剤長期奏効例の検討. 第63回日本呼吸器学会学術講演会. 2023.4.28-30. 東京
2. 村田大樹、岩永健太郎、大野修平、貞松宏典、梅口仁美、久保田未央. 中枢気道病変に対するクライオ生検の気道狭窄解除における有効性と安全性に関する検討. 第46回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 2023.6.29-30. 横浜
3. 宮崎真里奈、村田大樹、貞松宏典、梅口仁美、久保田未央、岩永健太郎. COVID-19により発症したEDTA依存性偽性血小板減少症の1例. 第342回日本内科学会九州地方会. 2023.8.5. 佐賀
4. 貞松宏典、村田大樹、梅口仁美、久保田未央、岩永健太郎. オマリズマブからテゼペルマブへの切り替えが奏功した重症喘息の一例. 第91回日本

呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会・日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会 九州支部 秋季学術講演会. 2023.10.27-28. 宮崎

5. 福田ゆい、久保田未央、村田大樹、貞松宏典、梅口仁美、岩永健太郎. 胸水細胞診検体を用いて遺伝子検査を実施した14例の検討. 第91回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会・日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会九州支部 秋季学術講演会. 2023.10.27-28. 宮崎
6. 梅口仁美、村田大樹、貞松宏典、久保田未央、岩永健太郎. ET融合遺伝子陽性肺癌に対してSelpercatinibを投与した3例. 第64回日本肺癌学会学術集会. 2023.11.2-4. 千葉
7. 野見山莉子、村田大樹、貞松宏典、梅口仁美、久保田未央、岩永健太郎. 単回胸腔穿刺によりFlare-upを回避しえた進行性骨化性線維異形成症患者に生じた膿胸の1例. 第343回日本内科学会九州地方会. 2023.11.26. 長崎
8. 村田大樹、岩永健太郎、貞松宏典、梅口仁美、久保田未央. 高齢COVID-19中等症II患者における発症早期の血液検査所見からの死亡転帰の予測. 第343回日本内科学会九州地方会. 2023.11.26. 長崎
9. 松田翠、村田大樹、光井遥佑、貞松宏典、梅口仁美、久保田未央、岩永健太郎. 肺ノカルジア症と肺非結核性抗酸菌症を合併した非免疫不全者の1例. 第344回日本内科学会九州地方会. 2024.1.27. 福岡
10. 福山野乃華、梅口仁美、光井遥佑、村田大樹、貞松宏典、久保田未央、岩永健太郎. 肺MAC症に対してアリケイスを導入した一例. 第92回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会九州支部 春季学術講演会. 2024.3.16. 熊本
11. 鍋島沙織、貞松宏典、光井遥佑、村田大樹、梅口仁美、久保田未央、岩永健太郎. 肺ムーコル症と慢性進行性肺アスペルギルス症の混合感染の一例. 第92回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会九州支部 春季学術講演会. 2024.3.16. 熊本
12. 村田大樹、岩永健太郎、光井遥佑、貞松宏典、梅口仁美、久保田未央. 免疫不全の有無による肺ノカルジア症の臨床的特徴に関する検討. 第92回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会九州支部 春季学術講演会. 2024.3.16 熊本

消化器内科

(論文)

1. Mariko Kobayashi, Shintaro Akiyama, Toshia-ki Narasaka, Katsumasa Kobayashi, Atsushi Yamauchi, Atsuo Yamada, Jun Omori, Takashi Ikeya, Taiki Aoyama, Naoyuki Tominaga et al.. Nationwide cohort study identifies clinical outcomes of angioectasia in patients with acute hematochezia. *J Gastroenterol.* 2023 Apr;58(4) : 367-378. doi : 10.1007/s00535-022-01945-w
2. Esaki M, Ihara Y, Tominaga N, Takedomi H, Tsuruoka N, Akutagawa T, Yukimoto T, Kawasaki K, Umeno J, Torisu T, Sakata Y. Predictive factors of the clinical efficacy of ustekinumab in patients with refractory Crohn's disease: tertiary centers experience in Japan. *Int J Colorectal Dis.* 38(1) : 57. 2023.5.1
3. Yoshinori Sato, Tomonori Aoki, Eiji Sadashima, Yusuke Nakamoto, Katsumasa Kobayashi, Atsushi Yamauchi, Atsuo Yamada, Jun Omori, Takashi Ikeya, Taiki Aoyama, Naoyuki Tominaga et al.. Long-term Risks of Recurrence After Hospital Discharge for Acute Lower Gastrointestinal Bleeding: A Large Nationwide Cohort Study. *Clin Gastroenterol Hepatol.* 2023 Jun 3;S1542-3565(23)00401-9. doi : 10.1016/j.cgh. 2023.5.21
4. Mariko Kobayashi, Shintaro Akiyama, Toshia-ki Narasaka, Katsumasa Kobayashi, Atsushi Yamauchi, Atsuo Yamada, Jun Omori, Takashi Ikeya, Taiki Aoyama, Naoyuki Tominaga et al.. Multicenter propensity score-matched analysis comparing short versus long cap-assisted colonoscopy for acute hematochezia. *JGH Open.* 7(7) : 487-496. 2023.7.12
5. Atsushi Yamauchi, Naoki Ishii, Atsuo Yamada, Katsumasa Kobayashi, Jun Omori, Takashi Ikeya, Taiki Aoyama, Naoyuki Tominaga et al.. Outcomes and recurrent bleeding risks of detachable snare and band ligation for colonic diverticular bleeding: a multicenter retrospective cohort study. *Gastrointest Endosc.* 2023 Jul;98(1) : 59-72.e7. doi : 10.1016/j.gie. 2023.2.14
6. Minoru Fujita, Tomonori Aoki, Noriaki Manabe, Yoichiro Ito, Katsumasa Kobayashi, Atsushi Yamauchi, Atsuo Yamada, Jun Omori, Takashi Ikeya, Taiki Aoyama, Naoyuki Tominaga et al.. LONG-HOSP score: a novel predictive score for length of hospital stay in acute lower gastrointestinal bleeding: a multicenter nationwide study. *Digestion.* 2023 Aug 3 : 1-14. doi : 10.1159/000531646
7. Junnosuke Hayasaka, Daisuke Kikuchi, Naoki Ishii, Katsumasa Kobayashi, Atsushi Yamauchi, Atsuo Yamada, Jun Omori, Takashi Ikeya, Taiki Aoyama, Naoyuki Tominaga et al.. Weekend effect on clinical outcomes of acute lower gastrointestinal bleeding: A large multicenter cohort study in Japan. *Dig Dis.* 2023 Sep 5. doi : 10.1159/000533744
8. Takaaki Kishino, Tomonori Aoki, Eiji Sadashima, Katsumasa Kobayashi, Atsushi Yamauchi, Atsuo Yamada, Jun Omori, Takashi Ikeya, Taiki Aoyama, Naoyuki Tominaga et al.. Early feeding reduces length of hospital stay in patients with acute lower gastrointestinal bleeding: A large multicenter cohort study. *Colorectal Dis.* 25(11) 2206-2216. 2023.11
9. Jun Omori, Mitsuru Kaise, Naoyoshi Nagata, Tomonori Aoki, Katsumasa Kobayashi, Atsushi Yamauchi, Atsuo Yamada, Takashi Ikeya, Taiki Aoyama, Naoyuki Tominaga et al.. Characteristics, outcomes, and risk factors of surgery for acute lower gastrointestinal bleeding: nationwide cohort study of 10,342 hematochezia cases. *J Gastroenterol.* 59(1)24-33. 2024.1
10. Naoyuki Tominaga, Eiji Sadashima, Tomonori Aoki, Minoru Fujita et al.. A Novel Prediction Tool for Mortality in Patients with Acute Lower Gastrointestinal Bleeding Requiring Emergency Hospitalization: A Large Multicenter Study. *Sci Rep.* 14(1)5367. 2024.3.4

(学会発表)

1. 田崎陽、富永直之、朝長道人、中西朗、中山賢一郎、樋高秀憲、緒方伸一. 吸収性局所止血剤にて30日間以上の無再発を確認できた大腸憩室出血の1例. 第121回日本消化器病学会九州支部例会・第115回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 2023.5.12-13. 福岡
2. 中尾陸、富永直之、朝長道人、中西朗、中山賢一郎、樋高秀憲、緒方伸一. 大腸内視鏡検査前処置が誘因と考えられた狭窄型虚血性大腸炎

- の1例. 第121回日本消化器病学会九州支部例会・第115回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 2023.5.12-13. 福岡
3. 陣内杏月、富永直之、朝長道人、松永拓也、緒方伸一. 大腸内視鏡検査前処置が誘因と考えられた腎機能正常高マグネシウム血症の1例. 第342回日本内科学会九州地方会. 2023.8.5. 佐賀
4. 朝長道人、陣内杏月、松永拓也、富永直之、緒方伸一. CTにて典型的な所見を呈した腸間膜脂肪織炎の1例. 第342回日本内科学会九州地方会. 2023.8.5. 佐賀
5. Naoyuki Tominaga. Antithrombotic Therapy and Gastrointestinal Bleeding Risk Management. 第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会総会. 2023.8.6. 博多
6. Yuga Komaki, Naoyuki Tominaga, Atsuo Yamada, Eiji Sadashima, et al. Clinical characteristics for patients with acute small intestinal bleeding: A subgroup analysis of the large multicenter cohort study (CODE BLUE-J study). Digestive Disease Week 2023 Poster. 2023.9.28. Washington, D.C.
7. 山口太輔、富永直之、安田剛士、森源喜、行元崇浩. 大腸憩室出血においてピュアスタットを用いた内視鏡的止血術は安全か. 第122回日本消化器病学会九州支部例会・第116回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 2023.11.24. 那覇
8. 光吉良輔、朝長道人、陣内杏月、松永拓也、富永直之、緒方伸一. 結腸転移を来した肝内胆管癌の一例. 第122回日本消化器病学会九州支部例会・第116回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 2023.11.24-25. 那覇
9. 山口杏月、松永拓也、朝長道人、富永直之、緒方伸一. 大腸憩室内腫瘍に対して浸水下コールドスネアポリペクトミーを施行した一例. 第122回日本消化器病学会九州支部例会・第116回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 2023.11.24-25. 那覇
10. 富永直之、松永拓也、緒方伸一. 当院における経口内視鏡的筋層切開術 (POEM) の成績と工夫. 第20回日本消化管学会学術集会総会. 2024.2.9. 宜野湾
11. 富永直之、山口杏月、朝長道人、松永拓也、緒方伸一、後藤田卓志. 当院におけるHER2陽性胃癌に対する生検の検討. 第96回日本胃癌学会総会. 2024.2.29. 京都

(講演)

1. 富永直之. 抗血栓薬の消化管潰瘍リスクマネジメント. 脳卒中とLDA潰瘍を考える. 2023.7.12. 佐賀
2. 富永直之. 最新の知見による逆流性食道炎と消化管出血の治療. 多久・小城地区医師会学術講演会. 2023.8.1. 佐賀
3. 富永直之. 胃内視鏡検査と便秘診療の実際. 第168回佐賀県胃癌・大腸癌検診医会研修会. 2023.9.16. 佐賀
4. 富永直之. がんってなあ〜に?. がん教育講座. 2023.10.12. 佐賀
5. 富永直之. ALGIBマネージメントで残された課題 どうする?早期大腸内視鏡-. 第5回日本大腸憩室研究会学術集会. 2023.11.4. 神戸
6. 富永直之. CODE BLUE J-Studyで得られた知見と課題. 第9回九州セミナー. 2023.11.17. 博多

血液内科

(論文)

1. Mori Y, Uchida N, Wake A, Miyawaki K, Eto T, Nakamura T, Iwasaki H, Ito Y, Tanimoto K, Katayama Y, Imamura Y, Takahashi T, Fujisaki T, Kamimura T, Choi I, Ishitsuka K, Yoshimoto G, Ogawa R, Sugita J, Takamatsu Y, Tanimoto K, Hidaka T, Miyamoto T, Akashi K, Nagafuji K. Impact of a third dose of anti-SARS-CoV-2 vaccine in hematopoietic cell transplant recipients: A Japanese multicenter observational study. *Vaccine*. 13; 41 (47) : 6899-6903. 2023.11
2. Goichi Yoshimoto, Toshihiro Miyamoto. Maintenance therapy after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Rinsho Ketsueki*. 64 (6) : 533-546. 2023

(学会発表)

1. Masato Ishimaru, Yuichiro Semba, Shintaro Oga, Tadafumi Iino, Takahiro Maeda, Goichi Yoshimoto. Hypoplastic myelodysplastic syndrome for which targeted NGS was useful for diagnosis and management. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.13. Tokyo
2. Ryota Imanaka, Yuna Katsuoka, Nobuhiko

- Uoshima, Satoru Hara, Tatsunori Goto, Shuichi Ota, [Goichi Yoshimoto](#), Akihito Matsuoka, Hideyuki Hashiba, Tetsuo Morita, Atsuko Tsutsui, Hiroki Numata. Multicenter study of real-world experience of venetoclax for newly diagnosed AML in Japan (VENUS). The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.13. Tokyo
3. Minoru Kanaya, Yuji Mukai, Mirei Kobayashi, Sayaka Kajikawa, Emi Yokoyama, Koh Izumiya-ma, Makoto Saito, Masanobu Morioka, Akio Mori, [Goichi Yoshimoto](#), SungGi Chi, Yosuke Minami, Masato Homma, Takeshi Kondo. Venetoclax PK adjusted by Ven duration affected neutropenia after Ven-AzaC for AML. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.13. Tokyo
 4. Masahiko Fukatsu, Daisuke Koyama, Sunggi Chi, Takahiro Kobayashi, Takaya Yamashita, Naoto Takahashi, [Goichi Yoshimoto](#), Yoshikazu Utsu, Hironori Arai, Tomoaki Ueda, Kentaro Fukushima, Toru Kiguchi, Yosuke Minami, Takayuki Ikezoe. The simultaneous occurrence of driver mutations confers the development of drug resistance in APL. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.13. Tokyo
 5. [Goichi Yoshimoto](#), Sunggi Chi, [Masato Ishimaru](#), [Shintaro Oga](#), [Tadafumi Iino](#), Yosuke Minami. Impact of the NGS-based genetic mutation analysis results on real-world clinical practice for AML. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.14. Tokyo
 6. Seiichiro Katagiri, Daigo Akahane, SungGi Chi, [Goichi Yoshimoto](#), Takahiro Yamauchi, Kazuhito Yamamoto, Takahiro Kobayashi, Kensuke Usuki, Yukinori Nakamura, Kenji Ishitsuka, Daisuke Ikeda, Kentaro Fukushima, Suguru Fukuhara, Koji Izutsu, Yosuke Minami, Akihiko Gotoh. Sub-analysis for AML with *RUNX1::RUNX1T1* from Hematologic Malignancy-SCREEN-Japan-01 and 02 study. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.14. Tokyo
 7. Yoshihiro Tokunaga, Yukinori Nakamura, Kaoru Yamamoto, [Goichi Yoshimoto](#), Daisuke Ikeda, Hironori Arai, Yoshikazu Utsu, SungGi Chi, Yosuke Minami. Genetic mutation profile in therapy-related AML with NGS: HM-SCREEN-JAPAN02. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.14. Tokyo
 8. Tomoaki Ueda, Kentaro Fukushima, Sunggi Chi, [Goichi Yoshimoto](#), Hironori Arai, Daisuke Ikeda, Kensuke Usuki, Naoto Takahashi, Naoko Hosono, Takahiro Yamauchi, Takeshi Kondo, Kazuhito Yamamoto, Junya Kuroda, Yosuke Minami. Real world NGS profile during therapy with azacitidine and venetoclax in HM-SCREEN-Japan 02 study. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.14. Tokyo
 9. Takanobu Morishita, SungGi Chi, Tomoki Naito, Tatsunori Goto, Fumiya Ogasawara, Kensuke Kojima, Kaoru Yamamoto, Yukinori Nakamura, Minoru Kanaya, Takeshi Kondo, Hiroto Horiguchi, Satoshi Iyama, Yoshimasa Kamoda, Kensuke Usuki, Naoko Hosono, Takahiro Yamauchi, Takahiro Kobayashi, Takaya Yamashita, Daisuke Ikeda, [Goichi Yoshimoto](#), Junya Kanda, Hironori Arai, Yoshikazu Utsu, Tomoaki Ueda, Kentaro Fukushima, Daisuke Koyama, Takayuki Ikezoe, Tetsuya Nishida, Yosuke Minami. Comparison of mutational profiling with or without PIF in newly diagnosed AML: HM-SCREEN-Japan 02. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.14. Tokyo
 10. Satoshi Iyama, SungGi Chi, Takayuki Ikezoe, Kentaro Fukushima, Yoshikazu Utsu, Junya Kanda, [Goichi Yoshimoto](#), Daisuke Ikeda, Takanobu Morishita, Takahiro Kobayashi, Takahiro Yamauchi, Kensuke Usuki, Takeshi Kondo, Yukinori Nakamura, Kensuke Kojima, Chikashi Yoshida, Akihiko Gotoh, Kazuhito Yamamoto, Junya Kuroda, Kenji Ishitsuka, Emiko Sakaida, Hiroto Horiguchi, Masayoshi Kobune, Yosuke Minami. The significance of TET2 mutation in acute myeloid leukemia: HM-SCREEN-Japan 02 study. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.14. Tokyo
 11. Makoto Iwasaki, Junya Kanda, SungGi Chi, Takanobu Morishita, Tomoki Naito, Daisuke Ikeda, Naoko Hosono, Takahiro Yamauchi, Kentaro Fukushima, [Goichi Yoshimoto](#), Makoto Yoshimitsu, Masamitsu Yanada, Naoto Takahashi, Emiko

- Sakaida, Kensuke Usuki, Akifumi Takaori Kondo, Yosuke Minami. Targeted sequencing-based risk stratification for HSCT in HM02 cohort: clinical implications. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.14. Tokyo
12. Shintaro Oga, Masato Ishimaru, Tadafumi Iino, Goichi Yoshimoto. Venetoclax and azacitidine therapy in allogeneic stem cell transplantation for AML. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.15. Tokyo
 13. Tadafumi Iino, Shintaro Oga, Masato Ishimaru, Goichi Yoshimoto. Clinical characteristics of angioimmunoblastic T-cell lymphoma in a single institution. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.15. Tokyo
 14. Takuji Yamauchi, Goichi Yoshimoto, Koji Kato, Koichi Akashi. Venetoclax + azacitidine therapy for MDS/AML patients after allogeneic HSCT. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.15. Tokyo
 15. Tomoki Naito, SungGi Chi, Takanobu Morishita, Tatsunori Goto, Fumiya Ogasawara, Kensuke Kojima, Kaoru Yamamoto, Yukinori Nakamura, Minoru Kanaya, Takeshi Kondo, Hiroto Horiguchi, Satoshi Iyama, Yoshimasa Kamoda, Kensuke Usuki, Naoko Hosono, Takahiro Yamauchi, Takahiro Kobayashi, Takaya Yamashita, Daisuke Ikeda, Goichi Yoshimoto, Junya Kanda, Hironori Arai, Yoshikazu Utsu, Tomoaki Ueda, Kentaro Fukushima, Daisuke Koyama, Takayuki Ikezoe, Tetsuya Nishida, Yosuke Minami. Clinical significance of myelodysplasia-related gene mutations in AML: HM-SCREEN-Japan 02. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.15. Tokyo
 16. Naoko Hosono, Takahiro Yamauchi, SungGi Chi, Hironori Arai, Kentaro Fukushima, Satoshi Iyama, Akihiko Gotoh, Takayuki Ikezoe, Chikashi Yoshida, Goichi Yoshimoto, Junya Kanda, Naoto Takahashi, Emiko Sakaida, Kensuke Usuki, Yosuke Minami. The utility of targeted sequencing in clinical practice for AML: HM-SCREEN-Japan 02 study. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.15. Tokyo
 17. Daisuke Ikeda, SungGi Chi, Hironori Arai, Naoko Hosono, Takahiro Yamauchi, Kentaro Fukushima, Satoshi Iyama, Goichi Yoshimoto, Naoto Takahashi, Shokichi Tsukamoto, Kensuke Usuki, Kosei Matsue, Yosuke Minami. Evaluation of the 2022 ELN risk classification in AML using NGS analysis: HM-SCREEN-JAPAN02. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2023.10.15. Tokyo
 18. Naoko Hosono, Takahiro Yamauchi, Chi Sung-Gi, Hironori Arai, Kentaro Fukushima, Daisuke Ikeda, Satoshi Iyama, Akihiko Gotoh, Takayuki Ikezoe, Chikashi Yoshida, Goichi Yoshimoto, Junya Kanda, Naoto Takahashi, Emiko Sakaida, Kensuke Usuki, Yosuke Minami. Practical and Flexible Genome Profiling Study Using the Halo-Shape Annealing and Defer-Ligation Enrichment (HANDLE) System: HM-Screen-JAPAN02. The 65th Annual Meeting of the American Society of Hematology. 2023.12.9. San Diego
 19. Tomoaki Ueda, Kentaro Fukushima, Naoki Hosono, SungGi Chi, Hiroshi Haeno, Goichi Yoshimoto, Hironori Arai, Daisuke Ikeda, Kensuke Usuki, Naoto Takahashi, Naoko Hosono, Takahiro Yamauchi, Takeshi Kondo, Kazuhito Yamamoto, Junya Kuroda, Yosuke Minami. NGS Profile and the Mathematical Prediction Model for Venetoclax Combination Therapy in HM-Screen-Japan 02 Study. The 65th Annual Meeting of the American Society of Hematology. 2023.12.9. San Diego
 20. 大賀慎太郎、石丸聖人、寺崎達也、下茂雅俊、陳之内文昭、飯野忠史、加藤光次、赤司浩一、吉本五一。Neurolymphomatosisを来したB cell Lymphomaの症例に対してR-MPV療法および局所放射線療法が奏功した3例。第14回日本血液学会州地方会。2024.3.9. 福岡
- (講演)**
1. 吉本五一。BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略。Abbvie Hematology web seminar -治療継続のためのコツ-。2023.4.5. 佐賀(オンライン開催)
 2. 吉本五一。VEN+AZA治療における好中球減少症管理-次サイクルに繋げるための工夫-。VEN+AZA療法と治療継続-Blast Clearance確

- 認のすゝめー. 2023.4.13. 佐賀(オンライン開催)
3. 吉本五一. AML治療におけるVen+AZA療法の治療最適化 BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. AbbVie AML web seminar in Yamaguchi. 2023.4.19. 佐賀(オンライン開催)
 4. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. Venetoclax Expert Forum 2023. 2023.5.17. 佐賀(オンライン開催)
 5. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略- VEN+AZA療法での寛解導入療法のコツー. Hematology Expert Meeting in Kurume. 2023.5.26. 久留米
 6. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. Abbvie AML Webセミナー in Kyushu. 2023.6.30. 福岡(オンライン開催)
 7. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. 南福岡血液webセミナー. 2023.7.6. 福岡(オンライン開催)
 8. 吉本五一. 移植非適応ALLにおけるBlinatumomabの位置付け. BLINCYTO WEB Conference in Kanagawa. 2023.7.10. 佐賀(オンライン開催)
 9. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. ベネクレストを使いこなす会 ~How we use BCL-2 inhibitor? ~. 2023.7.13. 佐賀(オンライン開催)
 10. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. BCL-2 Expert Forum. 2023.7.20. 佐賀(オンライン開催)
 11. 吉本五一. AML治療におけるAzacitidineの位置付け. Azacitidine Web Seminar. 2023.7.25. 佐賀(オンライン開催)
 12. 吉本五一. Ph+ALLにおけるポナチニブの位置づけ. Hematology Web Seminar -Road to DMR/CMR-. 2023.7.28. 福岡(オンライン開催)
 13. 吉本五一. FLT3遺伝子変異陽性AMLにおけるFLT3阻害剤の位置付け~QuANTUM-First試験結果を踏まえて~. VANFLYTA® Expert Meeting. 2023.7.30. 東京
 14. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いた新たなAMLの治療戦略. SAITAMA血液疾患セミナー. 2023.8.8. 佐賀(オンライン開催)
 15. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. Abbvie AML Webセミナー in Kyushu. 2023.8.30. 福岡(オンライン開催)
 16. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. ベネクレストAML Web Seminar in 広島 Vol.2. 2023.9.7. 佐賀(オンライン開催)
 17. 吉本五一. FLT3遺伝子変異陽性AMLにおけるFLT3阻害剤の位置付け. 造血器腫瘍診療の未来 in Oita. 2023.9.8. 佐賀(オンライン開催)
 18. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. Practical Management of the BCL-2 inhibitor Seminar. 2023.9.20. 佐賀(オンライン開催)
 19. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. Hematology Symposium in SAITAMA. 2023.10.5. 佐賀(オンライン開催)
 20. 吉本五一. AML治療におけるVEN+AZA療法の位置付け. 第85回日本血液学会. 2023.10.14. 東京
 21. 吉本五一. 新たなAML診療(治療)と今後の課題. Astrazeneca Hematology Web Seminar. 2023.10.20. 福岡(オンライン開催)
 22. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いた新たなAMLの治療戦略. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会共催セミナー. 2023.10.22. 佐賀
 23. 吉本五一. 慢性骨髄性白血病の診断と治療. 病診連携の会. 2023.10.26. 佐賀
 24. 吉本五一. FLT3遺伝子変異陽性AMLにおけるFLT3阻害剤の位置付け. 造血器腫瘍診療UpToDate. 2023.11.1. 佐賀(オンライン開催)
 25. 吉本五一. 造血器腫瘍における感染管理 ~施設での経験を踏まえて~. 岐阜血液感染症Up-to-dateセミナー. 2023.11.2. 岐阜
 26. 吉本五一. 実臨床におけるFLT3阻害剤を用いたAMLの治療戦略~移植非適応を中心に~. ゴズバタWEBシンポジウム. 2023.11.7. 佐賀(オンライン開催)
 27. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. Veneclexta Practical Management Seminar in Fukushima Vol.3. 2023.11.8. 佐賀(オンライン開催)
 28. 吉本五一. FLT3遺伝子変異陽性AMLにおけるFLT3阻害剤の位置付け. AML診療連携Web Seminar. 2023.11.21. 佐賀(オンライン開催)
 29. 吉本五一. 移植非適応ALLにおけるBlinatumomabの位置付け. ALL Web Seminar. 2023.12.1. 仙台(オンライン開催)
 30. 吉本五一. FLT3遺伝子変異陽性AMLにおけるFLT3阻害剤の位置付け. がんのトータルケアWebセミナー. 2023.12.8. 佐賀(オンライン開催)
 31. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. 静岡西部AMLセミナー. 2024.2.8. 佐賀(オンライン開催)
 32. 吉本五一. VEN+AZA療法における好中球減

- 少マネジメント～骨髄検査の評価の実際～. Abbvie Bone Marrow Evaluation Web Seminar. 2024.2.22. 福岡(オンライン開催)
33. 吉本五一. 造血器腫瘍における分子標的薬使用時の真菌感染症対策. 北陸移植道場. 2024.3.2. 金沢
34. 吉本五一. 当院におけるTKI変更例. Hematology CML Seminar. 2024.3.5. 佐賀(オンライン開催)
35. 吉本五一. 実臨床におけるFLT3阻害剤を用いたAMLの治療戦略～移植非適応を中心に～. AML WEB Symposium. 2024.3.7. 大阪(オンライン開催)
36. 吉本五一. AML治療におけるVen+AZA療法の位置付け. Venetoclax AML seminar in Ehime. 2024.3.13. 松山

肝臓・胆のう・膵臓内科

(論文)

1. Komori A, Otsu S, Shimokawa M, Shirakawa T, Otsuka T, Koga F, Ueda Y, Nakazawa J, Komori A, Arima S, Fukahori M, Okabe Y, Makiyama A, Taguchi H, Honda T, Shibuki T, Nio K, Ureshino N, Mizuta T, Shirakawa T, Mitsugi K. Conversion Surgery for Unresectable Pancreatic Cancer Treated With FOLFIRINOX or Gemcitabine Plus Nab-Paclitaxel. *Anticancer Res.* 43; 1817-1826. 2023.4
2. Shirakawa T, Makiyama A, Shimokawa M, Otsuka T, Shinohara Y, Koga F, Ueda Y, Nakazawa J, Otsu S, Komori A, Arima S, Fukahori M, Taguchi H, Honda T, Shibuki T, Nio K, Ureshino N, Mizuta T, Mitsugi K, Akashi K, Baba E. C-reactive protein/albumin ratio is the most significant inflammatory maker in unresectable pancreatic cancer treated with FOLFIRINOX or gemcitabine plus nab-paclitaxel. *Sci Rep.* 13: 8815. doi: 10.1038/s41598-023-34962-7. 2023.5.3
3. Murakami M, Fujimori M, Nakata K, Nakamura M, Hashimoto S, Kurahara H, Nishihara K, Abe T, Hashigo S, Sugiyama N, Ozawa E, Okamoto K, Ishida Y, Okano K, Takai R, Shimamatsu Y, Ito T, Miki M, Oza N, Yamaguchi D, Yamamoto H, Takedomi H, Kawabe K, Akashi T, Miyahara K, Ohuchida J, Ogura Y, Makashima Y, Ueki T, Umakoshi H, Ueda K, Oono T, Ogawa Y. Machine learning-based model for prediction and feature analysis of recurrence in pancreatic neuroendocrine tumors G1/G2. *J Gastroenterol.* 58: 586-597. 2023.6
4. 永島聖恭, 中下俊哉, 川添夕佳, 藤本光, 野下祥太郎, 村山賢一郎, 古賀風太, 大座紀子. 重症膵炎後の膵仮性嚢胞フォロー中に左側腹部間欠痛で発症した脾内仮性動脈瘤破裂の一例. *医学雑誌「好生」.* 57: 62-64. 2023.6
5. 森大輔, 古賀風太, 百田裕香, 坂井真一, 中村朱, 大座紀子, 増田正憲. 膵癌のEndoscopic Ultrasound-Fine Needle Aspiration (EUS-FNA) 超音波内視鏡下穿刺吸引法検体にK-ras変異の検索を加えることにより癌の診断率は上昇するか?. *医学雑誌「好生」.* 57: 9-10. 2023.6
6. Fukahori M, Okabe Y, Shimokawa M, Otsuka T, Koga F, Ueda Y, Nakazawa J, Komori A, Otsu S, Arima S, Makiyama A, Taguchi H, Honda T, Ushijima T, Miwa K, Shibuki T, Nio K, Ureshino N, Mizuta T, Mitsugi K, Shirakawa T. Efficacy of second-line chemotherapy after treatment with gemcitabine plus nab-paclitaxel or FOLFIRINOX in patients with metastatic pancreatic cancer. *Sci Rep.* 13: 19399. doi: 10.1038/s41598-023-46924-0. 2023.11.8
7. Nakazawa J, Tsuruta N, Shimokawa M, Koga E, Ueda Y, Komori A, Otsu S, Fukahori M, Makiyama A, Taguchi H, Honda T, Shibuki T, Nio K, Ureshino N, Mizuta T, Otsuka T. Multicenter Retrospective Analysis of Original versus Modified FOLFIRINOX in Metastatic Pancreatic Cancer: Results of the NAPOLEON study. *Oncology.* 101: 22-31. 2023
8. 水田一椰, 古賀風太, 川添夕佳, 村山賢一郎, 中下俊哉, 大座紀子. 膵膜炎および眼内炎を合併した侵襲性肝膿瘍症候群の1例. *日本消化器病学会雑誌.* 121: 3; 237-244. 2024.3

(学会発表)

1. Miyako Mori, Takuya Kuwashiro, Satoshi Oeda, Akiyoshi Kano, Noriko Oza, Keisuke Ario, Hirokazu Takahashi. Efficacy of immunotherapy for advanced hepatocellular carcinoma. ILCA conference. 2023.9.7-9. Netherland
2. 古川佳那美, 下川穂積, 下川元継, 大塚大河, 中澤潤一, 古賀風太, 小田尚伸, 竹下茂之, 河口康典, 在田修二, 田口宏樹, 榮達智, 白川剛, 水田敏彦, 三ツ木健二. 高齢者切除不能膵癌に対する

- NAL-IRI/FU/LV療法の安全性評価（中間解析）.
第61回日本癌治療学会学術集会. 2023.10.19-21. 横浜
- 湯ノ谷修三、古賀風太、叶晶嘉、野下祥太郎、村山賢一郎、三好篤、大座紀子. 膵頭部癌による胆管閉塞から胆管穿孔を来し、胆汁性腹膜炎を発症した一例. 第122回日本消化器病学会九州支部例会・第116回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 2023.11.24-25. 沖縄
 - 叶晶嘉、湯ノ谷修三、古賀風太、野下祥太郎、村山賢一郎、三好篤、大座紀子. 感染性肝嚢胞、出血性肝嚢胞、肝嚢胞腺癌との鑑別を要した胆管内乳頭状腫瘍 (IPNB) の一例. 第122回日本消化器病学会九州支部例会・第116回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 2023.11.24-25. 沖縄
 - 王丸翔馬、岩崎めぐみ、村山賢一郎. 胆石性急性膵炎の経過中に合併した可逆性後頭葉白質脳症の1例. 第343回日本内科学会九州地方会. 2023.11.26. 長崎
 - Wataru Kusano, Shuji Arita, Mototsugu Shirakawa, Risa Tanaka, Taiga Otsuka, Hozumi Shimokawa, Junichi Nakazawa, Futa Koga, Hisanobu Oda, Shigeyuki Takeshita, Yasunori Kawaguchi, Hiroki Taguchi, Tatsunori Sakai, Kazuo Nishikawa, Shiho Arima, Yujiro Ueda, Takahiro Sakae, Yasushi Ide, Tsuyoshi Shirakawa, Toshihiko Mizuta, Kenji Mitsugi. Interim Analysis of the prospective part of NAPOLEON-2 study : Safety evaluation of nano-liposomal irinotecan with fluorouracil and folinic acid for advanced pancreatic cancer. ESMO ASIA. 2023.12.1-3. Singapore

腫瘍内科（臨床腫瘍科）

（論文）

- Okumura T, Fujii T, Terabayashi K, Kojima T, Takeda S, Kashiwada T, Toriyama K, Hijioka S, Miyazaki T, Yamamoto M, Tanabe S, Shirakawa Y, Furukawa M, Honma Y, Hoshino I, Nabeya Y, Yamaguchi H, Uemoto S, Shimada Y, Matsubara H, Ozawa S, Makuuchi H, Imamura M. MicroRNAs associated with postoperative outcomes in patients with limited stage neuroendocrine carcinoma of the esophagus. *Oncol Lett.* 26(1): 276. 2023.5.12
- 柏田知美. 血管新生阻害薬の継続判断における Urine protein/creatinine ratio測定意義. 医学雑誌「好生」. 57:11-14. 2023.6
- Hu Q, Oki E, Yamada T, Kashiwada T, Sonoda H, Kataoka M, Kawanaka H, Tsuji Y, Makiyama A, Nakashima Y, Ota M, Kimura Y, Yoshizumi T. Genomic characterization between HER2-positive and negative gastric cancer patients in a prospective trial. *Cancer Med.* 12(15):16649-16660. 2023.8
- Kawabata R, Chin K, Takahari D, Hosaka H, Muto O, Shindo Y, Nagata N, Yabusaki H, Imamura H, Endo S, Kashiwada T, Nakamura M, Hihara J, Kobayashi M, Sagawa T, Saito S, Sato A, Yamada T, Okano N, Shimada K, Matsushima M, Kataoka M, Matsumoto S, Goto M, Kotaka M, Shiraishi T, Yamai H, Nagashima F, Ishizuka N, Yamaguchi K. Multicenter phase II study of capecitabine plus oxaliplatin in older patients with advanced gastric cancer: the Tokyo Cooperative Oncology Group (TCOG) GI-1601 study. *Gastric Cancer.* 26(6):1020-1029. 2023.11

（学会発表）

- 柏田知美. Late line に上手につなぐアブラキサン+ラムシルマブ. TAIHO web Lecture on Gastric Cancer. 2023.4.19. オンライン開催
- 柏田知美. 大腸がん薬物療法におけるタスク・シフト/シェア推進の意義. 広島県消化器がん講演会. 2023.5.26. 広島
- 柏田知美. オンコロジストからみた Exercise Oncology の可能性. 第8回日本がんサポーターケア学術集会. 2023.6.23. 奈良
- 柏田知美. 大腸がん 遺伝子関連検査と共有意志決定. Japan Cancer Forum 2023. 2023.8.6. オンライン開催
- 柏田知美. がん薬物療法を支持療法とセットで考える in 長崎. GI Cancer Forum in Nagasaki. 2023.10.5. 長崎
- 柏田知美. 短期入院化学療法パス運用におけるタスクシェアの診療収益改善効果. 第23回日本クリニカルパス学会学術集会. 2023.11.10. 埼玉
- 柏田知美. 知っておいてほしい“がん”のこと. がん教育総合支援事業によるがん. 2024.1.31. 佐賀工業高校
- 柏田知美. 9割の失敗から作りあげる組織～信州だから話せるここだけの話～. Gastric Cancer Web Live Seminar 信州. 2024.3.29. 長野

糖尿病代謝内科

(学会・研究会発表)

1. 岸川まり子、大野修平、江頭絵里奈、吉村達. 著明な高血糖に非閉塞性腸間虚血症を合併した2型糖尿病の1例. 第66回日本糖尿病学会年次学術集会. 2023.5.11-13. 鹿児島
2. 八木聖可、岸川まり子、大野修平、朝長礼音、江頭絵里奈、佐藤暢晃、増田正憲、森大輔、吉村達. 体側副腎からのアルドステロン過剰産生を認めたサブクリニカルクッシング症候群(SCS)の1例. 第341回日本内科学会九州地方会. 2023.5.27. 北九州
3. 吉村達. メトホルミンはサステイナブルな第一選択薬か. 腎臓病と糖尿病をグローバルな視点から考える会. 2023.7.21. 佐賀
4. 山本雪子、岸川まり子、江頭絵里奈、古賀美佳、小山敬、吉村達. ACTH単独欠損症により切迫心停止に至った1例. 第342回日本内科学会九州地方会. 2023.8.5. 佐賀
5. 小泉幸太朗、岸川まり子、植野博貴、鍋島沙織、江頭絵里奈、吉村達. ニボルマブ、イピリムマブ使用後に劇症1型糖尿病を発症し、早期治療介入し得た1例. 第342回日本内科学会九州地方会. 2023.8.5. 佐賀
6. 吉村達. 好生館における「ダイアベティス」診療. DiaMond Live Seminar in 佐賀. 2023.11.9. 佐賀
7. 吉村達. 佐賀県民に糖尿病が多いのはなぜ?~その謎について考える~. 第127回市民糖尿病教室. 2023.11.11. 佐賀
8. 鍋島沙織、岸川まり子、江頭絵里奈、小泉幸太朗、松本健一、角南隆史、吉村達. うつ症状の改善を期待しホルモン補充療法を追加した下垂体機能低下症の1例. 第343回日本内科学会九州地方会. 2023.11.26. 長崎
9. 福山野乃華、岸川まり子、馬田裕子、江頭絵里奈、吉村達. サブクリニカルクッシング病の影響が疑われた糖尿病の1例. 第61回日本糖尿病学会九州地方会. 2023.12.1-2. 熊本
10. 江頭絵里奈. がんを持つ方の『何か変』:もしかして内分泌障害?! プライマリーケア医も知っておきたい免疫関連有害事象マネジメントセミナー. 2024.1.26. 佐賀

腎臓内科

(論文)

1. Keiichiro Matsumoto, Marina Ishii, Masato Mizuta, Megumi Nakamura, Ryoko Matsumoto, Yuki Ikeda, Masatora Yamasaki, Makoto Fukuda, Motoaki Miyazono. A Classical Phenotype of Fabry Disease with Novel Mutation Found by Kidney biopsy. Iranian Journal of Kidney Diseases. Volume17: Issue:6, 348-350. 2023.11

(学会発表)

1. 小林理沙、松本圭一郎、石井麻梨奈、水田将人、中村恵. 血漿交換を行わなかったdouble positive抗GBM抗体型RPGNの一例. 第68回日本透析医学会学術集会・総会. 2023.6.17. 神戸
2. 松本圭一郎、石井麻梨奈、水田将人、中村恵. 当院におけるシャント形成と経皮的血管形成術. 第68回日本透析医学会学術集会・総会. 2023.6.17. 神戸
3. 水田将人、石井麻梨奈、松本圭一郎、中村恵、小杉寿文、原田慶美. 下肢急性動脈閉塞症に対しアフェレシスを含めた集学的加療を行い、救肢が得られた腹膜透析患者の1例. 第68回日本透析医学会学術集会・総会. 2023.6.17. 神戸
4. 平田早恵、福田誠、神林眉裕里、後藤憲人、広松悟、池田裕貴、山崎政虎、吉原万貴、宮園素明. サクビトリルバルサルタン(ARNI)を導入し僧房弁閉鎖不全症が改善した腹膜透析の一例. 第68回日本透析医学会学術集会・総会. 2023.6.17. 神戸
5. 後藤憲人、池田裕貴、神林眉裕里、広松悟、野中枝里子、山崎政虎、平田早恵、福田誠、吉原万貴、宮園素明. COVID19感染による二次性TMAに対し、集学的治療を行ったが透析導入に至った一例. 第68回日本透析医学会学術集会・総会. 2023.6.18. 神戸
6. 松本圭一郎. 腹膜透析導入の実際. 腹膜透析セミナー. 2023.7.8. 佐賀
7. 松本圭一郎. 当院の腹膜透析導入の実際. 佐賀CAPD研究会. 2023.7.11. 佐賀
8. 後藤憲人. 当院における腎臓病教育入院の取り組み. CKD早期介入セミナーin佐賀. 2023.9.5. 佐賀
9. 松本圭一郎. 腎代替療法と腹膜透析. 腎代替療法研究会. 2023.9.6. 嬉野
10. 荒木敬裕、後藤憲人、平田早恵、松本圭一郎、中村恵、宮園素明. 高マグネシウム血症により急

性腎障害を発症した一例. 第53回日本腎臓学会西部学術大会. 2023.10.8. 岡山

11. 中村恵. 持続可能な腎代替療法を目指して. 佐賀県医療センター好生館地域医療連携懇談会. 2023.10.13. 佐賀
12. 松本圭一郎. 当院における腹膜透析の実際. 佐賀長崎腎疾患講演会. 2024.1.20. 佐賀
13. 中村恵. 好生館における高尿酸血症の治療. これからの高尿酸血症治療を考える会. 2024.2.22. 佐賀
14. 松本圭一郎. 当院における腹膜透析管理の実際. 佐賀CAPD研究会. 2024.3.7. 佐賀

脳神経内科

(論文)

1. Ide T, Goto Y, Nishihara M, Eriguchi M, Koike H. Co-occurrence of subacute combined degeneration of the spinal cord and neuromyelitis optica spectrum disorder. *Acta Neurol Belg.* doi: 10.1007/s13760-023-02422-8. 2023.11
2. Ikeda S, Tsutsumi M, Fujita M, Okamoto S, Eriguchi M, Hara H. Intracranial Myeloid Sarcoma Mimicking Hypertensive Intracerebral Hemorrhage. *Internal medicine.* 62:2539-2545. 2023
3. Ikeda S, Tsutsumi M, Hisatomi A, Takayanagi H, Eriguchi M. Painless thyroiditis-induced cerebral infarction in a case of Moyamoya syndrome. *Acta Neurol Belg.* 123:1197-1199. 2023
4. Ikeda S, Yakushiji Y, Tanaka J, Eriguchi M, et al. Hypertension, cerebral Amyloid, aGe Associated Known neuroimaging markers of cerebral small vessel disease Undertaken with stroke REgistry (HAGAKURE) prospective cohort study: Baseline characteristics and association of cerebral small vessel disease with prognosis in an ischemic stroke cohort. *Front Aging Neurosci.* 15:1117851. 2023
5. 江里口誠. 積極的な社会参加に至った在宅ALS患者 ICFモデルに基づいた考察. *臨床雑誌内科.* Vol.133(3)398-402. 2024.3
6. Ide T, Yakushiji Y, Suzuyama K, Eriguchi M, et al. Associations for progression of cerebral small vessel disease burden in healthy adults: the Kashima scan study. *Hypertens Res.* 47:302-310. 2024
7. Ikeda S, Inoue Y, Suzuyama K, Ide T, Eriguchi M. Haemorrhagic and ischemic stroke following posterior reversible encephalopathy syndrome and thrombotic microangiopathy in a patient with malignant hypertension. *Acta Neurol Belg.* 124:339-341. 2024
8. Suzuyama K, Eriguchi M, Minagawa H, et al. Accumulation Area of a Japanese PRNP P102L Variant: The Ariake PRNP P102L Variant. *Journal of clinical neurology.* 20(3):321-329. 2024

(学会発表)

1. 川浪建、江里口誠、後藤悠太、盛満真人、高島洋. 水痘帯状疱疹ウイルスによる脳脊髄炎をきたした1例. 第240回日本神経学会九州地方会. 2023.6.24. 久留米
2. 後藤悠太、江里口誠、鍋島沙織、岩永和女、盛満真人、川浪建、高島洋. アトピー性皮膚炎による皮膚病変が侵入門戸と考えられた脊髄硬膜外膿瘍の1例. 第342回日本内科学会九州地方会. 2023.8.5. 佐賀
3. 盛満真人、江里口誠、川浪建、後藤悠太、吉本五一、杉田保雄、高島洋. 繰り返す血球貪食症候群にCLIPPERS様の中枢神経病変を合併した一例. 第243回日本神経学会九州地方会. 2024.3.2. 福岡

循環器内科

(論文)

1. 吉田敬規. 特発性血小板減少性紫斑病を合併した非ST上昇型心筋梗塞患者に対して超短期DAPTで治療し良好な経過であった1例. *心臓.* 55(12):1183-1189. 2023.12

(学会)

1. 大坪豊和. Prevalence and clinical characteristics of cardiac amyloidosis in patients undergoing catheter ablation for AF; evidence from atrial and ventricular biopsy. *KHRS(Korea heart rhythm society)* 2023. 2023.6.24. 韓国
2. 神下耕平. 冠動脈気管支動脈吻合に対してコイル塞栓により治療した労作性狭心症の一例. 第134回日本循環器学会九州地方会. 2023.6.24. 熊本
3. 安心院法樹. 開心術後の心不全の病態. 第134回日本循環器学会九州地方会. 2023.6.24. 熊本
4. 大坪豊和. Early detection of cardiac amyloidosis

- by right atrial endomyocardial biopsy in patients with AF. 第69回日本不整脈心電学会学術集会. 2023.7.7. 札幌
5. 大坪豊和. Prevalence of cardiac amyloidosis in patients undergoing catheter ablation for AF; evidence from atrial biopsy. APHRS(Asia pacific heart rhythm society) 2023. 2023.9.2. 香港
 6. 吉田敬規. FFRangioを臨床にいかにかにかかすか～症例を中心に～. PCI Optimization by Physiology And Imaging 2023. 2023.10.7. オンライン開催
 7. 中島史暁. 当院のFFRangioを施行した患者の1年の追跡調査について. 第135回日本循環器学会九州地方会. 2023.12.2. 福岡
 8. 吉田敬規. 血小板減少性紫斑病を合併した急性冠症候群患者の一例. 第135回日本循環器学会九州地方会. 2023.12.2. 福岡
 9. 安心院法樹. 急性心筋梗塞による左室破裂に対してImpella5.5を用いてBridge to decoverを得た一例. 第135回日本循環器学会九州地方会. 2023.12.2. 福岡
 10. 中島史暁. EVT中にワイヤーがステントにトラップされたが、bail outできた1例. 第36回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会. 2024.1.12. 福岡
 11. 柿本洋介. ShockwaveでのIVL（血管内破石術）後に冠穿孔を来した一例. 第36回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会. 2024.1.12. 福岡
 12. 野田武司. 左冠動脈主幹部への介入が心原性ショックの離脱に奏功した右冠動脈を責任病変とするSTEMI症例. 第36回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会. 2024.1.12. 福岡
 13. 大坪豊和. Prevalence of cardiac amyloidosis in patients undergoing catheter ablation for AF; evidence from atrial biopsy. 第88回日本循環器学会学術集会. 2024.3.9. 神戸
 14. 安心院法樹. 急性心筋梗塞に伴う左室自由壁破裂に対してECMO+Impella5.5を用いて救命し得た一例での考察. 第51回日本集中治療医学会学術集会. 2024.3.14. 札幌

緩和ケア科

(論文・著書)

1. 小杉寿文(分担). 日本ペインクリニック学会治療指針 改訂第7版. 文光堂. 2023.6

2. 小杉寿文(分担). 日本ペインクリニック学会がんサバイバーの慢性疼痛治療に関するステートメント. WEB. 2023.9

(学会発表)

1. 小杉寿文. オピオイドと投与経路の選択と支持療法～より質の高い鎮痛をめざして～. ヒドロモルフォンWebセミナー. 2023.4.17. オンライン開催
2. 小杉寿文. オピオイドと投与経路の選択と支持療法～より質の高い鎮痛をめざして～. Cancer Management Web セミナー. 2023.5.29. オンライン開催
3. 小杉寿文. がん向き合う. がんピアサポーター養成講座. 2023.6.11. 佐賀
4. 小杉寿文. どうしようもない会陰部痛・肛門痛の治療戦略 ～インターベンショナル治療～. 第28回日本緩和医療学会. 2023.7.1. 神戸
5. 古賀美佳. 本人の“する”選択と“しない”選択を医療チームで支持したICUの2症例. 第28回日本緩和医療学会. 2023.7.1. 神戸
6. 小杉寿文. がんサバイバーの痛みに対するインターベンション治療. 日本ペインクリニック学会第57回学術集会. 2023.7.14. 佐賀
7. 小杉寿文. がん性疼痛と神経障害性疼痛マネジメント～より質の高い鎮痛をめざして～. みんなで考える緩和医療Meeting in 湘南. 2023.7.28. 藤沢
8. 小杉寿文. がん性疼痛と神経障害性疼痛マネジメント～より質の高い鎮痛をめざして～. 緩和ケア連携Webセミナー. 2023.8.3. オンライン開催
9. 小杉寿文. 緩和ケア病棟での看取り研修～安心して介護施設や地域で看取り看取られるために～. 第61回全国自治体病院学会. 2023.9.1. 札幌
10. 小杉寿文. がん性疼痛治療の基本とアップデート～がんサバイバーの疼痛治療も含めて～. 第21回長崎緩和ケアセミナー. 2023.9.2. 長崎
11. 久保麻悠子. コロナ窩での緩和ケア「緩和ケア病棟での問題点」. 国立がん研究センター多地点合同メディカルカンファレンス. 2023.9.14. オンライン開催
12. 古賀美佳. これならできるACP. リレーフォーライフ佐賀. 2023.9.16. 佐賀
13. 小杉寿文. 緩和ケアってなに?. リレーフォーライフ佐賀. 2023.9.16. 佐賀
14. 小杉寿文. オピオイドと投与経路の選択～より質の高い鎮痛をめざして～. 茨城県病院薬剤師緩

- 和ケアwebセミナー. 2023.9.20. オンライン開催
15. 小杉寿文. 難治性がん性疼痛治療. 東京緩和ケアネットワーク講演会. 2023.10.14. オンライン開催
 16. 小杉寿文. オピオイドと投与経路の選択～より質の高い鎮痛をめざして～. 明日のわが街緩和医療を考える会 in shikoku. 2023.10.23. オンライン開催
 17. 小杉寿文. 難治性がん性疼痛治療について. 第5回日本緩和医療学会九州支部学術集会. 2023.11.3. 鹿児島
 18. 小杉寿文. 心と身体の痛みと緩和ケア. 長田病院緩和ケア病棟開設10周年記念講演会. 2023.11.10. 柳川
 19. 小杉寿文. オピオイドと投与経路の選択～より質の高い鎮痛をめざして～. 諫早緩和ケア地域連携懇話会. 2023.11.13. オンライン開催
 20. 小杉寿文. 悪液質と終末期 輸液と栄養について. 佐賀県栄養士会・介護予防に関わる専門職の人材育成研修会. 2023.11.19. 佐賀
 21. 小杉寿文. オピオイドと投与経路の選択～より質の高い鎮痛をめざして～. がん性疼痛 Up to Date Webセミナー. 2023.11.20. オンライン開催
 22. 小杉寿文. オピオイドと投与経路の選択～より質の高い鎮痛をめざして～. 宮崎県の緩和医療を考える会. 2023.12.3. 宮崎
 23. 小杉寿文. 「がん」ってなんだろう?. 岩松小学校がん教育. 2023.12.6. 小城
 24. 小杉寿文. 緩和ケアの現在－痛み苦しみにどこまで対処できるか－難治性がん性疼痛にどう立ち向かうか. 第12回日本リビングウィル研究会. 2023.12.9. 東京
 25. 小杉寿文 (大会長). ケアする心を、ケアする. 日本死の臨床研究会九州支部 第49回研究集会. 2024.1.20. 佐賀
 26. 小杉寿文. 「がん」ってなんだろう?～正しく知って、正しく怖がろう～. 神埼清明高校がん教育. 2024.1.22. 神埼
 27. 小杉寿文. オピオイドと投与経路の選択～より質の高い鎮痛をめざして～. ヒドロモルフォン Webセミナー. 2024.2.9. 東京(オンライン開催)
 28. 小杉寿文. がん性疼痛と非がん性疼痛に対するオピオイド. 佐賀県薬剤師会医療用麻薬研修会. 2024.2.19. 佐賀
 29. 小杉寿文. がんサバイバーの痛みに対するインターベンショナル治療. 第53回日本慢性疼痛学会. 2024.2.23. 足利
 30. 小杉寿文. オピオイドと投与経路の選択～より質の高い鎮痛をめざして～. 在宅医療を考える会 in 佐賀. 2024.3.4. オンライン開催
 31. 小杉寿文. オピオイドと投与経路の選択～より質の高い鎮痛をめざして～. 第8回緩和医療地域連携カンファレンス. 2024.3.11. 相模原
 32. 小杉寿文. 看取り講義. 佐賀県看取り啓発普及事業. 2024.3.14. 佐賀
 33. 小杉寿文. 難治性がん性疼痛に対するくも膜下鎮痛法. 第30回緩和医療に関する集中セミナー in 香川. 2024.3.15. 香川
 34. 小杉寿文. オピオイドと投与経路の選択～より質の高い鎮痛をめざして～. 疼痛医療を考える会 WEBセミナー. 2024.3.18. オンライン開催
 35. 小杉寿文. 25年 (16年)、そして未来へ. 好生館緩和ケア病棟25周年記念講演会. 2024.3.20. 佐賀

呼吸器外科

(論文)

1. 大庭大治、岡本祐介、宮本詩子、武田雄二、寺崎泰宏、平塚昌文. 肺癌切除後にニューモシチス肺炎を併発した異所性ACTH産生肺定型カルチノイドの1切除例. 肺癌. 63(3)182-187. 2023.6
2. 宮本詩子、武田雄二、寺崎泰宏、加藤剛、桑原雄紀、久保田未央、岩永健太郎、安座間真也. 気管支動脈閉塞により安全に軟性気管支鏡下摘出診断しえた気管支粘表皮癌. 胸部外科. 76(8)619-622. 2023.8

(学会発表)

1. 宮本詩子、武田雄二、岡本祐介. 当院における多発胸部外傷の外科的治療の検討と社会復帰に向けたリハビリテーションの重要性. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会. 2023.7.13-14. 新潟
2. 武田雄二、宮本詩子、岡本祐介. 組織学的所見より末梢発生慢性肺血栓栓症(chronic pulmonary thromboembolism: CPTE)と判断された一例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会. 2023.7.13-14. 新潟
3. 武田雄二、宮本詩子、岡本祐介. Papillary adenocarcinomaおよびColloid adenocarcinomaの重複がんの一例. 第56回日本胸部外科学会九州地方会総会. 2023.7.27-28. 大分

(講演)

1. 武田雄二、内藤光三. 質改善活動～経鼻胃管自

己抜去を減らす～. 医療クオリティマネジャー質改善の実践事例の共有会. 2023.7.13. オンライン開催

消化器外科

(論文・著書)

1. 池田貯, 能城浩和. 胃癌 低侵襲手術の現状と展望 特集・食道・胃・大腸癌の最新情報. 臨床と研究. 100(6):699-703. 2023.6
2. Kitagawa H, Hiraki M, Namba T, Baba K, Miyake S, Ito K, Tanaka T, Noshiro H. The Oncological Effect of Mutant p53 on the Metastatic Phenotype of Gastric Cancer Cells. *Anticancer Res.* 2023 Nov;43(11)4887-4895. doi:10.21873/anticancer.16686. IF:2.435.
3. Kitagawa H, Manabe T, Yamada Y, Sato H, Takesue S, Hiraki M, Kawaguchi A, Sakaguchi Y, Noshiro H. A prospective randomized study of multimodal analgesia combined with single injection transversus abdominis plane block versus epidural analgesia against postoperative pain after laparoscopic colon cancer surgery. *Int J Colorectal Dis.* 2023 Dec 29;39(1)12. doi:10.1007/s00384-023-04580-w. IF:2.796.
4. 池田貯. 解剖と術式がまるわかり 消化器外科手術フェス 特集2【胃】ロボット支援下幽門側胃切除術(腹腔鏡下手術). *OPE NURSING.* Vol.38:14-21. 2023
5. 鶴安浩, 與田幸恵, 能城浩和. 血流を重視した亜全胃胃管を用いた後縦隔経路頸部食道胃管三角吻合部の工夫と成績. 第78回日本消化器外科学会総会. 2023.7.14. 函館
6. 古賀靖大, 北川浩, 新藤優里, 櫻井良太, 鶴安浩, 江川紀幸, 古賀浩木, 池田貯, 三好篤, 田中聡也, 北原賢二, 佐藤清治. 佐賀県医療センター好生館における大腸癌手術の現状と工夫. 第42回佐賀外科治療フォーラム. 2023.7.22. 佐賀
7. 池田貯(座長). 次世代のRAS~Hybrid RASがもたらすもの～. 第33回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会. 2023.9.9. 福岡
8. 池田貯(座長). Find New Experts. 第3回九州腹腔鏡下胃切除座談会～さらなる高みを目指すエキスパートの集い～. 2023.11.2. オンライン開催
9. 池田貯. ラパロはもうオワコンか??～ロボット手術成長期における外科医教育の現実的選択は?～. 第3回九州腹腔鏡下胃切除座談会～さらなる高みを目指すエキスパートの集い～. 2023.11.2. オンライン開催
10. 池田貯. テーマ「ロボット支援下胃切除術～JSES技術認定に向けて～」話題提供② ロボット手術成長期における外科手術教育の問題点と解決法～地方大学関連教育施設での現実的選択～. 第23回腹腔鏡下胃切除研究会. 2023.12.6. オンライン開催
11. 池田貯, 鶴安浩, 新藤優里, 北川浩, 江川紀幸, 古賀浩木, 古賀靖大, 三好篤, 田中聡也, 北原賢二. NAC症例だからこそ合併症ゼロ!ロボット胃癌手術における手技の工夫と目指す手術. 第36回日本内視鏡外科学会総会. 2023.12.7. 横浜
12. 古賀靖大, 北川浩, 新藤優里, 櫻井良太, 鶴安浩, 江川紀幸, 古賀浩木, 池田貯, 三好篤, 田中聡也, 北原賢二, 佐藤清治. ロボット支援下直腸切除術における手術手技の工夫と短期成績. 第36回日本内視鏡外科学会総会. 2023.12.7-9. 横浜
13. 鶴安浩, 池田貯, 新藤優里, 北川浩, 江川紀幸, 古賀浩木, 古賀靖大, 三好篤, 北原賢二, 田中聡也. 上部消化管領域におけるロボット新時代を見据えた手術教育のあり方. 第36回日本内視鏡外科学会総会. 2023.12.8. 横浜
14. 池田貯(司会). 胃・十二指腸悪性 再建法. 第36回日本内視鏡外科学会総会. 2023.12.9. 横浜
15. 北川浩, 古賀靖大, 江川紀幸, 古賀浩木, 池田貯, 三好篤, 田中聡也, 北原賢二. 小柄な高齢女性に対するロボット支援下直腸癌手術の工夫. 第36

(学会発表・講演)

1. 鶴安浩, 與田幸恵, 能城浩和. 高度進行胃癌に対する適切な術前補助化学療法の検討. 第123回日本外科学会定期学術集会. 2023.4.28. 東京
2. Tsuru Y, Yoda Y, Hirokazu N. Robotic gastrectomy for advanced gastric cancer. EAES Annual Congress 2023. 2023.6.20-23. Rome
3. 池田貯, 梶原脩平, 北川浩, 江川紀幸, 古賀浩木, 古賀靖大, 三好篤, 田中聡也, 北原賢二, 佐藤清治. 食道胃接合部癌:リンパ節転移症例経験から再考するアプローチ法と術式の選択. 第77回日本食道学会学術集会. 2023.6.29. 大阪
4. 池田貯, 西田泰治, 馬場楓, 北川浩, 三宅修輔, 古賀靖大, 田中聡也, 北原賢二. 腹腔鏡からロボットへ過渡期における消化器外科教育の現状～ロボット手術術者への必要条件は何か?～. 第78回日本消化器外科学会総会. 2023.7.13. 函館

- 回日本内視鏡外科学会総会. 2023.12.9. 横浜
16. 池田貯、鶴安浩、新藤優里、北川浩、江川紀幸、古賀浩木、古賀靖大、三好篤、田中聡也、北原賢二、佐藤清治. 進行胃癌に対するロボット手術を行う意義とその手技の工夫～合併症を減らし、周術期化学療法を充実させる～ Significance and Technique of Robotic Surgery for Advanced Gastric Cancer. 第96回日本胃癌学会総会. 2024.2.29. 京都
 17. 田中優里(新藤優里)、池田貯、鶴安浩、北川浩、江川紀幸、古賀浩木、古賀靖大、三好篤、田中聡也、北原賢二、佐藤清治. ロボット胃全摘、噴門側切除における肝外側区域授動の有用性 ～ロボットの特性を生かすための工夫と注意点～. 第96回日本胃癌学会総会. 2024.2.29. 京都
 18. 池田貯、鶴安浩、新藤優里、北川浩、江川紀幸、古賀浩木、古賀靖大、三好篤、田中聡也、北原賢二、佐藤清治. 鏡視下胃全摘術における食道空腸吻合時のトラブルシューティング —ロボット手術の有用性の検討—. 第96回日本胃癌学会総会. 2024.3.1. 京都

肝臓・胆のう・膵臓外科

(学術論文)

1. 馬場楓、古賀浩木、西田泰治、梶原脩平、江川紀幸、北川浩、三宅修輔、古賀靖大、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 狭心症治療直後に発症し診断と治療方針決定に苦慮した気腫性胆嚢炎の一例. 医学雑誌「好生」. 57:58-61. 2023.6
2. Egawa N, Miyoshi A, Manabe T, Sadashima E, Koga H, Sato H, Ikeda O, Tanaka T, Kitahara K, Noshiro H. Clinical evaluation of a surgical difficulty score for laparoscopic cholecystectomy for acute cholecystitis proposed in the Tokyo Guidelines 2018. *Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences*. 30(5)625-632. 2023
3. Nanashima A, Eguchi S, Hisaka T, Kawasaki Y, Yamashita Y, Ide T, Kuroki T, Yoshizumi T, Kitahara K, Endo Y, Utsunomiya T, Kajiwara M, Sakoda M, Okamoto K, Nagano H, Takami Y, Beppu T. Risk factors of complications from Central bisectionectomy (H458) for hepatocellular carcinoma: A multi-Institutional single-arm analysis. *Cancers*. 15, 1740. 2023
4. Yukio Tokumitsu, Hiroaki Nagano, Yo-ichi Yamashita, Tomoharu Yoshizumi, Toru Hisaka, Atsushi Nanashima, Tamotsu Kuroki, Takao Ide, Yuichi Endo, Tohru Utsunomiya, Kenji Kitahara, Yota Kawasaki, Masahiko Sakota, Kohji Okamoto, Yuko Takami, Masatoshi Kajiwara, Mitsuhisa Takatsuki, Toru Beppu, Susumu Eguchi. Efficacy of laparoscopic liver resection for small hepatocellular carcinoma located in the posterosuperior segments: A multi-institutional study using propensity score matching by the Kyushu Study Group of Liver Surgery. *Hepatology Research*. 53(9) 878-889. 2023
5. Hirashita T, Ikenaga N, Nakata K, Nakamura M, Kurahara H, Ohtsuka T, Tatsuguchi T, Nishihara K, Hayashi H, Nakagawa S, Ide T, Noshiro H, Adachi T, Eguchi S, Miyoshi A, Kohi S, Nanashima A, Nagano H, Takatsuki M, Inomata M. Prognostic significance of lymph node metastasis in pancreatic tail cancer: A multicenter retrospective study. *Ann Gastroenterol Surg*. 9;8(4): 681-690. 2024.1

(学会発表・講演)

1. 江川紀幸、三好篤、馬場楓、西田泰治、梶原脩平、北川浩、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、田中聡也、北原賢二、佐藤清治. 内視鏡手術時代の若手外科医のrecruit 腹腔鏡下胆嚢摘出術を通して外科医としての醍醐味を経験させる. 第123回日本外科学会総会. 2023.4.27-29. 東京
2. Miyoshi Atsushi, Egawa Noriyuki, Koga Hiroki, Kitahara Kenji. Short-term outcomes and post-operative nutritional status of patients with total pancreatectomy. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会. 2023.6.30-7.1. 東京
3. Egawa Noriyuki, Miyoshi Atsushi, Koga Hiroki, Kitahara Kenji. Preoperative predictors of highly difficult surgery in laparoscopic cholecystectomy for acute cholecystitis. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会. 2023.6.30-7.1. 東京
4. Koga Hiroki, Egawa Noriyuki, Miyoshi Atsushi, Kitahara Kenji. Laparoscopic subtotal cholecystectomy for acute cholecystitis in our hospital. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会. 2023.6.30-7.1. 東京
5. 江川紀幸、三好篤、梶原脩平、北川浩、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、田中聡也、北原賢二. 発症5日以降の急性胆嚢炎に対する治療戦略の検証－早期手術と待機手術における手術難

- 度、回避手術の検討－. 第78回日本消化器外科学会総会. 2023.7.12-14. 函館
6. 三好篤、新藤優里、櫻井良太、鶴安浩、北川浩、江川紀幸、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、田中聡也、北原賢二. ロボット支援下肝切除導入における安全な肝離断法と止血法. 第78回日本消化器外科学会総会. 2023.7.12-14. 函館
 7. 三好篤、新藤優里、櫻井良太、鶴安浩、北川浩、江川紀幸、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、田中聡也、北原賢二. ロボット支援下肝切除導入における安全な肝離断法：水滴滴下併用clamp & crush法. 第36回日本内視鏡外科学会総会. 2023.12.7-9. 横浜
 8. 江川紀幸、三好篤、梶原脩平、北川浩、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、田中聡也、北原賢二. 急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢重全摘術の手術成績と今後の課題. 第36回日本外科感染症学会総会. 2023.12.15-16. 北九州
 9. 江川紀幸、三好篤、古賀浩木、北原賢二. ロボット支援下肝切除術における生食滴下併用肝実質切離. 第43回九州肝臓外科研究会学術集会. 2024.1.27. 福岡
 10. 三好篤、江川紀幸、古賀風太、古賀浩木、大座紀子、北原賢二. 再発胆道癌に対するゲノム医療の現状. 第53回制癌剤適応研究会. 2024.2.16. 下呂
 11. 馬田裕子、江川紀幸、新藤優里、櫻井良太、鶴安浩、北川浩、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 初期研修医が手術執刀を経験することの意義－腹腔鏡下胆嚢摘出術の術者経験を通して学んだこと－. 第60回九州外科学会. 2024.3.8-9. 大分
 12. 江川紀幸(司会). 若手医師とModified Socratic Methodで共に学ぼう！膵臓外科の歴史と最新の知見. 第60回日本腹部救急医学会総会. 2024.3.23-24. 北九州
- 径ヘルニア. 第16回臨床外科学会佐賀県支部会. 2023.4.12. 佐賀
2. 山内健、中林和庸、田口匠平. 在宅静脈栄養管理にて良好な成長発育が得られているヒルシスブルング病類縁疾患(腸管神経節細胞僅少症)の1例. 第93回佐賀小児科地方会. 2023.4.22. 佐賀
 3. 山内健、江頭智子. 小児HPN患者におけるカテーテル合併症と管理法の工夫について. 第38回日本臨床栄養代謝学会. 2023.5.9-10. 神戸
 4. 山内健、中林和庸、田口匠平、江頭智子. 長期静脈栄養患者におけるカテーテル合併症と管理法の工夫について. 第60回日本小児外科学会. 2023.6.1-3. 大阪
 5. 山内健. 体組成分析の基礎と臨床応用. 第45回日本栄養アセスメント研究会 教育セミナー. 2023.6.16-17. 久留米
 6. 山内健. 小児の栄養管理. 第5回Medical Nutritionistセミナー. 2023.8.5-6. 南草津
 7. 亀井一輝、田口匠平、山内健. 当院における重症心身障がい児に対する胃瘻造設について. 第52回九州小児外科研究会. 2023.8.26. 福岡
 8. 田口匠平、亀井一樹、山内健. アンケート集計報告1：重症心身障害児(者)に関するデータのまとめ. 第52回九州小児外科研究会. 2023.8.26. 福岡
 9. 山内健、亀井一輝、田口匠平. アンケート集計報告2：重症心身障害児者における胃瘻造設法と周術期管理. 第52回九州小児外科研究会. 2023.8.26. 福岡
 10. 亀井一輝、田口匠平、山内健. 鼠径ヘルニアに対する手術法の変遷および腹腔鏡手術が手術時間や麻酔に及ぼす影響に関する検討. 第33回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会. 2023.9.9. 福岡
 11. 亀井一輝、田口匠平、山内健. 当院における重症心身障がい児者に対する胃瘻造設について. 第52回日本小児外科代謝研究会. 2023.10.26. 福岡
 12. 亀井一輝、田口匠平、山内健. 幼児期に診断された先天性十二指腸狭窄症の1例. 第95回佐賀小児科地方会. 2023.12.3. 佐賀
 13. 山内健、亀井一輝、田口匠平. 重症心身障害児・者の胃瘻造設法と周術期管理に関する検討. 第39回日本臨床栄養代謝学会. 2024.2.15-16. 横浜
 14. 田口匠平、亀井一樹、山内健. 十二指腸通過障害を呈した重度側弯症合併重症心身障害者の一例. 第48回九州代謝栄養研究会. 2024.3.2. 久留米
 15. 亀井一輝、田口匠平、山内健. 重症心身障害児

小児外科

(論文)

1. 竜田恭介、中林和庸、山内健. 仮性嚢胞を呈した腹壁卵黄腸管嚢胞の1例. 日小外誌 59 (4): 789-792, 2023

(学会・研究会発表・講演)

1. 亀井一輝、中林和庸、田口匠平、山内健. 腹膜鞘状突起の開存を伴わない直接(de novo型)外鼠

- (者)における胃瘻造設法に関する検討. 第48回九州代謝・栄養研究会. 2024.3.2. 久留米
16. 亀井一輝、田口匠平、山内健. 幼児期に診断された先天性十二指腸狭窄症の1例. 第60回九州小児外科学会. 2024.3.9. 大分
17. 山内健. Hypoganglionosis の二人の患児から学んだ栄養管理. 第15回静脈経腸栄養管理指導者協議会学術集会. 2024.3.16-17. 奈良

心臓血管外科

(論文)

1. Jun Ushigusa, Manabu Sato, Kozo Naito. Left subclavian arterial aneurysm treated with Hybrid therapy: A case report. 医学雑誌「好生」. 57:52-54. 2023.6
2. 永島聖恭、中下俊哉、川添夕佳、藤本光、野下祥太郎、村山賢一郎、古賀風太、大座紀子. 重症膵炎後の腓胝性嚢胞フォロー中に左側腹部間欠痛で発症した膵内仮性動脈瘤破裂の一例. 医学雑誌「好生」. 57:62-64. 2023.6

(学会・研究会発表)

1. 牛草淳、里学、永島聖恭、川崎裕満. 急性大動脈症候群に対する TEVAR 11 症例の検討. 第123 回日本外科学会定期学術集会. 2023.4.27. 東京
2. 永島聖恭、里学、川崎裕満、牛草淳. 多彩な経過をたどった腹部大動脈瘤人工血管置換術の一例. 腹部大動脈瘤手術の再考. 第51回日本血管外科学会学術総会. 2023.6.1. 東京
3. 永島聖恭、里学、川崎裕満、牛草淳. 当院における心臓腫瘍症例の検討. 第56回日本胸部外科学会九州地方会. 2023.7.28. 大分
4. 牛草淳、里学、永島聖恭、川崎裕満. 胸腔内に脱落し再手術を要したデンバーシャントの1例. 第56回日本胸部外科学会九州地方会. 2023.7.28. 大分
5. 内藤光三、武田雄二、山口雅子、梶原早苗、中川香澄、徳島香奈、佐藤清治. 全死亡症例の検証と病院管理者への報告システム. 第61回全国自治体病院学会. 2023.8.31. 札幌
6. 永島聖恭、里学、川崎裕満、牛草淳. 当院における大伏在静脈を用いたシャント造設術の治療成績. 第120回日本血管外科学会九州地方会. 2023.9.30. 北九州
7. 内藤光三、武田雄二、山口雅子、梶原早苗、徳

- 島香奈、中川香澄、草葉一友. 医師からのインシデント・アクシデント報告が組織の医療安全活動を活性化するかの検証. 第18回医療の質・安全学会学術集会. 2023.11.25. 神戸
8. 牛草淳、里学、三保貴裕、永島聖恭. VPC に対するクライオアブレーションの使用経験. Winter K's Conference. 2024.2.17. 佐賀

(講演)

1. 里学. TAVIから広がる弁膜症治療. 令和5年度佐賀県医療センター好生館 地域医療連携懇談会. 2023.10.13. 佐賀

脳神経外科

(論文)

1. 前山元、井戸啓介、藤井裕太郎、横溝明史、松本健一. 頸部内頸動脈解離を合併した破裂中大脳動脈瘤の一例. 脳卒中の外科. 51(5):448-452. 2023.9
2. 前山元、井戸啓介、原田亜由美、横溝明史、上床武史、溝上泰一朗、高島洋、松本健一. 中大脳動脈M2閉塞に対する脳血栓回収療法の治療成績の検討. 脳卒中の外科. 46(1):13-17. 2024.1

(学会発表・講演)

1. 井戸啓介. 非再開通症例. Kyushu AIS User's Seminar. 2023.5.25. オンライン開催
2. 柳田暢志、檜垣梨央、井戸啓介、松本健一. 閉塞性水頭症を伴う後頭蓋窩器質化慢性硬膜下血腫の一例. 第144回日本脳神経外科学会九州支部会. 2023.6.3. 佐賀
3. 井戸啓介. EmboTrapを使用したM2閉塞治療. Embotrip in 福岡. 2023.6.13. 福岡
4. 井戸啓介. 当院でのピヴラツツの使用経験. 第58回佐賀脳神経外科懇話会. 2023.7.1. 佐賀
5. 柳田暢志、山崎成茂、檜垣梨央、井戸啓介、松本健一. COVID-19を契機として急激な血栓化を起こした椎骨脳底動脈拡張症の一例. 第145回日本脳神経外科学会九州支部会. 2023.9.9. 大分
6. 井戸啓介. Avenir coilの使用経験. QSNET in FUKUOKA. 2023.9.25. 福岡
7. 井戸啓介、檜垣梨央、柳田暢志、松本健一. クラブセンタンを用いたくも膜下出血周術期管理. 日本脳神経外科学会第82回学術総会. 2023.10.25. 横浜
8. 檜垣梨央、井戸啓介、柳田暢志、上床武史、溝

- 上泰一朗、高島洋、松本健一. 当院における軽症急性期脳梗塞に対する血栓回収療法の治療成績. 日本脳神経外科学会第82回学術総会. 2023.10.25. 横浜
9. 柳田暢志、井戸啓介、檜垣梨央、上床武史、溝上泰一朗、高島洋、松本健一. 中大脳動脈M2閉塞に対する脳血栓回収療法の治療成績の検討. 日本脳神経外科学会第82回学術総会. 2023.10.25. 横浜
10. 檜垣梨央. 佐賀県医療センター好生館での血管内治療の症例. 第7回BASE. 2023.11.11. オンライン開催
11. 井戸啓介、檜垣梨央、柳田暢志、松本健一. クラゾセンタンを用いたくも膜下出血周術期管理. 第39回日本脳神経血管内治療学会学術集会. 2023.11.23. 京都
12. 檜垣梨央、井戸啓介、柳田暢志、上床武史、溝上泰一朗、高島洋、松本健一. 当院における軽症急性期脳梗塞に対する血栓回収療法の治療成績. 第39回日本脳神経血管内治療学会学術集会. 2023.11.25. 京都
13. 松本健一. 佐賀県医療センター好生館で経験した手術症例とボルヒール使用上の工夫. Neurosurgery Technical Seminar 2024. 2024.2.9. 福岡
14. 檜垣梨央、柳田暢志、井戸啓介、松本健一. テモゾロミドが著効した下垂体癌の一例. 第146回日本脳神経外科学会九州支部会. 2024.3.2. 福岡
15. 柳田暢志、檜垣梨央、井戸啓介、松本健一. 出血性ショックを呈した顔面動脈損傷に対して選択的動脈塞栓術を行い良好な経過を得た症例. 第47回日本脳神経外傷学会. 2024.3.2. 東京
16. 檜垣梨央、井戸啓介、柳田暢志、上床武史、溝上泰一朗、高島洋、松本健一. 軽症急性期脳梗塞に対する当院における血栓回収療法の治療成績. STROKE2024. 2024.3.7. 横浜
17. 井戸啓介、檜垣梨央、柳田暢志、松本健一. クラゾセンタンを用いたくも膜下出血周術期管理. STROKE2024. 2024.3.7. 横浜
18. 柳田暢志、井戸啓介、檜垣梨央、松本健一. 中大脳動脈M2閉塞に対する脳血栓回収療法の治療成績の検討. STROKE2024. 2024.3.7. 横浜

整形外科

(執筆)

1. 前隆男. 脛骨近位部骨折. 骨折プレート治療マ

- イスター. 改訂第2版:268-282. 2023.3
2. 前隆男. 大腿骨近位部骨折. 骨折・脱臼. 改訂5版:967-1014. 2023.5
3. 林田光正. Expandable Cageの有用性. Medtronic Sofamor Danek 手術指導書 White Paper. 2024

(論文)

1. T.tsutsui, Y.matsumoto, T.mae, Y.iwamoto, Y.nakashima. Geriatric nutritional risk index as the prognostic factor in older patients with fragility hip fractures. Osteoporosis International. 34 (7):1207-1221. 2023
2. 清水瓊玖、小宮紀宏、高村優希、大森治希、土居雄太、眞島新、平林健一、松下優、馬場覚、塚本伸章、林田光正、前隆男. 陳旧性肩関節脱臼骨折に対し観血的治療を行なった一例. 整形外科と災害外科. 72(3):509-512. 2023
3. 谷口善政、馬場覚、林田光正、塚本伸章、小宮紀宏、園田裕樹、藤澤徳仁、吉村郁弘、古賀源基、前隆男. 頸椎除圧固定術後に両側C5麻痺をきたした1例. 整形外科と災害外科. 72(4):836-840. 2023
4. 大森治希、塚本伸章、高村優希、清水瓊玖、土居雄太、眞島新、平林健一、松下優、馬場覚、小宮紀宏、林田光正、前隆男. 膝関節軽度屈曲位での外側傍膝蓋骨進入により髓内釘挿入を行った脛骨骨折3症例の治療経験. 整形外科と災害外科. 72(4):722-725. 2023
5. 土居雄太、松下優、高村優希、清水瓊玖、大森治希、眞島新、平林健一、馬場覚、小宮紀宏、塚本伸章、林田光正、前隆男. 小児上腕骨外側顆脱臼骨折の2例. 整形外科と災害外科. 72(4):707-709. 2023
6. 塚本伸章、前隆男、小宮紀宏、岡和一郎. 当院にて治療された重症・多発外傷における骨盤輪・寛骨臼骨折の骨折手術タイミングと全身状態の改善との関連についての検討. 骨折. 45(2):365-370. 2023

(学会発表)

1. 高村優希、塚本伸章、前隆男、大森治希、清水瓊玖、土居雄太、眞島新、平林健一、松下優、馬場覚、小宮紀宏、林田光正. 治療に難渋した慢性下肢虚血を伴う下腿遠位開放骨折の1例. 第145回西日本整形・災害外科学会学術集会. 2023.6.3. 福岡
2. 村山弘和、高村優希、大森治希、清水瓊玖、土

- 居雄太、眞島新、平林健一、松下優、馬場覚、小宮紀宏、塚本伸章、林田光正、前隆男。早期に診断、治療し得た亜急性連合性脊髄変性症の一例。第145回西日本整形・災害外科学会学術集会。2023.6.3。福岡
3. 小宮紀宏、小川宗一郎、松下優、佐々木貴宏、酒井鴻、田代勇人、木村太一、平林健一、馬場覚、塚本伸章、林田光正、前隆男。肘関節周囲、膝関節周囲の重度骨折に対する一時的創外固定の有用性。第49回日本骨折治療学会学術集会。2023.6.30。静岡
4. 塚本伸章、松下優、小川宗一郎、佐々木貴宏、酒井鴻、田代勇人、木村太一、平林健一、馬場覚、小宮紀宏、林田光正、前隆男。踵骨骨折に対する小侵襲でのプレート内固定の治療成績。第49回日本骨折治療学会学術集会。2023.6.30。静岡
5. Yuta Doi, Satoshi Baba, Mitsumasa Hayashida, Yuki Takamura, Haruki Oomori, Riku Simizu, Arata Mashima, Kenichi Hirabayashi, Yu Matsushita, Norihiro Komiya, Nobuaki Tsukamoto, Takao Mae. Clinical accuracy of percutaneous pedicle screw insertion in the thoracic and lumbar spine under two-dimensional fluoroscopy: a comparative study between percutaneous pedicle screw with guide-wireless and conventional with guidewire systems. The 23rd Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery. 2023.7.13. Taiwan
6. 林田光正。急性に状態が悪化した転移性骨腫瘍の一例。九脊の会。2023.8.4。福岡
7. 小川宗一郎、松下優、前隆男、佐々木貴宏、酒井鴻、田代勇人、木村太一、平林健一、馬場覚、小宮紀宏、塚本伸章、林田光正。当院で経験した Jewffery型骨折の2例。第146回西日本整形・災害外科学会学術集会。2023.11.3。宜野湾
8. 木村太一、馬場覚、林田光正、佐々木貴宏、小川宗一郎、酒井鴻、田代勇人、平林健一、松下優、小宮紀宏、塚本伸章、前隆男。脊椎強直に伴う第6胸椎椎体骨折に対して患者適合ガイドを用いて後方固定を施行した1例。第146回西日本整形・災害外科学会学術集会。2023.11.3。宜野湾
9. 田代勇人、平林健一、前隆男、酒井鴻、佐々木貴宏、小川宗一郎、木村太一、松下優、馬場覚、小宮紀宏、塚本伸章、林田光正。尺骨非定型骨折の一例。第146回西日本整形・災害外科学会学術集会。2023.11.3。宜野湾
10. 酒井鴻、松下優、前隆男、佐々木貴宏、小川宗一郎、田代勇人、木村太一、平林健一、馬場覚、小宮紀宏、塚本伸章、林田光正。小児橈骨遠位端骨折に橈骨骨患部再々骨折を合併した1例。第146回西日本整形・災害外科学会学術集会。2023.11.4。宜野湾
11. 林田光正、馬場覚、木村太一、前隆男。石灰沈着を伴う胸椎椎間板ヘルニアに対し手術を行った症例。第50回福岡脊椎外科フォーラム。2023.12.16。福岡

(講演)

1. 馬場覚。骨粗鬆症性椎体骨折－治療方針はどう決めていくか。旭化成ファーマ(株)内研修会。2023.4.21。佐賀
2. 前隆男。テンションバンドワイヤリング。九州大学骨折治療研究会 初級。2023.6.18。福岡
3. 前隆男。成長期のスポーツ傷害。令和5年度佐賀県鍼灸マッサージ師会 第2回生涯研修会。2023.7.30。佐賀
4. 林田光正、馬場覚、木村太一、前隆男。Mimic Spinal Stenosisに対する当院の取り組み。第17回佐賀整形外科手術侵襲・疼痛研究会。2023.8.5。佐賀
5. 前隆男。ロコモティブシンドローム。ゆめ佐賀大学大学院。2023.10.24。佐賀
6. 前隆男。神経症状の見方・診方。九州労働局 労災補償課 九州沖縄ブロック業務専門研修。2023.11.14。佐賀(オンライン開催)
7. 前隆男。足関節内骨折の治療原則と応用。整形外科 expert seminar。2023.11.22。福岡
8. 前隆男。足関節内骨折の治療原則と応用。埼玉骨折治療研究会。2023.11.30。川越
9. 馬場覚。脊椎椎体骨折の診断と治療。第一三共株式会社 社内研修会。2023.12.1。佐賀
10. 前隆男。ロコモティブシンドローム。ゆめ佐賀大学大学院。2023.12.12。佐賀
11. 前隆男。外傷整形外科医に求められるもの。舞鶴整形外科セミナー。2023.12.21。福岡
12. 前隆男。ロコモティブシンドローム。ゆめ佐賀大学大学院。2024.1.16。唐津

精神科

(論文・執筆)

1. 角南隆史、杠岳文、齋藤利和、宮田久嗣、西谷陽子、露木寛之、樋口進. アルコール依存症と運転免許 依存症の重症度・治療目標と運転免許制度の変遷. 日本アルコール・薬物医学会雑誌. 58(1)9-22. 2023
2. 角南隆史、杠岳文、齋藤利和、宮田久嗣、西谷陽子、露木寛之、樋口進. アルコール依存症と運転免許 依存症の重症度・治療目標と運転免許制度に関するアンケート調査. 日本アルコール・薬物医学会雑誌. 58(1):82-98. 2023

(学会・講演会)

1. 角南隆史. アルコール使用障害患者を日常診療で診るために：非専門の医療スタッフでも使える短時間の簡易アプローチ. 第119回日本精神神経学会学術総会. 2023.6.22. 横浜
2. 角南隆史. ICTを用いた飲酒問題の1次予防・2次予防. 2023年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会. 2023.10.15. 岡山
3. 角南隆史. せん妄対策から始める総合病院でのアルコール健康障害対策. 第36回日本総合病院精神医学会総会. 2023.11.18. 仙台
4. 角南隆史. 連携しなくても何とかなるアルコール問題対策. 第35回九州アルコール関連問題学会大分大会. 2024.3.1. 大分
5. 角南隆史. アルコール問題の評価、診断、治療理論. 第35回九州アルコール関連問題学会大分大会. 2024.3.1. 大分

小児科

(論文など)

1. Kudoh M, Kakiuchi T, Yoshiura M, Esaki M, Matsuo M. Fecal calprotectin measurement to detect recurrence of solitary juvenile polyps : A case report. Medicine. 27;102(43)e35448. 2023.1
2. 岩永晃、在津正文. 多発小腸閉鎖症に対する手術後に診断した乳および大豆による新生児・乳児食物蛋白誘発胃腸症の1例. 小児科臨床. 76(3):425-430. 2023

(学会・研究会発表)

1. 工藤舞花、土井大人、島田里美、熊本崇、岩永学、松尾宗明. 14トリソミーモザイクの一例 - 1

歳を迎えて - 第126回日本小児科学会学術集会. 2023.4.14-16. 東京

2. 伊東優哉、馬場裕太、江口啓意、飯田美穂、納所哲也、測上真穂、中林結子、熊本愛子、前田寿幸、西村真二、松尾宗明. アリピプラゾールによる薬剤性糖尿病が疑われる1例. 第93回佐賀小児科地方会. 2023.4.22. 佐賀(オンライン開催)
3. 中村圭佑、江頭智子、萩野明日香、富野広通、河内久美、萩原俊、七條了宣、江頭政和、水上朋子、高柳俊光. 生後4時間で肺出血に起因する新生児危急病変を来したローリスク新生児の一例. 第93回佐賀小児科地方会. 2023.4.22. 佐賀(オンライン開催)
4. 熊本愛子. 群馬スコアが低値だった川崎病ショック症候群の乳児例. 第21回九州川崎病研究会. 2023.5.27. 久留米
5. 岩永晃. 食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応. 佐賀県教育センター研修初任者実践研修 I. 2023.6.5. 佐賀
6. 岩永晃. 食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応. 令和5年度学校における食物アレルギー対応研修会. 2023.6.20. 唐津
7. 岩永晃. ナースのための子どものみかた～緊急性を見極めるポイント～. 佐賀県看護教育研修会. 2023.7.2. 佐賀
8. 熊本愛子. MIS-Cの診断基準を満たし、群馬スコアが低値だった川崎病ショック症候群の乳児例. 佐賀大学クリニカルカンファレンス. 2023.7.4. 佐賀
9. 工藤舞花、熊本崇、岩永学、中村拓自、土井大人、松尾宗明. 心内修復術を行った两大血管右室起始症・18トリソミーの経過. 第94回佐賀小児科地方会・第218回日本小児科学会長崎地方会合同地方会. 2023.7.30. 長崎
10. 熊本愛子. 群馬スコアが低値だった川崎病ショック症候群の乳児例. 第94回佐賀小児科地方会・第218回日本小児科学会長崎地方会合同地方会. 2023.7.30. 長崎
11. 岩永晃、森田駿、中林結子、川崎祥平、稲田由紀子、在津正文. 鶏卵の食物経口負荷試験中等量における負荷量の検討. 第51回西日本小児アレルギー研究会. 2023.8.19. 福岡
12. 西村真二. 『学ぼう 活かそう 救急医療』こどもの急病 ～こんなときどうする～. 令和5年度好生館県民公開講座. 2023.8.20. 佐賀
13. 岩永晃. アレルギーマーチにおけるアトピー性皮膚炎治療の意義,モイゼルト軟膏. HOT

- MONTH in SAGA ～アトピー性皮膚炎治療を再考する～. 2023.9.25. 佐賀
14. 工藤舞花、小金丸三璃、江口啓意、西眞範、松尾宗明. 急性リンパ性白血病治療中にCOVID-19持続感染状態となり1型糖尿病を発症した1例. 第65回日本小児血液・がん学会学術集会. 2023.9.29-10.1. 札幌
 15. 中村圭佑、江頭智子、荻野明日香、冨野広通、河内久美、荻原俊、七條了宣、江頭政和、水上朋子、高柳俊光. 生後3時間で肺出血に起因する新生児危急病変を来したローリスク新生児の一例. 第67回日本新生児成育医学会. 2023.11.4. 横浜
 16. 岩永晃、森田駿、中林結子、川崎祥平、稲田由紀子、在津正文. 鶏卵の食物経口負荷試験中等量における負荷量の検討. 第60回日本小児アレルギー学会学術大会. 2023.11.18. 京都
 17. 中林結子、熊本愛子、工藤舞花、中村圭佑、伊東優哉、川崎祥平、岩永晃、前田寿幸、西村真二、緒方伸一. 手足口病に続発した十二指腸潰瘍により代償性ショックをきたした1歳男例. 第95回佐賀小児科地方会. 2023.12.3. 佐賀
 18. 伊東優哉、江藤潤也、吉村達、江頭絵里奈、室雅巳. 異なる母体TRAb高値がもたらす異なる経過：パセドウ病母体児の同胞例の比較. 第7回日本小児内分泌学会九州・沖縄地方会. 2024.2.11. 宮崎
 19. 岩永晃、森田駿、中林結子、川崎祥平、在津正文. 胃瘻による経腸栄養から食物経口負荷試験を行った医療的ケア児の一例. 第6回日本アレルギー学会九州沖縄支部地方会. 2024.2.17. 福岡
 4. 橋本真央、永瀬浩太郎、大園亜季、西純平、田中佳世、井上卓也. 巨大な血腫形成を伴い多量の出血を認めた血管増生型Spiradenomaの1例. 西日本皮膚科. in press
 5. 永瀬浩太郎. 皮膚科セミナーウム：メルケル細胞癌の診断と治療. 日本皮膚科学会総会雑誌. in press

(学会・研究会発表)

皮膚科

(論文・執筆)

1. 永瀬浩太郎. メルケル細胞癌－治療の現状と未来, 薬物療法を中心に－. 癌と化学療法. 50(4) : 452-455. 2023.4
2. Nakagawa A, Nagase K, Inoue T, Miura Y, Fujisaki A. Upper arm bronchogenic cyst: A rare case presentation. *European Journal of Dermatology*. 33(3) : 321-322. 2023.6
3. Uhara H, Kiyohara Y, Isei T, Nagase K, Kambe A, Sato M, Tanaka Y, Yamazaki N. Safety and effectiveness of avelumab in patients with Merkel cell carcinoma in general clinical practice in Japan: Post-marketing surveillance. *Journal of Dermatology*. Online ahead of print. 2024.3

1. 橋本真央. 巨大な血腫形成を伴ったvascular eccrine spiradenomaの1例. 第34回佐賀県臨床皮膚科医会. 2023.4.8. 佐賀
2. 永瀬浩太郎. 気になるスライド：有名だけど、さほど診ない症例. 第34回佐賀県臨床皮膚科医会. 2023.4.8. 佐賀
3. 永瀬浩太郎. 佐賀県医療センター好生館皮膚科2022年度下半期の診療統計. 日本皮膚科学会第87回佐賀地方会学術集会. 2023.5.21. 佐賀
4. 橋本真央. LIPH遺伝子の変異を認めた常染色体劣性縮毛症/乏毛症の1例. 日本皮膚科学会第87回佐賀地方会学術集会. 2023.5.21. 佐賀
5. 橋本真央. 巨大な血腫形成を伴ったvascular eccrine spiradenomaの1例. 第122回日本皮膚科学会総会. 2023.6.1. 横浜
6. 永瀬浩太郎. メルケル細胞癌診療のこれまでとこれから. 第39回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会. 2023.8.5. 名古屋
7. 永瀬浩太郎. 緩和的放射線療法が有用であった右耳介下部メルケル細胞癌の1例. 第75回日本皮膚科学会西部支部学術大会. 2023.9.17. 宜野湾
8. 永瀬浩太郎. メルケル細胞癌の病因と治療UPDATE. 第87回日本皮膚科学会東京支部学術大会. 2023.11.18. 東京
9. 永瀬浩太郎. アトピー性皮膚炎 増える選択肢とその使い分け. 第36回佐賀県臨床皮膚科医会. 2023.12.9. 佐賀
10. 永瀬浩太郎. 気になるスライド：有名だけどさほど診ないウイルスと関連した疾患. 第36回佐賀県臨床皮膚科医会. 2023.12.9. 佐賀
11. 永瀬浩太郎. Merkel cell carcinoma. 第113回日本病理学会総会. 2024.3.29. 名古屋

泌尿器科

(学会発表)

1. 空閑正樹、三浦章成、佐藤暢晃、柏木英志、諸隈太. 尿管口内にTVM手術メッシュが迷入し

- た一例. 第312回日本泌尿器科学会福岡地方会. 2023.7.22. 福岡
2. 空閑正樹、三浦章成、佐藤暢晃、柏木英志、諸隈太. FH欠損腎細胞癌の2例. 第88回日本泌尿器科学会佐賀地方会. 2023.12.16. 佐賀
 3. 佐藤暢晃、空閑正樹、三浦章成、柏木英志、諸隈太. 石灰化病変を伴った腎盂癌の二例. 第84回佐賀県泌尿器科懇話会. 2024.1.27. 佐賀
 4. 三浦章成、空閑正樹、佐藤暢晃、柏木英志、諸隈太. セフトリアキソンで偽胆石を発症した2例. 第312回日本泌尿器科学会福岡地方会. 2024.2.3. 久留米

産婦人科

(論文 (原著))

1. Misako Hideshima, Mariko Hashiguchi, Atsuko Honda, Yasushi Umezaki, Ryoichi Okuma, Takako Hikari, Aako Fukuda, Kaoru Okugawa, Masatoshi Yokoyama. Are HPV-negative lesions concerned for the introduction of primary HPV testing for cervical cancer screening in Japan?. JOGR. 49(12):2860-2867. 2023
2. 室雅巳、安永牧生、金井督之、八並直子、神下優、北川早織、光貴子、山崎温詞、久本菜美、西村真二. 佐賀県における妊産婦のCOVID-19感染 - 当院の入院症例から8波までを振り返る -. 佐賀産科婦人科学会誌. 35:37-44. 2024

(講演要旨)

1. 光貴子. HPVワクチン積極的勧奨再開を受けて～佐賀県の現状. 佐賀県小児科医報. 49:12-16. 2023

(症例報告)

1. 安永牧生、吉武薫子、八並直子、神下優. 経腔的内視鏡 (vNOTES) が有用であった肝移植後の腹腔内高度癒着症例. 日産婦内視鏡学会誌. 39(2):112-116. 2024
2. 松口一道、山口純子、安永牧生、吉田至幸. 腹腔鏡下腔式子宮全摘術中に偶発的に判明した重複腎盂尿管の1例. 佐賀産科婦人科学会誌. 35:45-48. 2024

(学会発表)

1. 八並直子、神下優、光貴子、安永牧生. CES組織回収コンテナシステムを使用した、腔からの安

- 全な子宮搬出方法. 第18回九州産婦人科内視鏡手術研究会. 2023.4.8. 福岡
2. 神下優、八並直子、安永牧生. Minimally invasive surgeryを目指して～Gel POINT V-pathを使用した腹腔鏡下腔式子宮全摘術の経験とその検討～. 第18回九州産婦人科内視鏡手術研究会. 2023.4.8. 福岡
 3. 山崎温詞、八並直子、久本菜美、光貴子、北川早織、神下優、金井督之、安永牧生、室雅巳. 産褥5日目に発症した脳出血の一例. 第227回佐賀産婦人科学会. 2023.7.2. 佐賀
 4. 八並直子、神下優、山崎温詞、久本菜美、光貴子、北川早織、金井督之、室雅巳、安永牧生. 骨盤臓器脱に対するNative tissue repair (NTR) 手術の治療成績. 第227回佐賀産婦人科学会. 2023.7.2. 佐賀
 5. 神下優、八並直子、安永牧生. 当院産婦人科における抗がん剤治療関連心筋障害へ対する取り組み. 第65回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 2023.7.14-16. 島根
 6. 神下優、光貴子、北川早織、八並直子、金井督之、安永牧生、室雅巳. SDGs!持続可能な産婦人科診療のためにできること. 10thSurgeons Educational Summit. 2023.9.2-3. 札幌
 7. 野口光代、八並直子、内山倫子、横山正俊. COVID19流行下に勤務する看護師に用いた桂枝加竜骨牡蠣湯の3例. 第42回産婦人科漢方研究会学術集会. 2023.9.3. 鹿児島
 8. Yu Kamishita, Makio Yasunaga, Naoko Yatsunami, Yuki Yamauchi, Chiho Kadota, Kaoruko Yoshitake. Evaluation of blood flow with Indocyanine Green (ICG) dye in patients with adnexal torsion. 第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. 2023.9.14-16. 滋賀
 9. 八並直子、神下優、光貴子、吉武薫子、安永牧生. バイセクトとバイクランプを使用した、ダブルバイポーラ法によるTLH. 第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. 2023.9.14-16. 滋賀
 10. 吉武薫子、八並直子、神下優、安永牧生. 異所性妊娠の腹腔鏡手術後に発生した腓骨神経麻痺の1例. 第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. 2023.9.14-16. 滋賀
 11. 神下優. vNOTES導入に関する諸問題. 第46回日本産婦人科手術学会. 2023.9.30-10.1. 東京
 12. 神下優、金井督之、安永牧生. 膀胱癌の子宮頸部転移に対してvNOTESが有用であった1例. 第61回癌治療学会. 2023.10.19-21. 横浜

13. 久本菜美、八並直子、光貴子、神下優、金井督之、安永牧生. 睪腫瘍術後に発症した体重減少性無月経の1例. 第38回日本女性医学学会学術集会. 2023.12.2-3. 徳島
14. 八並直子、光貴子、久本菜美、神下優、金井督之、安永牧生. 当院における子宮体がん患者の糖尿病、高血圧、脂質異常症の現状. 第38回日本女性医学学会学術集会. 2023.12.2-3. 徳島
15. 神下優. 梅毒を疑った2症例. 第38回日本女性医学学会学術集会. 2023.12.2-3. 徳島
16. 光貴子、神下優、八並直子、北川早織、久本菜美、金井督之、室雅巳、安永牧生. 佐賀の産婦人科医師自身の妊娠・出産・育児を取り巻く環境について～アンケート調査の報告. 第228回佐賀産婦学術研修会. 2023.12.9. 佐賀
17. 神下優、久本菜美、北川早織、光貴子、八並直子、金井督之、室雅巳、安永牧生. 当院における良性疾患の子宮摘出の変遷. 第228回佐賀産婦学術研修会. 2023.12.9. 佐賀
18. 野口光代、八並直子、門田千穂、内野美穂. 子宮内膜症治療におけるGnRHアンタゴニストの位置づけ. 第2回佐賀県婦人科疾患Webセミナー. 2023.12.9. オンライン開催
19. 安永牧生. 最先端の産婦人科内視鏡手術. 第17回佐賀ウロギネコロジー研究会. 2024.1.25. 佐賀
20. 八並直子、神下優、光貴子、北川早織、金井督之、久本菜美、山崎温詞、安永牧生. Da Vinci Si から Da Vinci Xi への移行を経験して～子宮摘出術におけるパフォーマンスの変化～. 第16回ロボット外科学会学術集会. 2024.2.10-11. 米子
21. 神下優、八並直子、安永牧生. ロボット支援下手術におけるベアパスル2を用いた創閉鎖. 第16回ロボット外科学会学術集会. 2024.2.10-11. 米子
22. 八並直子、神下優、吉武薫子、久本菜美、金井督之、光貴子、北川早織、安永牧生. 子宮内膜ポリープ切除術に対する手動モルセレーターを導入と初期成績. 第7回日本子宮鏡研究会学術講演会. 2024.2.17-18. 名古屋

眼科

(原著論文)

1. [Tajima A](#), [Sassa Y](#), [Ishio D](#), [Yamashita S](#), [Sadashima E](#), [Arai R](#), [Iwanaga K](#), [Yoshida S](#), [Sonoda KH](#), [Enaida H](#). Clinical features of 26 cases of COVID-19-associated conjunctivitis.

Japanese Journal of Ophthalmology. 68(1):57-63. 2024.1

(論文・総評)

1. [佐々由季生](#). 学術『コロナウイルス結膜炎について』. 佐賀県眼科医会報. 34:23-28. 2023.12

(学会発表)

1. [永浜布美子](#)、[柴宮浩希](#)、[山本聡一郎](#)、[永浜秀規](#)、[江内田寛](#). ワルファリンのPT-INR過延長が原因と考えられる大量の網膜下出血の1例. 第93回九州眼科学会. 2023.5.26. 福岡
2. [山下翔太](#)、[佐々由季生](#)、[永浜布美子](#)、[江内田寛](#). 視野異常を契機に診断に至った侵襲性アスペルギルス症の1例. 第60回六大学合同眼科研究会. 2023.9.16. 福岡

耳鼻いんこう科

(論文・執筆)

1. [嶋崎絵里子](#)、[山内盛泰](#)、[陣野智昭](#)、[倉富勇一郎](#)、[宮崎純二](#). 右非反回下喉頭神経を伴った甲状腺腫瘍の1例. 耳鼻と臨床. 70(2):95-100. 2024.3

(学会発表)

1. [陣野智昭](#)、[宮崎俊一](#)、[宮崎純二](#). 副鼻腔真菌症の術後真菌検査についての検討. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 第125回佐賀県地方部会学術講演会. 2023.12.2. 佐賀

(メディア出演)

1. [宮崎純二](#). かちかちPress「みんなでヘルシーライフ」のコーナー. ～冬の鼻炎①～2024.1.22放送、～冬の鼻炎②～2024.1.29放送. サガテレビ

放射線科

(論文)

1. [西原新也](#)、[森田孝一郎](#)、[彌富瑞貴](#)、[西原雄之介](#)、[安座間真也](#)、[相部仁](#)、[増田正憲](#)、[平井良樹](#). 神経線維腫症1型に合併した膀胱神経線維腫の1例. 臨床放射線. 68(5):505-509. 2023.5

(学会・研究会発表)

1. [宮本佳奈](#)、[森田孝一郎](#)、[安座間真也](#)、[菊野亮栄](#)、[豊田広之](#)、[相部仁](#). 輪状膝の一例. 第739回福岡レントゲンアーベント. 2023.4.21. オンライン開

催

2. 豊田広之、森田孝一郎、安座間真也、菊野亮栄、宮本佳奈、相部仁. 臍solid pseudopapillary neoplasmの一例. 第740回福岡レントゲンアーベント. 2023.5.12. オンライン開催
3. 森田孝一郎、安座間真也、菊野亮栄、豊田広之、宮本佳奈、相部仁. 繰り返す肝性脳症に対して脾腎シャントを塞栓した一例. 第58回福岡IVRカンファレンス. 2023.5.26. オンライン開催
4. 豊田広之、森田孝一郎、安座間真也、菊野亮栄、宮本佳奈、相部仁. 大腿ヘルニアの一例. 第741回福岡レントゲンアーベント. 2023.6.9. オンライン開催
5. 宮本佳奈、安座間真也、豊田広之、菊野亮栄、森田孝一郎、相部仁、牛草敦、川崎裕満、里学. 冠動脈瘤破裂をきたした冠動脈肺動脈瘻の一例. 第197回日本医学放射線学会九州地方会. 2023.6.10. 那覇
6. 宮本佳奈、森田孝一郎、安座間真也、福田真弓、菊野亮栄、豊田広之、相部仁. 慢性腎不全に伴う関節周囲転移性石灰化の一例. 第742回福岡レントゲンアーベント. 2023.7.14. オンライン開催
7. 森田孝一郎、安座間真也、福田真弓、菊野亮栄、豊田広之、宮本佳奈、相部仁. Anchor balloon techniqueが有用であった1例. 第59回福岡IVRカンファレンス. 2023.7.28. オンライン開催
8. 宮本佳奈、森田孝一郎、安座間真也、福田真弓、菊野亮栄、豊田広之、相部仁. 胆石イレウスの一例. 第743回福岡レントゲンアーベント. 2023.9.8. オンライン開催
9. 森田孝一郎、安座間真也、福田真弓、菊野亮栄、豊田広之、宮本佳奈、相部仁. HCC術後に胆道出血を繰り返した1例. 第60回福岡IVRカンファレンス. 2023.9.22. オンライン開催
10. 豊田広之、森田孝一郎、安座間真也、福田真弓、菊野亮栄、宮本佳奈、相部仁. 胆嚢捻転による壊疽性胆嚢炎の一例. 第744回福岡レントゲンアーベント. 2023.10.13. オンライン開催
11. 宮本佳奈、森田孝一郎、安座間真也、福田真弓、菊野亮栄、豊田広之、相部仁. ランゲルハンス細胞組織球症の一例. 第745回福岡レントゲンアーベント. 2023.11.10. オンライン開催
12. 森田孝一郎、安座間真也、福田真弓、菊野亮栄、豊田広之、宮本佳奈、相部仁. 総肝動脈瘤に対して塞栓術を施行した1例. 第61回福岡IVRカンファレンス. 2023.11.24. オンライン開催
13. 鳥羽隆史、宮本佳奈、豊田広之、菊野亮

- 栄、森田孝一郎、安座間真也、相部仁、池田貯. Involved Fieldで化学放射線療法を行った局所進行胸部食道癌の治療成績・再発形式 (ポスター発表). 日本放射線腫瘍学会第36回学術大会 (JASTRO 2023). 2023.11.30-12.2. 横浜
14. 宮本佳奈、森田孝一郎、安座間真也、福田真弓、菊野亮栄、豊田広之、相部仁. 異所性臍の一例. 第746回福岡レントゲンアーベント. 2023.12.8. オンライン開催
15. 豊田広之、安座間真也、宮本佳奈、菊野亮栄、森田孝一郎、相部仁、神下耕平、中島史暁、吉田敬規、挽地裕. 気管支動脈冠動脈起始症の一例. 第45回九州 IVR 研究会. 2023.12.16. 福岡
16. 宮本佳奈、森田孝一郎、安座間真也、福田真弓、菊野亮栄、豊田広之、相部仁. 単頸双角子宮の一例. 第747回福岡レントゲンアーベント. 2024.1.12. オンライン開催
17. 森田孝一郎、安座間真也、菊野亮栄、福田真弓、豊田広之、宮本佳奈、相部仁. Caval shuntを介してB-RTOを施行した1例. 第62回福岡IVRカンファレンス. 2024.1.26. オンライン開催
18. 豊田広之、安座間真也、宮本佳奈、菊野亮栄、福田真弓、森田孝一郎、相部仁、吉本五一、神下優. アンドロゲン不応症の一例. 第198回日本医学放射線学会九州地方会. 2024.2.16-17. 熊本
19. 宮本佳奈、森田孝一郎、豊田広之、菊野亮栄、福田真弓、安座間真也、相部仁、佐藤暢晃、諸隈太、柏田知美. 左腎盂に発生した骨肉腫成分を含む肉腫様型尿路上皮癌の一例. 第198回日本医学放射線学会九州地方会. 2024.2.16-17. 熊本
20. 宮本佳奈、森田孝一郎、安座間真也、福田真弓、菊野亮栄、豊田広之、相部仁. 卵巣漿液性嚢胞腺線維腫の一例. 第749回福岡レントゲンアーベント. 2024.3.8. オンライン開催
21. 豊田広之、安座間真也、宮本佳奈、菊野亮栄、福田真弓、森田孝一郎、相部仁. マイクロバルーンカテーテルを2本使用してTACEを施行した1例. 第63回福岡IVRカンファレンス. 2024.3.22. オンライン開催

麻酔科

(著書)

1. 三浦大介. 植込み手技 B. 麻酔の工夫. S-ICDのすべて. 85-93. 2023

(論文)

1. 三浦大介. 2023のシェヘラザードたち エコーを

使ったからといって安全ではない!。LiSA別冊。春号 30:35-39。2023

(学会発表)

1. 野口洋、三浦大介、坂口嘉郎。鎖骨上神経ブロック・前胸壁ブロックを併用し術中鎮痛が得られた両心室ペースメーカー移植術の2例。日本区域麻酔学会 第10回学術集会。2023.4.15。大阪
 2. 三浦大介。超音波ガイド下末梢神経ブロックー初学者の心得ー。第14回福岡大学区域麻酔セミナー。2023.5.13。福岡
 3. 草場真一郎、三浦大介、貞嶋栄司、馬場麻理子、諸隈明子、森永智子。超音波装置での輪状軟骨径測定に基づいた日本人女性における適切なダブルルーメンチューブ径の選択方法の検討。日本麻酔科学会 第70回学術集会。2023.6.2。神戸（オンライン開催）
 4. 天本啓介、森永智子、松林佑亮、三浦大介。小児の足部外傷手術の術後鎮痛に持続坐骨神経ブロックを併用し管理を行なった1症例。第77回福岡小児麻酔カンファレンス。2023.7.8。福岡
 5. 中村啓太、松林佑亮、草場真一郎、三浦大介。経口内視鏡的筋層切開術中に高度気腹を合併した1症例。九州麻酔科学会 第61回大会。2023.9.9。福岡
 6. 三浦大介。腹部体幹の神経ブロック（TAP, RSB）。第1回北九州筑豊区域麻酔セミナー。2023.11.18。福岡
- マネジメントセミナーin saga。2023.9.2。佐賀
2. 田中香須子。薬剤顎骨壊死患者の自宅退院支援として歯科衛生士が行った洗浄指導の1例。日本がん口腔支持療法学会第9回学術大会。2023.11.18。京都
 3. 野口信宏。佐賀県医療センター好生館における薬剤関連顎骨壊死症例。第71回佐賀インプラント研究会。2023.12.16。佐賀

歯科口腔外科

(論文)

1. 松尾悠未、田中香須子、野口信宏。佐賀県医療センター好生館における薬剤関連顎骨壊死症例の臨床的検討。医学雑誌「好生」。57:15-20。2023.6
2. 野口信宏、松尾悠未、田中香須子。好生館歯科口腔外科診療における新型コロナウイルス感染への経験と対応。医学雑誌「好生」。57:34-36。2023.6
3. 野口信宏、松尾悠未。Ⅱ級顎間ワイヤー牽引と前歯部顎間ゴム牽引の併用が有用であった両側下顎頸部骨折治療の1例。医学雑誌「好生」。57:49-51。2023.6

(学会発表)

1. 尾形早紀。薬剤顎骨壊死等の患者や介護者に対して歯科衛生士が行う洗浄指導。第1回オーラル

看護部門

(論文・執筆)

1. 池田恵子. 医師から看護師に埋め込み型CVポート穿刺のタスク・シフト副看護師長はスタッフの不安の聞き役として、実践者としての活躍！. 日総研. Web教材. 2023.9.30
2. 宮地由美子. 看護師の特定行為研修の推進について. 医界佐賀. 特集記事. 2023.1

(学会発表)

1. 藤原友紀. バイタルサイン測定値入力の特長時間短縮にむけた取り組み. 第25回日本医療マネジメント学会学術総会. 2023.6.23-24. 横浜
2. 古川佳子. 指導する側・受ける側となつて行うOJTの効果. 第25回日本医療マネジメント学会学術総会. 2023.6.23-24. 横浜
3. 梶原早苗. 医療安全管理部へのRRT専任看護師の配置 - 活動の強化と質向上. 第25回日本医療マネジメント学会学術総会. 2023.6.23-24. 横浜
4. 宮地由美子. A病院の特定行為研修修了者の活動支援の3年間の取り組み. 第25回日本医療マネジメント学会学術総会. 2023.6.23-24. 横浜
5. 有馬浩史. 当院ICUにおけるラダーに基づく学習支援の取り組み. 第24回日本医療情報学会看護学術集会. 2023.7.22-23. 神戸
6. 高塚千紘. 退院に向けた空腸瘻チューブ挿入患児の腸瘻ケアへの取り組み. 第48回日本大腸肛門病学会九州地方会、第39回九州ストーマリハビリテーション研究会. 2023.7.29. 鹿児島
7. 大坪千夏. 血液透析患者に共同意思決定を実践し腹膜透析へ移行した一例. 第38回九州CAPD検討会. 2023.8.26. 福岡
8. 池田恵子. 退院支援ナースとMSWが協働した退院支援体制の構築. 第61回全国自治体病院学会. 2023.8.31-9.1. 札幌
9. 野中貴子. 認定看護師とマンツーマンで行う口腔ケアアドバンス研修の効果. 第61回全国自治体病院学会. 2023.8.31-9.1. 札幌
10. 金原直美. 血糖インスリン管理システムの適切な活用を目指したICT利活用推進. 第61回全国自治体病院学会. 2023.8.31-9.1. 札幌
11. 有馬浩史. 当院の看護業務量調査結果を用いたキャリアラダーレベルと看護記録時間の評価. 第61回全国自治体病院学会. 2023.8.31-9.1. 札幌
12. 内川千賀. 腹腔鏡下手術患者の持続可能的な療

- 養に向けた退院支援～SSI減少に向けた退院指導パンフレットの活用～. 第61回全国自治体病院学会. 2023.8.31-9.1. 札幌
13. 野田猶子. 看護師からのRRT要請にむけた取り組み. 第61回全国自治体病院学会. 2023.8.31-9.1. 札幌
14. 宮本裕太. 腹臥位療法の有害事象予防に対するICU看護師への支援. 第61回全国自治体病院学会. 2023.8.31-9.1. 札幌
15. 小野原由香. 自施設職員における新型コロナウイルス感染症の現状(続報). 第61回全国自治体病院学会. 2023.8.31-9.1. 札幌
16. 俵麻美. A病院のコロナ専用病棟における持ち込み褥瘡の実態と今後の課題. 第25回日本褥瘡学会学術集会. 2023.9.1-2. 神戸
17. 内田陽一郎. 救急外来での迅速な対応にむけたタスクシフト～特定行為研修修了者が行う検査の実施. 第45回佐賀救急医学会. 2023.9.9. 佐賀
18. 宮地由美子. A病院看護職の能力開発～暫定レベルの自己評価の分析結果から見えた学習支援～. 第73回日本病院学会. 2023.9.21-22. 宮城
19. 野中貴子. Eilers口腔アセスメントガイド(OAG)の活用件数からみえた院内研修の効果. 第73回日本病院学会. 2023.9.21-22. 宮城
20. 荒木将晴. 集中治療部における患者の意志尊重へのアプローチの一例. 第9回日本NP学会学術集会. 2023.10.20-22. 北海道
21. 小川哲史、満岡大貴. 特定行為研修後の手術期看護～看護実践と周術期における看護の視点. 第24回手術看護学会 佐賀分会研修会. 2023.11.19. 佐賀
22. 有馬浩史. 看護業務量調査における業務区分別の比較. 第24回医療情報学会学術集会、第43回医療情報学連合大会. 2023.11.23. 神戸
23. 諸隈正子. 喪失体験を抱く患者の全人的ケア. 第49回支部研修会. 2024.1.20. 佐賀
24. 宮本裕太. 特定行為実践と「+α」. 九州・沖縄地区クリティカルケア看護研究会 特定行為意見交換会. 2024.1.27. 福岡
25. 片山理沙子. 術後疼痛緩和におけるPCEA活用状況の評価. 2023年(第42回)佐賀県看護研究学会. 2024.3.9. 佐賀
26. 栗田詩織. 防護具装着中ユマニチュードを活用した関り. 2023年(第42回)佐賀県看護研究学会. 2024.3.9. 佐賀

診療支援部門

薬剤部

(論文)

1. 田中康弘. 「あこがれるだけなのはやめましょう」
専門・認定薬剤師インタビュー 日本化学療法
学会 抗菌化学療法認定薬剤師. 佐賀県病院薬剤
師会誌. 51(2):9-11. 2023.12
2. 竹内恵. 満足度分析を用いた入退院支援センター
における薬剤師業務の評価. 日本病院薬剤師会雑
誌. 60(2):151-157. 2024.2

(学会発表)

1. 黒部健太郎. がん性疼痛患者へのジクロフェナ
ク貼付剤が腎機能に与える影響. 第16回日本緩和
医療薬学会年会. 2023.5.27. 神戸
2. 徳永晃. 「ソトラシブ錠無償提供プログラム」に
おける【薬のしおり】による情報提供. 第25回日本
医薬品情報学会. 2023.6.10. 京都
3. 徳永晃. より良い薬剤管理指導、病棟薬剤業務
をめざした薬剤師の「病棟連絡会」について. 第61
回全国自治体病院学会. 2023.8.31. 札幌
4. 武富光希. マグネシウム製剤内服で生じた高マ
グネシウム血症に非閉塞性腸管虚血を合併した一
例. 第82回九州山口薬学大会. 2023.9.23. 長崎
5. 宮原強. がん疼痛・在宅移行への病院薬剤
師としての関わり. 第82回九州山口薬学大会.
2023.9.23-24. 長崎
6. 岩本夢実. 薬剤師による院内処方薬の一包化指
示支援プロトコルの評価. 第33回日本医療薬学会
年会. 2023.11.3. 仙台
7. 黒部健太郎. 乳癌患者に対するトラスツマブ
によるInfusion reaction発現に関与する因子の検
討. 第33回日本医療薬学会年会. 2023.11.3. 仙台
8. 真島美佳. 周術期クリニカルパスへの定時術後
鎮痛薬の追加による効果. 第33回日本医療薬学会
年会. 2023.11.3. 仙台
9. 水田秀貴. アムルピシンによる発熱性好中球減
少症の発現と一次予防の有効性の探索的研究. 第
33回日本医療薬学会年会. 2023.11.3. 仙台
10. 佐野雅彦. PTCY-Haplo移植後の肝中心静脈閉
塞症/類洞閉塞症候群に対してディフィブロチド
ナトリウムを投与した一例. 第33回日本医療薬学
会年会. 2023.11.4. 仙台
11. 田中康弘. 当館における静注および経口抗菌
薬適正使用に向けた取り組みと新旧AMR対策

アクションプラン成果指標の達成状況～第4報
～. 第71回日本化学療法学会 西日本支部総会.
2023.11.7. 富山

12. 草葉一友. CITAを用いた休薬管理中患者リス
トの運用について. 第18回医療の質・安全学会学
術集会. 2023.11.25. 神戸

(講演)

1. 水田秀貴. 当院でのトレーシングレポート
の活用法などについて. 佐賀県薬剤師会館.
2024.1.13. 佐賀
2. 黒部健太郎. がん化学療法に携わる薬剤師につ
いて. 佐賀県病院薬剤師会 令和5年度新採用薬
剤師および卒後教育研修会. 2024.1.20. 佐賀
3. 仲真美恵. 栄養管理の基本. 佐賀県病院薬剤師
会 令和5年度新採用薬剤師および卒後教育研修
会. 2024.1.20. 佐賀
4. 黒部健太郎. 当院でのホスネツピタントの導入
と使用状況. 佐賀県病院薬剤師会 第14回オンコ
ロジー研修会. 2024.2.3. 佐賀
5. 岩本夢実. プロトコルに基づく薬物治療管理
「PBPM」の取り組み. 第32回好生館医学会総会.
2024.3.16. 佐賀

医療安全管理部

(論文)

1. 梶原早苗. 医療安全管理部へのRRT看護師の
配置による活動強化と質向上. 病院安全教育 4・
5月号. 日総研. 2023

(学会発表)

1. 梶原早苗, 内藤光三, 山口雅子, 倉谷実希, 武
田雄二, 徳島香奈. 医療安全管理部へのRRT専
任看護師の配置－活動の強化と質向上について
－. 第25回日本医療マネジメント学会学術総会.
2023.6.23. 横浜
2. 内藤光三, 武田雄二, 山口雅子, 梶原早苗, 徳
島香奈, 中川香澄, 草葉一友. 医師からのインシ
デント・アクシデント報告が組織の医療安全活動
を活性化するかを検証. 第18回 医療の質・安全
学会学術集会. 2023.11.25. 神戸
3. 草葉一友, 内藤光三, 山口雅子, 徳島香奈.
CITAを用いた休薬管理中患者リストの運用に
ついて. 第18回 医療の質・安全学会学術集会.
2023.11.25. 神戸
4. 徳島香奈, 中川香澄, 梶原早苗, 山口雅子, 内

藤光三、佐藤清治. 多職種間のコミュニケーション活性化を目的とした“サンクスカード”の運用について. 第18回 医療の質・安全学会学術集会. 2023.11.25. 神戸

(講演)

1. 内藤光三. 患者安全はすべてに優先する～好生館の医療安全と質改善活動～. 医療法人 静便堂 白石共立病院 第15回静便堂医学会. 2023.7.2. 佐賀
2. 武田雄二. 質改善活動～経鼻胃管自己抜去を減らす～. 医療クオリティマネージャーフォローアップセミナー. 2023.7.13. オンライン開催

感染制御部

(論文)

1. 福岡麻美. 特集 プライマリケア医に必要な情報をまるっと整理 くすりの使い便利帳セフェム系薬. 臨床雑誌内科. 131(4):526-530. 2023.4
2. Megumi Hara, Takeki Furune, Mami Fukuoka, et al. Comparison of self-reported symptoms in COVID-19 patients who had or had not previously received COVID-19 mRNA vaccine. . Human Vaccines & Immunotherapeutics. 19(2):2226575. 2023.6
3. 田口舜、山口健太、泉朱里、矢野智彦、香月万葉、佐野由佳理、平野敬之、安波道郎、福岡麻美. *Rothia dentocariosa*による人工弁感染性心内膜炎・多発性脳膿瘍の一症例. 日本臨床微生物学会雑誌. 34(1):42-48. 2024.1
4. 田口舜、山口健太、矢野智彦、香月万葉、佐野由佳理、平野敬之、安波道郎、福岡麻美. *Vibrio mimicus* 菌血症の一症例. 医学検査. 73(1):68-173. 2024.1

(学会・研究会発表)

1. 小野原由香、三好恵美子、山口文美、菱岡純子、永石浩子、福岡麻美、宮地由美子、佐藤清治. 当館職員における新型コロナウイルス感染症の現状 続報. 第61回全国自治体病院学会. 2023.9.1. 北海道
2. 田中康弘、武富光希、佐野雅彦、小塩和人、八頭司正稔、福岡麻美. 当館における静注および経口抗菌薬適正使用に向けた取り組みと新旧AMR対策アクションプラン成果指標の達成状況～第4報～. 第71回日本化学療法学会 西日本支部総会.

2023.11.7. 富山

3. 矢野智彦、泉朱里、田口舜、香月万葉、佐野由佳理、平野敬之. 当館における新型コロナウイルススクリーニング検査の遍歴とその解析. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会 (第57回). 2024.10.21. 佐賀
4. 泉朱里、佐野由佳理、矢野智彦、田口舜、香月万葉、平野敬之. 臨床医とのコミュニケーションが菌の検出に繋がった破傷風の1症例. 2023年度日臨技九州支部医学検査学会 (第57回). 2024.10.21. 佐賀
5. 田口舜、佐野由佳理、平野敬之、安波道郎、福岡麻美. 血液培養よりShigella spp. 様の性状を呈したCitrobacter freundii株の全ゲノム解析. 第18回九州遺伝子診断研究会. 2024.11.11. 佐賀
6. 佐野由佳理、泉朱里、矢野智彦、田口舜、香月万葉、山口健太、平野敬之、安波道郎、福岡麻美. 全自動血液培養装置Bact/ALERT VIRTUOの陰性判定ボトルに対する陰性確認の検討. 第35回日本臨床微生物学会総会・学術集会. 2024.2.10. 横浜
7. 田口舜、山口健太、泉朱里、矢野智彦、香月万葉、佐野由佳理、平野敬之、安波道郎、福岡麻美. 髄液からの16S rRNA遺伝子解析が有用であった *Sphingomonas echinoides* 髄膜炎の1症例. 第35回日本臨床微生物学会総会・学術集会. 2024.2.10. 横浜

医療情報部

(学会発表)

1. 原田智可. Pythonを用いた院内がん登録データ分析の自動化による業務改善. 第61回全国自治体病院学会in北海道. 2023.8.31. 札幌
2. 田中聡也. 安全管理のスタートは説明内容の記録からー記録を徹底するためのテンプレート作成とフィードバックのためのRPAを用いた監査システムの構築ー. 第85回日本臨床外科学会総会. 2023.11.16. 岡山
3. 林田潔. ピカピカリンクのこれまでの歩み、これからの課題. 第11回全国ID-Link研究会in佐賀. 2023.11.25. 佐賀

Medical Link Office

(学会発表)

1. 松石英城、甘利香織、大野每子. 佐賀県にお

ける地域医療支援のための取り組みの事例－
「身近な医療提供支援事業」. 日本プライマリ・
ケア連合学会第18回九州支部総会・学術大会.
2024.1.21. 宮崎

総合教育研修センター

(1) 総合教育研修センター医師部門：学会発表・医療従事者研修会等

A.〔口演～ポスター発表・座長〕

1. 藤田尚宏、甘利香織、松本康、小山敬、岩村高志. 働き方改革を見据えた研修医教育ならびに時間外勤務の現状と課題. 第27回 日本救急医学会九州地方会. 2023.5.13. 福岡市
2. 藤田尚宏. 脳神経内科の脳梗塞診療(座長)(演者:佐賀大学医学部脳神経内科 助教 鈴山耕平 先生). 第2回 Resident Web Seminar in SAGA. 2023.9.27. 佐賀市(オンライン開催)
3. 藤田尚宏、伊東正広、小山敬、甘利香織. フィードバック機能付きシミュレータを用いた蘇生スキルの再検討～職種別スキル習得の特徴について～. 日本蘇生学会第42回大会. 2023.11.17. 川越市
4. 藤田尚宏、甘利香織、龍知歩、朝日美穂、吉富有哉、松本康、小山敬、岩村高志. 働き方改革に対応した研修医の時間外勤務内わけと自己研鑽型勉強会. 第51回日本救急医学会総会・学術集会. 2023.11.28. 東京都
5. 甘利香織、藤田尚宏、岩村高志. 児童相談所への通告後の先にあるもの～司法刑事対応に備える～. 第51回日本救急医学会総会・学術集会. 2023.11.29. 東京都
6. 藤田尚宏、甘利香織. シンポジウム「40年の地域医療を次の10年につなぐ」佐賀県の自治医科大学卒業医師の現状と今後の展望. 第40回九州地域医療研究会. 2024.2.17. 熊本市
7. 藤田尚宏、甘利香織、古賀美佳、三溝慎次. 臨床研修医の時間外活動内容評価と自己研鑽型勉強会～働き方改革に対応しつつ研修の質を担保するために～. 第51回 日本集中治療医学会総会・学術集会. 2024.3.14. 札幌市

B.〔講義・講演会・Webinar・医療従事者研修会等〕

1. 臨床研修医、藤田尚宏、甘利香織、内藤光三.「佐賀県からのメッセージ～医師のキャリアを考える～」 「佐賀県で臨床研修を行った先輩医師からのメッセージ」 「特別講演 青木 洋介：医師の振る舞いと自己研鑽」. 第14回佐賀県研修医合同オリエンテーション&臨床研修医ウェルカム交流会. 2023.4.3. 佐賀市
2. 藤田尚宏、伊東正広、甘利香織. Guidelines 2020に基づいた院内急変対応. 令和5年度新採用

- 職員向けオリエンテーション. 2023.4.4. 佐賀市
3. 藤田尚宏、甘利香織. 好生館での臨床研修の要点と研修医ノート解説～働き方改革も含めて～. 令和5年度新採用職員向けオリエンテーション. 2023.4.7. 佐賀市
4. 藤田尚宏. 「ポストコロナ時代における臨床研修のニューノーマル」「待ったなし！医師の働き方改革への対応」. 第39回 臨床研修研究会. 2023.4.8. 東京都(オンライン開催)
5. 臨床研修医、藤田尚宏. リウマチ診療に潜む家族性地中海熱の実際～その実態と鑑別のポイント～. 日経メディカル主催 研修医のためのWEBセミナー. 2023.5.8. 東京都(オンライン開催)
6. 鍋島沙織、池田奈瑚、山崎成茂、菊池智美、甘利香織、藤田尚宏. 現役の臨床研修医が答えます～好生館を臨床研修病院に選んでよかったこと～. 民間医局主催 レビナビフェア2023 in 福岡～臨床研修プログラム合同説明会～. 2023.5.14. 福岡市
7. 藤田尚宏、甘利香織、内藤光三、佐藤清治. 令和5年度佐賀県臨床研修合同説明会報告、研修病院別臨床研修医の採用状況および令和5年度指導医養成ワークショップ開催について. 令和5年度第1回佐賀県臨床研修運営協議会. 2023.5.15. 佐賀市
8. 星野澁大、池田奈瑚、中尾睦、菊池智美、甘利香織、藤田尚宏. 入職してみて感じる自分たちの病院のアピールポイント！. マイナビRESIDENT 臨床研修プログラム説明会. 2023.5.17. 佐賀市(オンライン開催)
9. 臨床研修医、藤田尚宏. 教育講演 渡瀬 剛人：CPA診療の松竹梅～TIPS・最新知見と共に～. EMA主催 第1回 Fujita Generalist Festival. 2023.5.18. 名古屋市(オンライン開催)
10. 臨床研修医、藤田尚宏. 特別講演 福田 誠：慢性腎臓疾患の診断と治療について. 第一三共主催 第49回佐賀総合診療ケースカンファレンス. 2023.5.24. 佐賀市(オンライン開催)
11. 藤田尚宏. 小児救急疾患への対応～未熟児から特殊な神経疾患まで～. 成育医療研究センター主催 成育ER Webinar 2023. 2023.6.4. 東京都(オンライン開催)
12. 藤田尚宏、甘利香織、菊池智美. 好生館⇄九州大学医学部附属病院 たすきかけ研修プログラムの特徴について. 九州大学医学部関連病院群 初期・後期研修に関する合同説明会. 2023.6.11. 福岡市

13. 藤田尚宏、甘利香織. 令和6年度向け 好生館 ⇨佐賀大学病院 たすきがけ研修プログラムの特徴について. 佐賀大学医学部関連病院たすきがけ研修プログラム説明会. 2023.6.14. 佐賀市
14. 臨床研修医、藤田尚宏. ERを制するものは初期研修を制する～ERから学ぶ研修医スキル～. Emergency and Critical care Academy in Niigata. 2023.6.18. 新潟市(オンライン開催)
15. 藤田尚宏. アナフィラキシーショックに対するエピペンの正しい使用法. VIATRIS主催 エピペンサイト・オンライン講習会. 2023.6.19. 東京都(オンライン開催)
16. 甘利香織、藤田尚宏. 今この時代だからこそ地域医療と公衆衛生. 地域医療振興協会主催 第16回へき地・地域医療学会. 2023.6.24. 東京都(オンライン開催)
17. 藤田尚宏、甘利香織. 佐賀県医療センター好生館の最新の臨床研修病院情報について. 佐賀県医師・医学生キャリア支援サイト主催 臨床研修 Webinar. 2023.6.28. 佐賀市(オンライン開催)
18. 臨床研修医、甘利香織、藤田尚宏. 矢島つかさ(名古屋市立大学病院 救急科・救命救急センター): ERでの輸液療法 ～来る熱中症seasonに備えて～. 大塚製薬主催 Otsuka 研修医 Webinar. 2023.7.4. 名古屋市(オンライン開催)
19. 藤田尚宏. 小尾口 邦彦(京都府立医科大学附属病院 集中治療部): 集中治療における血液浄化の仕組み～ベーシック編～. NIPRO主催 血液浄化iMEPセミナー. 2023.7.9. 京都市(オンライン開催)
20. 臨床研修医、甘利香織、藤田尚宏. 西崎 隆(松山赤十字病院 院長): 当院のDPCへの取り組み. 理事長特別企画セミナー. 2023.7.12. 佐賀市
21. 藤田尚宏. 森山 和広(藤田医科大学医学部 臨床免疫制御医学): エンドトキシンの病態と治療～過去・現在・未来～. 東レメディカル主催 明日の医療を考えるWEBセミナー. 2023.7.25. 名古屋市(オンライン開催)
22. 藤田尚宏、甘利香織. フィードバック機能付き心肺蘇生シミュレータを活用して自分のCPRスキルに自信を持とう! -心臓振盪および学校での外傷～窒息への対処法も含めて-. 佐賀県教育センター主催 令和5年度新規採用養護教諭・養護教諭 専門研修I講座. 2023.7.26. 佐賀市
23. 藤田尚宏、菊池智美、甘利香織、内藤光三. 佐賀県医療センター好生館の研修理念および研修プログラムの特徴について. 佐賀県庁医務課主催・リンクスタッフ共催 令和5年度佐賀県臨床研修病院バスツアー. 2023.8.8. 佐賀市
24. 藤田尚宏、甘利香織、内藤光三. 令和5年度地域医療対策協議会への中長期的提言～臨床研修医を指導する医師の養成の必要性ならびに佐賀県での臨床研修の魅力化について～. 令和5年度第1回佐賀県臨床研修ワーキンググループ会議. 2023.8.30. 佐賀市
25. 藤田尚宏、菊池智美、甘利香織、内藤光三、主要部門関係者. 好生館の歴史と概要、病院前救護の実態、好生館の研修プログラムの特徴について. 佐賀大学医学部地域枠入学生1年次特別プログラム 佐賀県内基幹病院・中核病院実習に対するオリエンテーション. 2023.9.5-7. 佐賀市
26. 藤田尚宏. 森山 和広(藤田医科大学医学部 臨床免疫制御医学): エンドトキシンの最新病態とエンドトキシン吸着療法の意義. 東レメディカル主催 明日の医療を考えるWEBセミナー. 2023.9.8. 名古屋市(オンライン開催)
27. 藤田尚宏. 医師の働き方改革と地域医療提供体制の両立に向けて. 日本救急医学会主催 医師偏在対策特別委員会 緊急WEBシンポジウム. 2023.9.12. 東京都(オンライン開催)
28. 藤田尚宏、甘利香織. 好生館における関連教育病院実習の特徴とその留意点について. 佐賀大学医学部医学科5～6年次後期臨床実習オリエンテーション説明会. 2023.9.13. 佐賀市
29. 臨床研修医、甘利香織、藤田尚宏. 八木 実: 栄養管理と漢方. 好生館栄養サポートチーム研修会. 2023.9.15. 佐賀市
30. 臨床研修医、甘利香織、藤田尚宏. 第6回 動きながら考える! 内科救急診療セミナー. 飯塚病院 救急科・総合診療科主催 研修医 Webinar. 2023.9.18. 飯塚市(オンライン開催)
31. 藤田尚宏、甘利香織、菊池智美、各科診療部長、各部門長、内藤光三副館長、前隆男副館長、佐藤清治館長、樗木等理事長. 第20期以降の臨床研修医(基幹型)の救急科分割研修(1年次8週、2年次4週)ならびに臨床研修医の働き方改革への対応について. 令和5年度 第1回好生館レジデント委員会. 2023.9.26. 佐賀市(紙面会議)
32. 臨床研修医、甘利香織、藤田尚宏. 鈴山 耕平: 脳神経内科の脳梗塞診療. 第2回 Resident Web Seminar in SAGA. 2023.9.27. 佐賀市
33. 藤田尚宏、菊池智美、高島洋部長、田中聡也部長、西村真二部長、三浦大介部長、岩村高志部長、石井博修部長、甘利香織副センター長、草葉一友

- 薬剤部長、宮地由美子看護部長、内藤光三副館長、佐藤清治館長、樗木等理事長、研修協力病院責任者(副院長・院長等)。第20期以降の臨床研修医(基幹型)の救急科分割研修(1年次8週、2年次4週)ならびに臨床研修医の働き方改革への対応について。令和5年度第1回好生館臨床研修管理委員会。2023.10.10。佐賀市(紙面会議)
34. 藤田尚宏。蘇生後集中治療:PCAC(Post Cardiac Arrest Care)の病態とTTM(目標体温管理)の変遷。佐賀大学医学部医学科4年生向け臨床講義。2023.10.12。佐賀市
35. 臨床研修医、甘利香織、藤田尚宏。岡田 倫明:3年目からの外来/当直で使える7症候・漢方22選。ツムラ主催 漢方臨床医による研修医漢方勉強会。2023.10.18。佐賀市(オンライン開催)
36. 臨床研修医、甘利香織、藤田尚宏。「総合診療部で経験した整形外科領域の3症例」「平田 寛人:内科医のための骨粗鬆症診療と疼痛管理」。佐賀県総合診療研究会主催 第50回佐賀総合診療ケースカンファレンス。2023.11.8。佐賀市
37. 藤田尚宏、甘利香織、内藤光三、佐藤清治。令和6年度採用予定臨床研修医のマッチング結果好生館からの報告。令和5年度第2回佐賀県臨床研修運営協議会。2023.11.17。佐賀市
38. 藤田尚宏、甘利香織、内藤光三、佐藤清治。医療DXの全国医療情報プラットフォームと地域医療連携ネットワーク。第11回全国ID-Link研究会。2023.11.25。佐賀市
39. 藤田尚宏。小尾口 邦彦(京都府立医科大学附属病院 集中治療部):集中治療における血液浄化の仕組み~アドバンス編~。NIPRO主催 血液浄化iMEPセミナー。2023.12.2。京都市(オンライン開催)
40. 藤田尚宏。小児救急診療~虫垂炎・心臓救急・頭部外傷・薬物中毒・子ども虐待対応・小児領域のエコー・小児の英語論文~。第14回日本小児救急医学会主催 教育WEBセミナー。2023.12.2-3。東京都(オンライン開催)
41. 臨床研修医、甘利香織、藤田尚宏。大坪豊和:日常の心房細動診療で役立つ心電図の読み方。第3回 Resident Web Seminar in SAGA。2023.12.4。佐賀市(オンライン開催)
42. 藤田尚宏、甘利香織。救急現場対応と接遇に関する内科系シミュレーション。佐賀県消防学校向けレクチャー&演習。2023.12.4。佐賀市
43. 藤田尚宏、甘利香織。救急現場対応と接遇に関する外科系シミュレーション。佐賀県消防学校向けレクチャー&演習。2023.12.5。佐賀市
44. 藤田尚宏、甘利香織、内藤光三、佐藤清治。「佐賀大学医学部の理念、使命に関するアンケート調査:好生館からの回答報告」「佐賀大学医学部および佐賀大学医学部臨床医学教育実習協力病院における働き方改革への対応状況について」。令和5年度佐賀大学医学部臨床医学教育実習協力病院等運営協議会。2023.12.7。佐賀市
45. 藤田尚宏、甘利香織。救急現場対応と接遇に関するシミュレーション(卒業実技試験)。佐賀県消防学校向けレクチャー&演習。2023.12.13。佐賀市
46. 藤田尚宏、甘利香織、内藤光三、佐藤清治。佐賀大学医学部学生教育実習の現況と佐賀大学医学部卒業生の評価。令和5年度佐賀大学医学部臨床医学教育実習協力等運営協議会。2023.12.7。佐賀市
47. 藤田尚宏、菊池智美、各科診療部長、各部門長、草葉一友薬剤部長、宮地由美子看護部長、内藤光三副館長、前隆男副館長、佐藤清治館長、樗木等理事長。令和5年度臨床研修マッチング結果報告ならびに令和6年度以降の地域医療研修評価票の変更および一般外来研修日を増やす方策について。令和5年度第2回好生館レジデント委員会。2023.12.8。佐賀市(紙面会議)
48. 藤田尚宏。「寺坂 勇亮(京都桂病院 救急科):外傷患者の凝固障害における治療戦略~Hemostatic resuscitationとその周辺~」「江木盛時(京都大学医学部附属病院 麻酔科):集中治療における維持輸液 ~皆さん何を使っていますか?~」。京滋クリティカルケア・ヤングアカデミー 2023セミナー。2023.12.9。京都市(オンライン開催)
49. 臨床研修医、甘利香織、藤田尚宏。十時 崇彰:血管内皮を制するものは急性期を制す。旭化成ファーマ主催 第4回Kyushu Emergency Young under 15。2023.12.13。佐賀市
50. 藤田尚宏、菊池智美、高島洋部長、田中聡也部長、西村真二部長、三浦大介部長、岩村高志部長、石井博修部長、甘利香織副センター長、草葉一友薬剤部長、宮地由美子看護部長、内藤光三副館長、佐藤清治館長、樗木等理事長、研修協力病院責任者(副院長・院長等)。令和6年度以降の地域医療研修評価票の変更および一般外来研修日を増やす方策について。令和5年度第2回好生館臨床研修管理委員会。2023.12.15。佐賀市(紙面会議)
51. 藤田尚宏、甘利香織、内藤光三。令和7年度臨

- 床研修医の募集定員調整、佐賀県の臨床研修医確保の取り組み、および臨床研修医の研修満足度調査について。令和5年度第2回佐賀県臨床研修ワーキンググループ会議。2024.1.17。佐賀市
52. 藤田尚宏、臨床研修医全員38名。2023年度全国統一CBT受験～研修医の基本的臨床能力評価試験～。令和5年度 JAMEP（日本医療教育プログラム推進機構）主催CBT。2024.1.16。佐賀市
53. 藤田尚宏、甘利香織、弘本 光幸：Heart Code ACLSコースの指導上の要点について。日本ACLS協会主催 AHAインストラクター向けG2020対応ACLS 伝達講習会。2024.1.27。佐賀市（オンライン開催）
54. 星野滉大、小出紘也、菊池智美、甘利香織、藤田尚宏。好生館の臨床研修プログラムの特徴について。レジナビフェア オンライン合同説明会。2024.2.18。佐賀市（オンライン開催）
55. 藤田尚宏。基幹型、協力型1～2年次臨床研修医の研修修了認定と進路について。唐津赤十字病院臨床研修委員会。2024.2.29。唐津市
56. 藤田尚宏、甘利香織、菊池智美、各科診療部長、各部門長、草葉一友薬剤部長、宮地由美子看護部長、内藤光三副館長、前隆男副館長、佐藤清治館長、樗木等理事長。第19期臨床研修医（基幹型）の研修修了認定と進路、研修アンケート調査の報告ならびに働き方改革に対応した臨床研修医の時間外業務規定とCOMPANY登録について。令和5年度 第3回好生館レジデント委員会。2024.3.1。佐賀市
57. 藤田尚宏、菊池智美、高島洋部長、田中聡也部長、西村真二部長、三浦大介部長、岩村高志部長、石井博修部長、甘利香織副センター長、草葉一友薬剤部長、宮地由美子看護部長、内藤光三副館長、佐藤清治館長、樗木等理事長、研修協力病院責任者（副院長・院長等）。第19期臨床研修医（基幹型）の研修修了認定と進路、研修アンケート結果の報告、働き方改革に対応した臨床研修医の時間外業務規定と地域医療研修について。令和5年度 第3回好生館臨床研修管理委員会。2024.3.6。佐賀市
58. 藤田尚宏。DMAT技能維持訓練。令和5年度 第3回北九州地域DMATブラッシュアップ研修会。2024.3.9。北九州市（オンライン開催）
59. 藤田尚宏、甘利香織、内藤光三、佐藤清治。好生館の第19期基幹型臨床研修医の研修修了認定と進路について。令和5年度第3回佐賀県臨床研修運営協議会。2024.3.11。佐賀市

60. 臨床研修医、甘利香織、藤田尚宏。「岩崎 めぐみ：片頭痛への苦手意識をなくそう！」「小野原 貴之：当直医としての心得～若手医師に向けて～」第4回 Resident Web Seminar in SAGA。2024.3.14。佐賀市（オンライン開催）
61. 藤田尚宏、甘利香織。令和5年度臨床研修医の修了認定および令和6年度臨床研修について。九州大学病院群研修管理委員会。2024.3.22。福岡市

（2）総合教育研修センター医師部門：論文投稿

1. 松尾玲沙、古賀美佳、三溝慎次。食道癌術前化学療法中に生じた重症低ナトリウム血症の一例。佐賀市医師会報 令和5年4月号P12-15「今月の症例」
2. 池田奈瑚、西村優希、枝吉誠、中島史暁、神下耕平、井上洋平、中村郁子、吉田敬規、佐々由季生、挽地裕。内因性眼内炎を契機に発覚した感染性心内膜炎の一例。佐賀市医師会報 令和5年5月号 P5-10「今月の症例」

（3）総合教育研修センター：病院マネジメント推進会

病院マネジメント推進会の開催実績の詳細については、P.184の実績表参照のこと。

（4）看護師の特定行為研修：学会発表、講演、実践報告会

A. 看護師の特定行為研修

（研修修了者実践報告会2023）

1. 池田恵子。特定行為研修修了者の活動報告。
 2. 後藤明日香。長期人工呼吸器管理から離脱に成功した先天性疾患の1例。
 3. 小柳未恵。心臓血管外科周術期の人工呼吸器離脱のプログラム実践 ～人工呼吸器装着期間の短縮に向けて～。
 4. 宮本裕太。家族と医療者の葛藤 ～「挿管して治療を望む」終末期患者との関わり～。
 5. 糸山彩子。デブリードマンによる特定行為の実践。
 6. 満岡大貴。周術期における特定行為研修修了者の役割。
- 2023.12.6（佐賀市／好生館病院棟 多目的ホールA, B, C）

B. 看護師の特定行為研修（学会発表）

1. 宮本裕太。当院集中治療室におけるリソースナースの腹臥位療法に対するスタッフ支援活動と

- 課題. 第61回全国自治体病院学会. 2023.8.31. 札幌市
2. 内田陽一郎. 救急外来での迅速な対応にむけたタスクシフト. 第45回佐賀救急医学会. 2023.9.9. 佐賀市
3. 荒木将晴. 集中治療部における患者の意思尊重へのアプローチの一例. 第9回NP学会. 2023.10.21. 札幌市

C. 看護師の特定行為研修(開講式・研修修了式)

- 2023年4月12日 看護師の特定行為研修開講式
(5期生4名)
- 2023年9月25日 看護師の特定行為研修修了式
(術中麻酔管理領域 履修免除者2名)
- 2024年3月21日 看護師の特定行為研修修了式
(5期生4名)

(5) 総合教育研修センター：

研修医勉強会 館内講師レクチャー

1. 藤田尚宏(総合教育研修センター・救急科). Snap Shot Diagnosis I—ERで経験した興味ある症例から—. 好生館 研修医勉強会. 2023.4.13. 佐賀市
2. 藤田尚宏(総合教育研修センター・救急科). Snap Shot Diagnosis II—ERで経験した地雷症例から—. 好生館 研修医勉強会. 2023.4.20. 佐賀市
3. 藤田尚宏(総合教育研修センター・救急科). 急変症例へのMega Code 対応～ABCDEで正しくビビろう～. 好生館 研修医勉強会. 2023.4.27. 佐賀市
4. 藤田尚宏(総合教育研修センター・救急科). DAM/CICVへの対応Algorithm～AWSによる気管挿管・BF下経鼻挿管・狭隘下での腹ばい挿管・輪状甲状靭帯切開～. 好生館 研修医勉強会. 2023.5.11. 佐賀市
5. 村山賢一郎(肝胆膵内科). 研修医時代に知っておくべき肝胆膵疾患～ERの腹部エコーも含めて～. 好生館 研修医勉強会. 2023.5.25. 佐賀市
6. 松本慎吾(検査部 生理検査室). 腹部超音波検査の操作法のコツ⇒講義後エコー室に移動しHands-on Seminar. 好生館 研修医勉強会. 2023.6.8. 佐賀市
7. 大坪豊和(循環器内科). 頻脈性不整脈に出会ったら～上室性Ver. 心房細動を中心に～. 好生館 研修医勉強会. 2023.6.22. 佐賀市
8. 山道圭一郎(検査部 生理検査室). 経胸壁心エコーの基礎と操作法のコツ⇒講義後にエコー室に移動しHands-on Seminar. 好生館 研修医勉強会. 2023.6.29. 佐賀市
9. 小塩和人、佐野雅彦(薬剤部/AST). 薬剤師からみたERでの注射・処方要点～疾患別のお薦め処方～. 好生館 研修医勉強会. 2023.7.13. 佐賀市
10. 原田慶美(形成外科)、塚本伸章(整形外科)、若手整形外科スタッフ. ウエット・ラボ PART I～人工合成皮膚・無菌豚皮を用いた皮膚・真皮縫合～. チームに分かれて縫合強度を競う～コンニャク縫合コンテスト①～. 好生館 研修医勉強会. 2023.7.27. 佐賀市
11. 藤田尚宏(総合教育研修センター・救急科). 「ERでの地雷症例/Pitfall症例を振り返って」「臨床研修医の時間外労働と研修医手当てについて」. 好生館 研修医勉強会. 2023.8.24. 佐賀市
12. 福岡麻美(感染制御部). 感染症診療に必要な微生物の基礎知識・血液培養陽性結果の解釈. 好生館 研修医勉強会. 2023.9.14. 佐賀市
13. 福岡麻美(感染制御部). 臨床研修医に必要な抗菌薬の基礎知識. 好生館 研修医勉強会. 2023.9.24. 佐賀市
14. 塚本伸章(整形外科)、若手整形外科スタッフ. 見て動いて学ぶ、骨折や脱臼の初期治療～ハンズオン：シーネ固定法～. 好生館 研修医勉強会. 2023.10.12. 佐賀市
15. 相部仁(放射線科). 画像診断：『白』と『黒』～CT画像読影を中心に～. 好生館 研修医勉強会. 2023.10.26. 佐賀市
16. 松本健一(脳神経外科). 脳卒中と脳神経外科救急. 好生館 研修医勉強会. 2023.11.9. 佐賀市
17. 梅口仁美(呼吸器内科). どこに行っても役立つ救急外来での呼吸器疾患. 好生館 研修医勉強会. 2023.11.30. 佐賀市
18. 原田慶美(形成外科)、塚本伸章(整形外科)、若手整形外科スタッフ. 「ウエット・ラボ PART II～人工合成皮膚・無菌豚皮を用いた皮膚・真皮縫合～」 「チームに分かれて縫合強度を競う～コンニャク縫合コンテスト②～」. 好生館 研修医勉強会. 2023.12.14. 佐賀市
19. 松本康(救急科). 研修医時代に押さえておきたい中毒診療. 好生館 研修医勉強会. 2023.12.21. 佐賀市
20. 工藤舞花、西村真二(小児科). こどもの診かた～内因性&外因性疾患～. 好生館 研修医勉強会. 2024.1.11. 佐賀市

21. 藤田尚宏 (総合教育研修センター・救急科). ERでのPitfall症例を振り返って～オッカムの剃刀 vs ヒッカムの格言～. 好生館 研修医勉強会. 2024.1.25. 佐賀市
22. 吉村達 (糖尿病代謝内科). 糖尿病と内分泌代謝疾患～Diabetes 2020～. 好生館 研修医勉強会. 2024.2.8. 佐賀市
23. 宮本詩子 (呼吸器外科). 研修医時代に押さえておきたい呼吸器外科疾患～胸腔ドレーン挿入など動画を中心に～. 好生館 研修医勉強会. 2024.2.22. 佐賀市
24. 小杉寿文 (緩和ケア科). 緩和ケア・PCUをめぐる最新の話. 好生館 研修医勉強会. 2024.2.29. 佐賀市
25. 宮崎純二 (耳鼻咽喉科). ERにおける耳鼻科急患への対応の要点. 好生館 研修医勉強会. 2024.3.7. 佐賀市

(6) 総合教育研修センター：

研修医勉強会・好生館医学会 研修医発表

1. 小林理紗. ERのヒヤリ症例の紹介～72歳・女性、全身のびくつき～⇒尿管癌浸潤による腎後性腎不全、高カリウム血症. 好生館 研修医勉強会. 2023.4.13. 佐賀市
2. 池田奈瑚. 急性腹症Ⅰ～16歳・女性、反復性腹痛～⇒急性腸炎による麻痺性イレウス. 好生館 研修医勉強会. 2023.4.27. 佐賀市
3. 八木聖可. 急性腹症Ⅱ～49歳・女性、イレウス既往の腹痛～⇒尿管結石. 好生館 研修医勉強会. 2023.4.27. 佐賀市
4. 山崎成茂. 急性腹症Ⅲ～72歳・女性、虚血性腸炎既往の腹痛～⇒S状結腸穿孔、腹膜炎. 好生館 研修医勉強会. 2023.5.11. 佐賀市
5. 島内明子. 急性腹症Ⅳ～76歳・男性、発熱と上腹部痛～⇒IPNB (胆管内乳頭状腫瘍). 好生館 研修医勉強会. 2023.5.11. 佐賀市
6. 山本雪子. 総合当直で対応に難渋した症例～45歳・女性、倦怠感と嘔吐～⇒成人のアセトン血性嘔吐症. 好生館 研修医勉強会. 2023.5.25. 佐賀市
7. 吉良裕希. ERで診断に苦慮した症例～83歳・女性、臍痛あり、様子が変～⇒臍癌+トルソー症候群. 好生館 研修医勉強会. 2023.6.8. 佐賀市
8. 太田崇王. 高齢者はこわい～80歳・男性、息切れと動悸～⇒下壁STEMI+完全房室ブロック. 好生館 研修医勉強会. 2023.6.8. 佐賀市
9. 山本一輝. ERの冷や汗症例～66歳・男性、手指挫創～⇒縫合し帰宅も前腕腫脹で再受診、解放骨折+蜂窩織炎で入院. 好生館 研修医勉強会. 2023.6.22. 佐賀市
10. 中尾睦. ERで診断と対応に苦慮した症例～62歳・女性、蜂刺傷後の嘔気と頭痛～⇒アナフィラキシー+気管支喘息+ α . 好生館 研修医勉強会. 2023.6.22. 佐賀市
11. 竹下立一郎. ERの地雷症例～50歳・男性、後頸部痛と左上肢のしびれ～⇒MRI FLAIR像でも膜下出血の診断(前交通脳動脈瘤破裂). 好生館 研修医勉強会. 2023.6.29. 佐賀市
12. 小林理紗. CHDF (持続的血液濾過透析法)の原理と適応について. 好生館 研修医勉強会. 2023.7.13. 佐賀市
13. 吉良裕希. 絞扼性腸閉塞に続発した非閉塞性腸間膜虚血の一例. 令和5年度第1回好生館医学会. 2023.7.20. 佐賀市
14. 池田奈瑚. ERの冷や汗症例～56歳・男性、抜歯後の労作時呼吸困難～⇒ACS疑いも肺動脈血栓栓症. 好生館 研修医勉強会. 2023.7.27. 佐賀市
15. 八木聖可. 急性腹症Ⅴ～71歳・女性、直腸癌術後の腹痛と嘔吐～⇒腹単でガスレスも絞扼性腸閉塞で手術. 好生館 研修医勉強会. 2023.7.27. 佐賀市
16. 山崎成茂. COVID-19を契機として血栓化が進行した椎骨脳底動脈拡張延長. 好生館 研修医勉強会. 2023.8.24. 佐賀市
17. 山崎成茂. COVID-19を契機として血栓化が進行した椎骨脳底動脈拡張延長. 好生館 研修医勉強会. 2023.8.24. 佐賀市
18. 山本雪子. 急性腹症Ⅵ～67歳・女性、急な心窩部痛～⇒小腸憩室炎穿孔で手術. 好生館 研修医勉強会. 2023.9.14. 佐賀市
19. 島内明子. ERで診断に難渋した症例～56歳・男性、頭がおかしくなった～⇒TGA (transient global amnesia). 好生館 研修医勉強会. 2023.9.14. 佐賀市
20. 中村和樹. V-A ECMO駆動中にHITを発症した一例. 令和5年度第2回好生館医学会. 2023.9.21. 佐賀市
21. 吉良裕希. ERで診断に難渋した症例～54歳・男性、気管支喘息を有する呼吸困難～⇒急性心不全(CS2). 好生館 研修医勉強会. 2023.9.28. 佐賀市
22. 太田崇王. 精神科研修中の当直で経験した症例～51歳・男性、アルコール依存症患者の腹痛～⇒

- 十二指腸潰瘍穿孔で手術。好生館 研修医勉強会。2023.9.28. 佐賀市
23. 山本一輝。「47歳・女性、下腹部痛と不正性器出血?」⇒尿管結石による血尿」「67歳・男性、発熱とふらつき」⇒内径動脈瘤破裂にくも膜下出血」。好生館 研修医勉強会。2023.10.12. 佐賀市
24. 中尾睦。ERで診断・対応に難渋した症例 55歳・女性、突発性左下腹部痛⇒再発性GIST内出血。好生館 研修医勉強会。2023.10.26. 佐賀市
25. 阿部日向子。せん妄の診断・対処法・精神科へのコンサルテーションについて。好生館 研修医勉強会。2023.11.9. 佐賀市
26. 竹下立一郎。腰痛の Red Flag Sign～45歳・男性、両側腰臀部痛⇒転移性脊椎腫瘍。好生館 研修医勉強会。2023.11.9. 佐賀市
27. 山本雪子。ACTH単独欠損症により切迫心停止に至った一例。令和5年度第3回好生館医学会。2023.11.16. 佐賀
28. 古賀裕知。ERで診断に難渋した症例～60歳・男性、左側腹部・背部痛⇒尿管結石で帰宅させるも左肺炎症性結節・胸膜肺炎で入院加療。好生館 研修医勉強会。2023.11.30. 佐賀市
29. 松尾岬。ERの冷や汗症例～80歳・女性、AML加療中の倦怠感⇒高K血症による症候性徐脈。好生館 研修医勉強会。2023.11.30. 佐賀市
30. 小林祐大。ERで対応に困った症例～マイナー・エマージェンシー⇒動物咬傷、マダニ咬傷、ゴンズイに刺された、釣り針が刺さった。好生館 研修医勉強会。2023.12.14. 佐賀市
31. 中村和樹。劇汗症例から学ぶもの～69歳・男性、心窩部痛・動悸⇒肝硬変による胃食道静脈瘤破裂・高K血症。好生館 研修医勉強会。2023.12.14. 佐賀市
32. 浦元華子。ERの冷や汗症例～fever work upおしりまで診よう⇒臀部皮下膿瘍の一例・直腸膿瘍の一例。好生館 研修医勉強会。2023.12.14. 佐賀市
33. 馬田裕子。ERの反省症例～67歳・女性、動悸・胸背部痛⇒たこつぼ型心筋症。好生館 研修医勉強会。2023.12.21. 佐賀市
34. 大津幸穂。ERで診断に苦慮した症例～78歳・男性、透析中の発熱・倦怠感⇒急性前立腺炎・前立腺膿瘍による敗血症。好生館 研修医勉強会。2024.1.11. 佐賀市
35. 宇野純加。倉庫内で意識障害を生じた55歳女性～状況聴取が診断に寄与した一例～。令和5年度第4回好生館医学会。2024.1.18. 佐賀
36. 宇野純加。NEJMより症例検討～26歳・女性、呼吸困難・異常な精神状態⇒脂肪吸引術後の脂肪塞栓症候群。好生館 研修医勉強会。2024.1.25. 佐賀市
37. 宇野純加。ERの地雷症例～55歳・女性、倉庫内で昏睡状態で発見された⇒ドライアイスによる急性二酸化炭素中毒。好生館 研修医勉強会。2024.1.25. 佐賀市
38. 岸川桂子。ERで診断に苦慮した症例～46歳・男性、馬蹄腎患者の右側腹部痛⇒特発性肋間神経痛。好生館 研修医勉強会。2024.1.25. 佐賀市
39. 野見山莉子。ERの救急対応の一例～50歳・女性、顔面～耳の紅斑・ヒリヒリ感⇒丹毒（A群β溶連菌皮膚感染症）。好生館 研修医勉強会。2024.2.8. 佐賀市
40. 鍋島沙織。ERで診断に苦慮した症例～55歳・男性、Hardy術後・気分の落ち込み⇒成人GHD（成長ホルモン分泌不全症）。好生館 研修医勉強会。2024.2.22. 佐賀市
41. 原直樹。ERの反省症例～34歳・男性、右半身の知覚異常⇒糖尿病、左視床梗塞。好生館 研修医勉強会。2024.2.29. 佐賀市
42. 田中麻貴。ERで診断に苦慮した症例～67歳・女性、発熱・全身の皮疹・ショック⇒日本紅斑熱。好生館 研修医勉強会。2024.3.7. 佐賀市
43. 柳田大輝。ERで鑑別診断に悩んだ症例～72歳・女性、3ヶ月前からのめまい⇒末梢性めまいを伴う突発性難聴。好生館 研修医勉強会。2024.3.7. 佐賀市
44. 池田奈瑚。研修を終えるに当たって。令和5年度好生館医学会総会。2024.3.16. 佐賀

(7) NPO 法人好生館トレーニングサイト： 活動実績

【好生館TSインストラクター】

吉田健治、道田恒三、村山龍一、野田公之、足利義啓、木塚直希、中村肇、今村裕介、永尾芳巳、釘本倫子、賀村芳博、山田満代、島二美代、大串和章、伊東正広、本村彩紀、小野原貴之、甘利香織、小山敬、清水勅君、藤田尚宏

●AHA Guidelines 2020 BLSコース：

計34回開催、受講者総数 160名

第712回(令和5年4月23日)

～第745回(令和6年3月24日)

●AHA Guidelines 2020 ACLSコース：

計11回開催、受講者総数 60名

第177回(令和5年4月22-23日)

～第187回(令和6年3月18-19日)

●AHA Guidelines 2020 PEARSコース：

計3回開催、受講者総数 10名

第40回(令和5年5月3日)

～第42回(令和5年9月17日)

総合臨床研究所

臨床試験推進部

(学会発表)

1. 宮崎敦、三井浩子、溝口佳代、只野菜莉子、永倉優子、草葉一友. より充実したリモートアクセスモニタリングを目指した電子カルテ及びクラウド型文書管理システムの活用(ポスター発表). 第23回CRCと臨床試験のあり方を考える会議2023in岡山. 2023.9.16-17. 岡山(オンライン開催)

疾患病態研究部

(論文)

1. Izumi H, Kaneko Y, Nakagawara A. Molecular regulation of autophagy and asymmetric cell division by cancer stem cell marker CD133. *Cells* 12: 819-825. 2023
2. 泉秀樹. 腫瘍不均一性の原動力となるCD133陽性神経芽腫細胞のオートファジーに基づく新たな非対称分裂機構. *Cytometry Res.* 33: 1-6. 2023

疾患ゲノム研究部

(論文・執筆)

1. 田口舜、山口健太、矢野智彦、香月万葉、佐野由佳理、平野敬之、安波道郎、福岡麻美. *Vibrio mimicus* 菌血症の一症例. *医学検査* 73(1), 168-173. 2024
2. 田口舜、山口健太、泉朱里、矢野智彦、香月万葉、佐野由佳理、横尾篤美、船島由美子、永沢善三、平野敬之、安波道郎、西村優希、福岡麻美. *Rothia dentocariosa*による人工弁感染性心内膜炎・多発脳膿瘍の一症例. *日本臨床微生物学会雑誌*. 34(1), 42-48. 2024
3. Okumura T, Fujii T, Terabayashi K, Kojima T, Takeda S, Kashiwada T, Toriyama K, Hijioka S, Miyazaki T, Yamamoto M, Tanabe S, Shirakawa Y, Furukawa M, Honma Y, Hoshino I, Nabeya Y, Yamaguchi H, Uemoto S, Shimada Y, Matsubara H, Ozawa S, Makuuchi H, Imamura M. MicroRNAs associated with postoperative outcomes in patients with limited stage neuroendocrine carcinoma of the esophagus. *Oncol Lett.* 26(1), 276, 2023
4. Hu Q, Oki E, Yamada T, Kashiwada T, Sonoda

H, Kataoka M, Kawanaka H, Tsuji Y, Makiyama A, Nakashima Y, Ota M, Kimura Y, Yoshizumi T. Genomic characterization between HER2-positive and negative gastric cancer patients in a prospective trial. *Cancer Med* 12(15), 16649-16660, 2023

5. Kawabata R, Chin K, Takahari D, Hosaka H, Muto O, Shindo Y, Nagata N, Yabusaki H, Imamura H, Endo S, Kashiwada T, Nakamura M, Hihara J, Kobayashi M, Sagawa T, Saito S, Sato A, Yamada T, Okano N, Shimada K, Matsushima M, Kataoka M, Matsumoto S, Goto M, Kotaka M, Shiraishi T, Yamai H, Nagashima F, Ishizuka N, Yamaguchi K. Multicenter phase II study of capecitabine plus oxaliplatin in older patients with advanced gastric cancer: the Tokyo Cooperative Oncology Group (TCOG) GI-1601 study. *Gastric Cancer* 26(6), 1020-1029, 2023

臨床統計支援部

(論文・執筆)

1. Egawa N, Miyoshi A, Manabe T, Sadashima E, Koga H, Sato H, Ikeda O, Tanaka T, Kitahara K, Noshiro H. Clinical evaluation of a surgical difficulty score for laparoscopic cholecystectomy for acute cholecystitis proposed in the Tokyo Guidelines 2018. *J Hepatobiliary Pancreat Sci.* 2023 May;30(5):625-632. doi:10.1002/jhbp.1258. Epub 2022 Nov 10. PMID: 36287104
2. 眞嶋栄司. カットオフ値が異なる予後因子研究におけるメタアナリシスの試み. *医学雑誌「好生」*. 57: 40-43. 2023.6
3. 徳永晃、松永尚、草葉一友、眞嶋栄司、前隆男. 下肢整形外科手術施行患者におけるエドキサバン投与量の適正化と有害事象に関連する因子の調査. *医学雑誌「好生」*. 57: 44-48. 2023.6
4. Takase Y, Naito Y, Kawahara A, Okabe Y, Sadashima E, Abe H, Akiba J. KRAS Mutation Analysis Using Cell-free DNA of Pancreatic Cancer. *Anticancer Res.* 2023 Jun;43(6):2683-2690. doi: 10.21873/anticancer.16434. PMID: 37247923
* 医療統計コンサルティング
5. Sato Y, Aoki T, Sadashima E, Nakamoto Y, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Tominaga N, Kishino T, Ishii N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami

- K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Suzuki S, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Gunji N, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsuhashi T, Komaki Y, Maehata T, Tateishi K, Kaise M, Nagata N. Long-term Risks of Recurrence After Hospital Discharge for Acute Lower Gastrointestinal Bleeding: A Large Nationwide Cohort Study. *Clin Gastroenterol Hepatol.* 2023 Dec;21(13):3258-3269.e6. doi: 10.1016/j.cgh.2023.05.021. Epub 2023 Jun 3. PMID: 37276989
6. Hiraki M, Tanaka T, Sato H, Miyake S, Kubo H, Shinkai Y, Sadashima E, Kitahara K. The analysis of fecal calprotectin as a diagnostic marker for anastomotic leakage after rectal cancer surgery: a pilot study. *Journal of surgical case reports* 2023(7): rjad432
7. Nakayama M, Naito Y, Sadashima E, Kinjo Y, Kawahara A, Hisaka T, Okabe Y, Akiba J, Yano H. Lymph node metastatic status could predict the prognosis of intracholecystic papillary neoplasm of gallbladder. *Hum Pathol.* 2023 Jul;137:63-70. doi: 10.1016/j.humpath.2023.04.013. Epub 2023 Apr 29. PMID: 37127081.
- * 医療統計コンサルティング
8. Kishino T, Aoki T, Sadashima E, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Tominaga N, Sato Y, Ishii N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Suzuki S, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Gunji N, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsuhashi T, Komaki Y, Kaise M, Nagata N. Early feeding reduces length of hospital stay in patients with acute lower gastrointestinal bleeding: A large multicentre cohort study. *Colorectal Dis.* 2023 Nov;25(11):2206-2216. doi: 10.1111/codi.16751. Epub 2023 Oct 3. PMID: 37787161
- * 医療統計コンサルティング
9. Tajima A, Sassa Y, Ishio D, Yamashita S, Sadashima E, Arai R, Iwanaga K, Yoshida S, Sonoda KH, Enaida H. Clinical features of 26 cases of COVID-19-associated conjunctivitis. *Jpn J Ophthalmol.* 2024 Jan;68(1):57-63. doi: 10.1007/s10384-023-01033-3. Epub 2023 Nov 29. PMID: 38017339
10. Tominaga N, Sadashima E, Aoki T, Fujita M, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Sato Y, Kishino T, Ishii N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Sato H, Suzuki S, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Hikichi T, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsuhashi T, Komaki Y, Miki K, Watanabe K, Kaise M, Nagata N. A novel prediction tool for mortality in patients with acute lower gastrointestinal bleeding requiring emergency hospitalization: a large multicenter study. *Sci Rep.* 2024 Mar 4;14(1):5367. doi: 10.1038/s41598-024-55889-7. PMID: 38438534
11. Aoki T, Yamada A, Kobayashi K, Yamauchi A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Tominaga N, Sato Y, Kishino T, Ishii N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Suzuki S, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Fujishiro M, Kaise M, Nagata N; Collaborators. Development and validation of a novel model for predicting stigmata of recent hemorrhage in acute lower gastrointestinal bleeding: Multicenter nationwide study. *Dig Endosc.* 2023 Sep;35(6):777-789. doi: 10.1111/den.14533. Epub 2023 Mar 28. PMID: 36754979
- * 医療統計コンサルティング(謝辞)
12. Gondo K, Yamasaki F, Nomiya M, Hisamoto N, Yamashita N, Nakagawa T, Ikeda M, Tsuda S, Ishimatsu M, Oshima Y, Ono T, Kozuma Y, Nakura Y, Yanagihara I, Tsumura K. Relationship of maternal inflammatory response and fetal inflammatory response to duration and intensity of intra-amniotic infection and inflammation. *Placenta.* 2023 Jun;137:23-30. doi: 10.1016/j.placenta.2023.04.003. Epub 2023 Apr 6. PMID: 37054627
- * 医療統計コンサルティング(謝辞)
13. Ikeda M, Oshima Y, Tsumura K, Gondo K, Ono T, Kozuma Y, Nakura Y, Yanagihara I, Nomiya M, Yokoyama M. Antibiotic administration

reduced intra-amniotic inflammation 7 days after preterm premature rupture of the membranes with intra-amniotic infection. J Matern Fetal Neonatal Med. 2023 Dec;36(2):2286189. doi: 10.1080/14767058.2023.2286189. Epub 2023 Nov 28. PMID: 38016702

* 医療統計コンサルティング(謝辞)

14. 竹内恵、宮原強、貞嶋栄司、田中聡也、草葉一友. 満足度分析を用いた入退院支援センターにおける薬剤師業務の評価. 日本病院薬剤師会雑誌. 60(2), 151-157. 2024

事務部

(学会等)

1. 原田健作. 医療ソーシャルワーカーの仕事について. 西九州大学 社会福祉援助技術実習指導. 2023.6.2. 神埼
2. 原田健作. がん診療連携拠点病院がん相談支援センターについて知る. ピアサポーター養成講座. 2023.6.25. 佐賀
3. 岩村昌子. さがmiraiについて. 犯罪被害者等支援ボランティア養成講座. 2023.7.13. 佐賀
4. 細川萌. 当館での退院支援について～かかりつけ薬局介入の症例を踏まえて～. 佐賀県薬剤師会健康サポート薬局研修会. 2023.8.20. 佐賀
5. 原田智可. Pythonを用いた院内がん登録データ分析の自動化による業務改善 (ポスター発表). 全国自治体病院学会. 2023.8.31. 札幌
6. 馬場早希. 地域がん診療連携拠点病院の緩和ケア病棟から地域連携. 多地点合同メディカルカンファレンス. 2023.9.14. オンライン開催
7. 長友篤志. 地域医療を止めないために～当院におけるサイバーセキュリティ対策の取組～. アライドテレシス医療ユーザー会 第1回南九州大会. 2023.10.14. 鹿児島
8. 原田健作. がんと情報について学ぼう. がん教育講演会. 2023.11.15. 嬉野
9. 田中聡也. 安全管理のスタートは説明内容の記録から—記録を徹底するためのテンプレート作成とフィードバックのためのRPAを用いた監査システムの構築—. 第85回日本臨床外科学会総会. 2023.11.16. 岡山
17. 徳島香奈, 中川香澄, 梶原早苗, 山口雅子, 内藤光三, 佐藤清治. 多職種間のコミュニケーション活性化を目的とした“サンクスカード”の運用について. 医療の質・安全学会学術集会.

- 2023.11.23. 神戸
10. 林田潔(元副館長・医療情報部長). ピカピカリンクのこれまでの歩み、これからの課題. 第11回全国ID-Link研究会. 2023.11.25. 佐賀
11. 山口可奈. MSWの職務と医療制度の基礎知識. 医療通訳サポーター養成講座. 2023.12.18. 佐賀
12. 原田健作. 医療ソーシャルワーカーの仕事. 昭栄中学校働く人に学ぶ会. 2024.1.23. 佐賀
13. 藤松祐輔. 医薬品価格交渉の取組み. 医薬品の取引実務に関する勉強会 (全国自治体病院協議会). 2024.2.16. 東京
18. 末安正洋. “より実践的な”被ばく傷病者受け入れ訓練の取組み. 第29回日本災害医学会総会・学術集会. 2024.2.22. 京都
14. 長友篤志. サステナビリティを重視した地連の運営. 令和5年度日本医師会医療情報システム協議会 医療DXと地域医療情報連携ネットワークセッション. 2024.3.3. 東京
19. 末安正洋. 能登半島地震DMAT活動報告会 (ロジスティックチーム報告). 令和5年度佐賀県医療センター好生館医学会総会. 2024.3.16. 佐賀
15. 原田健作. がん相談支援センターについて知る. ソシオの杜 茶話会. 2024.3.17. 佐賀
16. 原田健作. 佐賀県医療センター好生館施設活動報告. 第5回連携室の連携. 2024.3.23. 福岡

医師事務作業支援室

(学会発表)

1. 田嶋柚紀. 医学管理料算定に関する医師事務作業補助者の役割と貢献. 第61回全国自治体病院学会 in北海道. 2023.8.31. 北海道
2. 築貫由紀. 短期入院化学療法における医師事務作業補助者の役割. 第61回全国自治体病院学会 in北海道. 2023.8.31. 北海道

2023年度 治験・製造販売後調査実績

(単位:件)

	眼科	感染制御部	肝胆膵内科	緩和ケア科	救急科	血液内科	膠原病・リウマチ内科	呼吸器内科	小計
治験			5					3	8
製造販売後調査	1	2	3	1		12	4	8	31
	産婦人科	集中治療部	循環器内科	消化器外科	消化器内科	小児科	小児外科	心臓血管外科	小計
治験			3		6	1		1	11
製造販売後調査	1	1		1	2	1	1		7
	腎臓内科	精神科	乳腺外科	脳神経内科	脳神経外科	泌尿器科	臨床腫瘍科	整形外科	小計
治験	1							1	2
製造販売後調査	1		2	5	1		4		13

治験	21
製造販売後調査	51

主な委員会の活動状況

働き方改革委員会

(目的等)

好生館に勤務する全ての職員にとって働きやすい環境整備を行うとともに、それぞれの職員が効率的に仕事を行い、多様なライフスタイルと仕事を両立させることができるような働き方を実現するため、働き方改革委員会が設置されていた。働き方改革委員会の下部組織として、勤務環境改善マネジメント会議、医師・看護師・医療従事者の負担軽減及び処遇改善に関する委員会を設置していたが、2023年度から、全ての委員会を統合し、働き方改革委員会と称するようになった。

(構成メンバー)

委員長（館長）、医師委員5名、看護師委員2名、薬剤師委員1名、検査技師委員1名、放射線技師委員1名、管理栄養士委員1名、臨床工学技士委員1名、言語聴覚士委員1名、事務職委員2名、事務局4名

(開催状況)

2023年6月8日（応接・会議室）

- ・医師労働時間短縮計画の案について

2023年11月7日（多目的ホール）

- ・医師の負担軽減及び処遇改善に関する取組事項について
- ・看護師の負担軽減及び処遇改善に関する取組事項について
- ・医療従事者の負担軽減及び処遇改善に関する取組事項について

2024年3月11日（応接・会議室）

- ・医師の負担軽減及び処遇改善に関する取組の進捗確認
- ・看護師の負担軽減及び処遇改善に関する取組の進捗確認
- ・医療従事者の負担軽減及び処遇改善に関する取組の進捗確認

【好生館働き方改革憲章】

21世紀に入り、我が国の社会構造は大きく変化した。経済成長の鈍化、少子高齢化、家族モデルの変化という3つの歯車が複雑に絡み合っており、私たちの職場である（地方独立行政法人）佐賀県医療センター好生館（好生館）にもその影響が大きく押し寄

せている。そこで、天保5年（1834年）に創設され、約140年にわたる県立病院時代を経て、平成22年（2010年）より地方独立行政法人化された好生館は、歴史と伝統を守りつつも、佐賀県の地域医療と県民の健康と命を守る責務から、現在、そして、これから更に大きく押し寄せる社会構造の変化に柔軟に対応するため、「好生館働き方改革憲章」を制定し、大胆な病院改革を継続的に進める。

好生館の働き方改革は、好生館に勤務する職員に働きやすい職場環境を与えるのみでなく、県民の命と健康を守る地域医療の質の向上に繋がる重要な改革である。これには、価値観の変革を必要とする困難な課題が山積するが、私たちは敢えてこの難問に立ち向かい、新しい快適な医療勤務環境を作り、地域社会に貢献するため、以下のとおり働き方改革憲章を定める。

【憲章】

- 1 患者を癒やし、その家族を支えることを第一義とする
- 2 心身ともに健康に働ける職場を創る
- 3 それぞれの夢と目的を持って働ける職場を創る
- 4 自らの家族を支え、家族が誇りに思う職場を創る
- 5 常に自らの意識改革に努め、多様な価値観が共存する職場を創る

保険診療委員会

(目的)

保険診療について、診療の質の向上と経営改善を図ることを目的として設置する。

(構成メンバー)

委員長（田中消化器外科部長）、副委員長（前副館長、西村小児科部長）、医師1名、薬剤師1名、看護師1名、事務3名、医療情報部1名

(開催状況) 毎月最終水曜日

4月26日

- ・保険減点査定分析（2月分）、再審査結果報告

5月31日

- ・保険減点査定分析（3月分）、再審査結果報告

6月28日

- ・保険減点査定分析（4月分）、再審査結果報告

7月26日

- ・保険減点査定分析（5月分）、再審査結果報告

8月30日

- ・保険減点査定分析（6月分）、再審査結果報告
- ・連携強化診療情報提供料について

9月27日

- ・保険減点査定分析（7月分）、再審査結果報告
- ・真皮縫合加算、デブリードマン加算について

10月25日

- ・保険減点査定分析（8月分）、再審査結果報告
- ・精度調査報告、AIレセプト案内、骨移植について

11月29日

- ・保険減点査定分析（9月分）、再審査結果報告

12月20日

- ・保険減点査定分析（10月分）、再審査結果報告

1月31日

- ・保険減点査定分析（11月分）、再審査結果報告

2月28日

- ・保険減点査定分析（12月分）、再審査結果報告

3月27日

- ・保険減点査定分析（1月分）、再審査結果報告

DPC 適正化委員会

(目的)

DPC（診断群分類別包括評価制度）対象病院として、厚生労働省が定めた要件の一つとして、DPC業務の適正な運用をはかるため、設置する。

(構成メンバー)

包括医療制度適応（DPC対象病床）の診療科部長、看護師、薬剤師、包括医療分析や請求を担当する者、その他、館長が必要と認めた者。

（医師委員：4名・看護師長：1名・薬剤師委員：1名・事務職員：4名 計10名）

(開催状況)

①2023年5月31日（水）

1. DPC病名変更と詳細不明率について

②2023年8月30日（水）

1. 機能評価係数Ⅱの保険診療指数における「病院情報の公表」に係る病院情報更新について

③2023年12月20日（水）

1. 副傷病名について

④2024年3月27日（水）

1. DPCにおける診療報酬改定内容

医療安全管理委員会

(構成メンバー)

内藤副館長・医療安全管理部長・GRM（委員長）、福岡感染制御部長（副委員長）、佐藤館長、相部副館長、宮地看護部長、草葉薬剤部長、原事務部長、岡田副事務部長、馬場臨床工学技士長、森病理部長・クオリティマネジメント委員会委員長、大座肝胆脾内科部長・医療安全対策委員会委員長、山口GRM、松本脳神経外科部長、三浦麻酔科部長、吉本医事課副主査、池田臨床研修医

(開催状況)

4月28日

医療安全対策委員会、クオリティマネジメント委員会、院内感染対策委員会（以下、「各委員会」）報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、2022年度インシデント・アクシデント報告数

5月26日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、2023年度インシデント・アクシデント報告数の目標について

6月23日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、低血糖時のフローチャートの改訂について

7月28日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告

8月25日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、セーフティマネージャー連絡会議開催について

9月22日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、職員の放射線被ばくについて

10月26日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、医療事故調査制度対象事例について

11月30日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、医療安全対策地域連携相互評価の実施について

12月22日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、入院患者の無断離院時対応マニュアルの改訂について

1月26日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、持参薬の使用開始について、持参薬の継続指示支援プロトコールについて、医療事故調査制度対象事例について、2023年度インシデント・アクシデント報告数の見込みについて

2月22日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、DNARに関するアンケートの実施について、保安コールの発生について

3月22日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、DOACの早期再開に関する注意喚起について、医療情報システム障害発生時連絡体制図について

く、人的・経済的に医療資源を圧迫し、結果として医療の質そのものを著しく低下させる。患者に良質で安全な医療を提供するため、院内感染を未然に防ぐ手段を恒常的に院内に周知および遵守させると同時に、医療スタッフの職業感染曝露を防止する。

(構成メンバー)

佐藤館長（委員長）、福岡感染制御部部长（副委員長）、内藤副館長・医療安全管理部部长、岩村救命救急センター長、安波検査部部长、草葉薬剤部部长、宮地看護部部长、原事務部部长、佐野臨床検査技師、田中薬剤師、三好看護師長・感染管理認定看護師、山口感染制御部専従看護師、小野原感染制御部専従看護師、研修医代表

(開催状況)

4月18日（多目的ホールA・B）

- ・2023年度院内感染対策委員会・感染対策マネージャー会議委員の見直し（委員数削減）および規程の変更
- ・感染対策組織図、院内感染対策指針の変更について
- ・2023年度感染制御部・ICT・AST活動目標
- ・令和4年度感染対策向上加算・指導強化加算の施設基準に基づく活動実施報告（感染防止対策地域連携カンファレンス開催報告（4回）、令和4年度新興感染症等の発生を想定した訓練の実施、感染防止対策に関する相互評価、指導強化加算施設基準に基づく連携医療機関訪問（4施設）
- ・令和5年度新規採用職員研修オリエンテーション実施報告
- ・定例報告（血液培養実施状況、耐性菌検出状況・サーベイランス、キノロン耐性大腸菌分離頻度、手指衛生実施状況、抗菌薬（注射・経口）・抗真菌薬使用状況、コンサルテーション報告、職業感染関連報告、ICTラウンド報告、感染対策、今月の目標）
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告：レジオネラ症（4類）1名、破傷風（5類）1名
- ・血液内科病棟入院中に発症し、診断が遅れた播種性帯状疱疹症例
- ・委託清掃業者職員の針刺し事例および清掃業務仕様細則の改訂について
- ・国内におけるサル痘（エムボックス）の発生状況と館内の連絡・診療体制
- ・院内感染対策マニュアル改訂：膀胱留置カ

院内感染対策委員会

(目的)

院内感染は患者が多大なる不利益を被るのみでな

テール関連尿路感染防止策

5月16日（多目的ホールA・B）

- ・定例報告
- ・2022年度薬剤耐性菌集計：薬剤耐性菌発生・感染件数、発生・感染率の年次推移
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告：肺結核（2類）、1名
- ・結核患者発生報告
- ・消化器外科SSIサーベイランス結果（2015年4月1日～2023年3月31日）
- ・院内感染対策マニュアル改訂：水痘・带状疱疹の感染対策

6月20日（多目的ホールA・B）

- ・定例報告
- ・2022年度AmpC型βラクタマーゼ産生菌検出状況の分析
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告：重症熱性血小板減少症候群（4類）1名、日本紅斑熱（4類）1名、後天性免疫不全症候群（5類）1名
- ・COVID-19発生状況（全国・佐賀県・好生館）
- ・タゾバクタム・ピペラシリン使用量削減（2023年度タゾバクタム・ピペラシリン使用量前年度より10%削減）に向けた取り組み：2024年7月より1週間以上使用する場合は使用許可制導入。
- ・カルバペネム系抗菌薬の館内確保状況と、メロペネムの使用（払い出し）の一時中止（イミペネム・シラスタチンへの切り替え）

7月18日（多目的ホールA・B）

- ・定例報告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告：カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（5類）1名、水痘（入院）（5類）1名
- ・ICTの目標（2023年度 全病棟の手指衛生実施率70%以上）達成に向けた取り組み（案）

8月15日（多目的ホールA・B）

- ・定例報告
- ・ICTの目標（2023年度 全病棟の手指衛生実施率70%以上）達成に向けた取り組み
- ・消化器外科SSIサーベイランス結果（2015年4月1日～2023年6月30日）

9月19日（多目的ホールA・B）

- ・定例報告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告：結核（2類）、3名
- ・ICTの目標（2023年度 全病棟の手指衛生実施率70%以上）達成に向けた取り組み

10月17日（多目的ホールA・B）

- ・定例報告
- ・血液培養汚染（コンタミネーション）率の上昇について
- ・ICTの目標（2023年度 全病棟の手指衛生実施率70%以上）達成に向けた取り組み
- ・部署別クリーンハンドキャンペーン報告（9月）：リハビリテーションセンター、検査部、6西/SCU、MEセンター
- ・令和5年度指導強化加算施設基準に基づく連携医療機関訪問報告：白石共立病院、サンテ溝上病院
- ・令和5年度新興感染症（一類感染症等）受け入れ態勢整備（令和5年度新興感染症等の発生を想定した訓練実施予定、一類感染症アドバンスワークショップ開催予定）
- ・「入院のご案内」の感染予防策について、病室窓側スペースに「物を置かない」よう掲示

11月21日（多目的ホールA・B）

- ・定例報告
- ・診療科別・部署別血液培養汚染率（2023年8月～2023年10月）
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告：潜在性結核感染症（2類）1名、日本紅斑熱（4類）1名、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（5類）1名、劇症型連鎖球菌感染症（5類）1名、梅毒（ぶどう膜炎、神経梅毒）（5類）1名
- ・ICTの目標（2023年度 全病棟の手指衛生実施率70%以上）達成に向けた取り組み
- ・部署別クリーンハンドキャンペーン報告（10月）：6東、7東、7西、ICU、緩和ケア病棟、救命救急センター
- ・令和5年度指導強化加算施設基準に基づく連携医療機関訪問報告：富士大和温泉病院
- ・令和5年度一類感染症等集中治療アドバンスワークショップ開催概要報告
- ・好生館職員のインフルエンザワクチン接種率
- ・消化器外科SSIサーベイランス結果（2015年4月1日～2023年9月30日）

- ・院内感染対策マニュアル作成：アタマジラミ症

12月19日（多目的ホールA・B）

- ・定例報告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告：結核（2類）、1名
- ・ICTの目標（2023年度 全病棟の手指衛生実施率70%以上）達成に向けた取り組み
- ・部署別クリーンハンドキャンペーン報告（11月）：入退院支援センター、5東、栄養管理部、8東、4東
- ・AWaRe分類始めました

1月16日（他の研修会と時間重複のため書面会議）

- ・定例報告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告：結核（2類）1名、アメーバ赤痢（5類）1名
- ・部署別クリーンハンドキャンペーン報告（12月）：3西、4西、外来、手術部
- ・令和5年度新興感染症等の発生を想定した訓練実施概要（マールブルグ病疑い患者搬送訓練）
- ・一類感染症等集中治療アドバンスワークショップ開催報告

2月20日（多目的ホールA・B）

- ・定例報告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告：結核（2類）2名
- ・当館における針刺し・切創の原因器材とインスリン針事例発生状況と正しい針廃棄手順動画作成
- ・消化器外科SSIサーベイランス結果（2015年4月1日～2023年12月31日）
- ・令和5年度新興感染症等の発生を想定した訓練実施報告
- ・一類感染症医療チーム発足（合計64名）

3月19日（多目的ホールA・B）

- ・定例報告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告：潜在性結核感染症（2類）2名、劇症型連鎖球菌感染症（5類）2名、劇症型肺炎球菌感染症（5類）1名
- ・経口抗菌薬（入院）のAWaRe分類別使用量年次推移報告

- ・2023年度結核発生状況：2023年4月～2024年2月11人、外国人患者増加（5人）
- ・全国・佐賀県における劇症型連鎖球菌感染症増加
- ・海外・日本における麻疹の感染拡大
- ・令和5年度感染対策向上加算1の取得に係る地域連携カンファレンス、相互評価実施報告
- ・令和5年度指導強化加算施設基準に基づく連携医療機関訪問報告：小柳記念病院
- ・入職時における麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎抗体検査中止について
- ・院内感染対策マニュアル作成：プリオン病

救命救急センター運営委員会

（目的）

救命救急センター及び救急外来の運用を円滑に行い、好生館における救急医療の確立を図るため討議、協議を行う。

（構成メンバー）

委員長 前副館長
副委員長 岩村部長
委員 医師9名、看護師2名、ME1名、事務2名

（開催状況）

4月11日

新年度委員について、病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、2022年度救命救急センターの充実度評価結果について、救命センター注射指示出しマニュアルについて

5月9日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

6月13日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

7月11日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中セ

ンター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

8月8日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

9月12日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

10月10日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

11月14日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

12月12日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

12月28日

夜間救急診療体制の変更について

1月9日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、年末年始救急外来患者状況報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

2月13日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

3月12日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

ICU 運営委員会

(目的)

ICUの運用を円滑に行い、好生館における集中治療機能の充実を図るため討議・協議を行う。

(構成メンバー)

委員長 挽地センター長

副委員長 三溝部長

委員 医師8名、看護師2名、ME1名、事務2名

(開催状況)

4月11日 新年度委員について、業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告

5月9日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告

6月13日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告

7月11日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告

8月8日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告、特定集中治療室管理料変更について

9月12日 業務報告、病床利用率・稼働率報告

10月10日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告、ICUで勤務する医師の配置要件について

11月14日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告

12月12日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告、宿直許可申請について

1月9日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告、宿直許可申請について

2月13日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告、宿直体制について

3月12日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告、ICUに係る令和6年度診療報酬改定について

診療記録管理委員会

(目的)

診療記録管理委員会は、診療録（診療記録）管理の適正化を図ることを目的としている。

(構成メンバー)

委員長（医療情報部長）、
副委員長（リハビリテーション科部長）、
医師委員2名、看護師委員2名、
放射線技師委員1名、管理栄養士委員1名、
検査技師委員1名、薬剤師委員1名、
事務職員1名、事務局3名

(開催状況)

毎月第3月曜日

(今年度の主な検討議題)

- ・医師・診療情報管理士の診療録監査結果報告・改善策の検討
- ・診療録監査項目配点・監査基準の見直しについて
- ・新規文書登録について
など、診療録や病院情報システムに関することを検討し、現場への反映を行った。

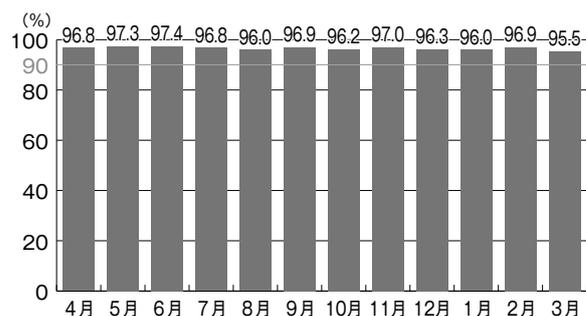
(監査結果状況)

2022年度のスコアは連月90点代であり平均率は93.9%であった。2023年度は、10月・3月・4月のスコアが80点代であったため平均率90.8%と前年度から2.5ポイント減少した。

(退院サマリー作成状況)

退院後2週間以内の退院サマリーの作成率の推移を以下に示す。2023年度の2週間以内の作成率は96.6%と前年度から1.2ポイント減少した。今後も引き続き、2週間以内の退院サマリー作成率を調査し2週間を超えた退院サマリーがあった際は医師へ督促・作成依頼を行う。

2023年度 2週間以内サマリー作成率（全診療科合計）



図書委員会

(目的)

図書委員会は、図書の管理および適正化を図ることを目的とする。

(構成メンバー)

委員長、医師委員6名、
薬剤師委員1名、看護師委員1名、
事務職委員1名、事務局2名

(開催状況)

LINEWORKSにて開催

2023年10月26日（木）アンケート締切

1. 2024年度図書購入希望について
2. 図書室共有スペースの書籍について

クリニカルパス委員会

(目的)

当委員会では新たな治療などに対する新規クリニカルパスを各診療科に提案し、作成の助成を行うこと、既存のクリニカルパスをDPCや診療内容変更などに合わせた修正などを行い、医療の質の向上、医療プロセスの効率化を行うことで患者・家族をはじめとして県民の好生館への信頼度を高め、地域医療への一層の貢献を目的としています。

(構成メンバー)

委員長（吉田循環器内科部長）、副委員長（宮崎耳鼻咽喉科部長）、委員として看護師2名、薬剤師1名、企画経営課1名、医療情報部2名、図書診療録係2名の計10名で構成されております。

(開催状況)

毎月1回の開催としております。働き方改革の一環として、新規クリニカルパスの審査ならびにクリ

ニカルパスの使用状況など、Web会議にて行うことが可能な議案についてはLineWorksを利用しております。

(今年度の主な活動)

例年と同じく、パス運用状況の把握、パス作成支援、新規申請パスの審査、DPCとの整合性のチェックや修正などを行ってまいりました。

(パス作成運用状況)

2023年度（令和5年）のクリニカルパス運用状況を以下に示します。2023年度のクリニカルパス適応率65.3%と当院の中期目標である62%を上回っております。新規クリニカルパスの作成件数10件を行い、日常業務の負担軽減ならびに患者様への安定した医療提供を行えるようにサポートを行いました。

今後も各診療科に協力して頂き、緊急入院患者にも対応できるクリニカルパスの作成、よりよい診療のサポートができるようなクリニカルパスの作成に関わっていきたくと考えております。

（文責：吉田 敬規）

病院マネジメント推進会

(目的)

病院の全職員が病院の運営に関する情報や問題意識を共有し、安全で効率的かつ質の高い医療を提供すること、また、全職員が健全な経営への参加意識を高めていくことを目的として、病院マネジメント推進会を定期的に開催する。

(構成メンバー)

委員長 藤田総合教育研修センター長
副委員長 看護部
医療安全管理委員会
院内感染対策委員会
医療コミュニケーション推進委員会
災害対策準備室
クリニカルパス委員会
NST小委員会
褥瘡委員会
医療情報部
検査部
薬剤部
放射線部
事務部の各部門から1名および総合教育研修セン

ターメンバーにより構成される。

2023年度は、2022年度に引き続き、急性期病院に勤務する職員の勤めとして、医療安全や院内感染対策に関する知見を高め、各自が予防のために行動できることを目標とした。医療安全研修会と院内感染対策研修会（6月、11月）は、好生館に勤務する全職員が年2回の受講を義務づけられている必須研修会である。DVD研修やe-ラーニングを併用することで、委託業者を含め、好生館で働く全職員が受講できた。

また、2019年度以降、情報セキュリティ研修会ならびに災害対策研修会も重要と認識し、必須研修として取り組んでおり、本年度も受講率100%を維持した。本年度の情報セキュリティ研修会（11月）は、徳島大学病院より事務部長の脇元 直彦先生を招聘し、サイバーセキュリティにフォーカスをあてた研修とした。災害対策研修会（7月）では、自院のBCP、災害マニュアルの改訂の要点や災害訓練の概要の共有と、トルコ大地震への国際緊急援助隊医療チームとして活動された塚本医師からの活動報告を共有することで、自院の災害対策の再確認、災害時の相互援助について再認識を促した。

また、上質なコミュニケーションは、安全で質の高い医療には不可欠であることから、医療コミュニケーション研修（12月）にも取り組んだ。

医療倫理研修会（2月）は佐賀大学医学部地域医療科学教育研究センター准教授の坂本 麻衣子先生に「医療倫理とは ～症例から学べること～」というテーマで、臨床倫理の視点からの症例検討を共有頂いた。また、当院でも医療倫理コンサルトチームが発足したことにもふれ、今後のさらなる医療倫理文化の醸成が期待される。

研修の詳細については、別紙の実績表参照。

（文責：藤田 尚宏）

倫理審査委員会・利益相反審査委員会

(構成メンバー)

安波道郎（検査部長/委員長）、前隆男（副館長）、草葉一友（薬剤部長）、白羽根健吾（乳腺外科部長）、吉村達（糖尿病代謝内科部長）、宮地由美子（看護部長）、原博文（事務部長）、安永治郎（施設外委員/安永法律事務所・弁護士）、齋藤秀子（施設外委員/看護協会副会長）
オブザーバー：貞嶋
事務局（臨床試験推進部）：小島、三浦

(開催状況)

定例の倫理審査委員会・利益相反審査委員会を月に1回開催した。2023年度の審議件数は下記の表の通りであった。倫理審査申請のうち56件が新規研究課題および医療倫理問題、8件が保険適応外使用・院内製剤等に関するもので合計64件であった。

(倫理審査 申請・報告総件数)

	新規申請	変更申請	終了報告	合計
件数	64	37	28	129

(利益相反審査 申請件数)

	新規
件数	219

(今後の課題と展望)

2023年度までは安波道郎先生が倫理審査委員長を務めておられたが、2024年度からは糖尿病代謝内科吉村がその後任となった。2023年度に立ち上がった臨床倫理コンサルテーションチームと協力し、これからは院内で生じた倫理的難題の解決にも取り組んでいきたい。またこれまでのように、毎月の定例開催と至急課題についての臨時開催を行い、申請に対しては早急に審議したい。さらに、好生館職員の着想による研究を推進できるよう、申請にあたっての支援を継続していく。

(文責：吉村 達)

情報管理委員会

(目的)

診療情報の管理、情報システムの整備及び運用並びに個人情報の保護及び適切な管理に関する事項について調査審議する。

(構成メンバー)

委員長（館長）、副委員長（副館長及び企画経営課長）、委員（医師6名、看護師2名、コメディカル6名、事務4名）

2023
好生館この一年

Annual Supplement

2023年 令和5年



4月3日(月)

採用辞令交付式

医師、看護師、コメディカル、事務職員など総勢122名の入職者に採用辞令書を交付した。



4月12日(水)

看護師の特定行為研修開講式

医師の作成した手順書により看護師が特定行為を行う際に特に必要となる知識、技能等の向上を図るための研修が開講された。



5月31日(水)

嘉瀬小学校での館長講話

館長が嘉瀬小学校を訪問し、総合的な学習の時間の授業「すてきな嘉瀬町発見」で講話を行った。



6月29日(木)

5階西病棟で北と南を隔てる壁を撤去

令和2年にコロナ患者（陽性及び疑似症）と一般患者を隔てるために設置された壁について、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い撤去が行われた。

2023年 令和5年



7月6日(木)

日新こども園七夕飾り贈呈式

日新こども園の園児から七夕飾りが贈呈された。



7月21日(金)

絵画贈呈式

馬場紘彦様より、絵画7点の寄附を受けた。贈呈された絵画は、病棟等に展示された。



8月19日(土)

ブラック・ジャックセミナー

子どもたちに医療を志すきっかけを提供することを目的として、外科手術等体験イベント「ブラック・ジャックセミナー」を開催。佐賀県内外の中学生・高校生30人が参加した。



8月20日(日)

県民公開講座

県民の皆さんに健康情報を提供することを目的として、「学ぼう 活かそう 救急医療」をテーマに、佐賀広域消防局とのコラボレーションの下、県民公開講座を開催した。

2023年 令和5年



9月15日(金)

災害訓練

全職種・総勢275名の参加を得て、大地震発生を想定した実践的な災害訓練を行った。



10月13日(金)

地域医療連携懇談会

地域の連携医療機関から100施設・155名の参加を得て、ホテルニューオータニ佐賀にて地域医療連携懇談会を開催した。



11月25日(土)

全国ID-Link研究会 in 佐賀

全国から140名の参加を得て、ホテルグランデはがくれにて第11回全国ID-Link研究会 in 佐賀を開催した。



12月1日(金)

部署別対抗ボウリング大会

部署別対抗ボウリング大会がボウルアーガスで行われ、327名（6人×36チームと応援者）が参加した。

2023/2024年 令和5/6年



12月8日(金)

病理解剖体慰霊式

病理解剖にご協力いただいた方々に心からの敬意と感謝の意を表し、6御霊を慰霊した。



12月15日(金)

緩和ケア病棟クリスマス会

多久市立東原庫舎東部校の8年生(40名)が緩和ケア病棟を訪問し、ハンドベル演奏や詩の朗読、合唱の発表などを行い、患者さんと交流を行った。



1月19日(金)

DMAT出発式

令和6年能登半島地震に対するDMATの派遣に当たり、出発式を行った。



1月22日(月)

新興感染症・一類感染症疑い患者搬送・受入訓練

佐賀県鳥栖保健福祉事務所、佐賀県警察等の参加の下、新興感染症・一類感染症疑い患者の発生を想定した患者搬送・受入訓練を実施した。

2024年 令和6年



2月1日(木)

車いす寄贈式

嘉瀬小学校より、車いすを寄贈いただいた。(本取組は、嘉瀬地区に移転した平成25年に始まり、今回で12台目)



3月13日(水)

臨床研修医修了式

第19期生の臨床研修医11名に修了証書を授与した。



3月14日(木)

脳死下臓器提供シミュレーション

脳死下臓器提供マニュアルに定められた手順に問題がないか等の確認を目的として「脳死下臓器提供シミュレーション」を実施した。



3月20日(水・祝)

緩和ケア病棟25周年記念講演会

自治体病院としては全国で2番目となる「緩和ケア病棟」が開設されて25年を迎えたことを記念し、緩和ケア病棟25周年記念講演会を開催した。

2024年 令和6年



3月29日(金)

退職辞令交付式

令和5年度の退職者80名を代表し、14名の職員に対し退職辞令書を交付した。

2023年 好生館年報

発行日 令和6年(2024年)10月

発行 地方独立行政法人
佐賀県医療センター好生館

佐賀市嘉瀬町中原400番地

電話 (0952) 24 - 2171

FAX (0952) 29 - 9390

WEB <http://www.koseikan.jp/>

